

2.おでかけワークショップ結果

2. おでかけワークショップ結果

新庁舎整備に興味や意見のある市内の団体の方を対象に、対話を通じて理解を深め、その上で意見をいただき、新庁舎整備基本構想に反映することを目的として、以下の通り、おでかけワークショップを開催しました。

応募団体の要望により、「ワークショップ形式」もしくは「ヒアリング形式」にて実施しました。

No	団体名	日時	会場	参加人数	形式
1 ※	議員報告意見交換会 (加茂野)	令和5年 7 月 23 日(日) 13:00~13:30	加茂野交流 センター	25人	ヒアリング
2 ※	議員報告意見交換会 (山之上)	令和5年 7 月 23 日(日) 16:00~16:30	フルーピア 山之上	10人	ヒアリング
3	美濃加茂商工会議所 蜂屋地区懇談会	令和5年 8 月 18 日(金) 18:30~19:30	蜂屋交流 センター	11人	ヒアリング
4	山之上まちづくり協議会	令和5年 8 月 21 日(月) 19:30~21:00	山之上交流 センター	23人	ワークショップ
5	美濃加茂商工会議所 太田Ⅰ・Ⅱ、下古井合同 地区別懇談会	令和5年 8 月 24 日(木) 18:30~19:30	商工会議所 3階会議室	35人	ヒアリング
6	一般社団法人 中濃法人会美濃加茂支部	令和5年 8 月 25 日(金) 15:00~16:00	商工会議所 3階会議室	15人	ヒアリング
7	みのかも市民会議	令和5年 8 月 25 日(金) 18:00~19:30	リバーポート パーク 美濃加茂	13人	ワークショップ
8	まちオフィス美濃加茂	令和5年 9 月 6 日(水) 18:00~19:00	まちオフィス 美濃加茂	11人	ヒアリング
9	美濃加茂商工会議所 女性会	令和5年 9 月 20 日(水) 15:30~17:00	リバーポート パーク 美濃加茂 2階	15人	ヒアリング
10	みのかも市民会議	令和5年 10 月 10 日(火) 18:30~20:00	生涯学習 センター404	9人	ワークショップ
11	元気東魂P	令和5年 10 月 24 日(火) 19:00~20:30	生涯学習 センター404	5人	ワークショップ
12	議員報告意見交換会 (上古井)	令和5年 10 月 25 日(水) 19:00~20:30	上古井交流 センター	25人	ヒアリング
13	議員報告意見交換会 (下米田)	令和5年 10 月 26 日(木) 19:00~20:30	下米田交流 センター	12人	ヒアリング
14	議員市政報告会	令和5年 11 月 18 日(土) 19:00~20:30	小山会館	33人	ヒアリング
15	美濃加茂商工会議所 青年部	令和5年 11 月 28 日(火) 17:00~18:00	商工会議所 3階会議室	13人	ヒアリング
16	水曜クラブ (美濃加茂商工会議所)	令和6年 2 月 14 日(水) 18:00~18:40	シティホテル 3F	16人	ヒアリング
17 ※	美濃加茂市議会議員 OB 会	令和6年5月28日(火) 11:00~12:00	美濃加茂市役所 第2議会 委員会室	11人	ヒアリング

No	団体名	日時	会場	参加人数	形式
18	美濃加茂市の未来を考える市民の会	令和6年6月26日(水) 19:00～21:00	生涯学習センター201	31人	ヒアリング
19	美濃加茂市の未来を考える市民の会	令和6年10月7日(月) 19:00～21:00	生涯学習センター201	30人	ヒアリング
20 ※	美濃加茂市議会議員OB会	令和6年12月6日(金) 11:00～11:50	美濃加茂市役所 第2議会議事室	15人	ヒアリング
21 ※	議員報告意見交換会	令和7年1月7日(火) 19:00～20:30	生涯学習センター202	30人	ヒアリング

ワークショップ形式:直近の日時指定ワークショップをもとに、希望時間に合わせたワークショップを実施。

ヒアリング形式:新庁舎整備ロードマップ等の説明を行い、市長や職員と意見交換を実施。

※No.1/2/17/20/21は、新庁舎整備事業の進捗状況の説明を中心に開催したため、まとめ資料等は無し。

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所蜂屋地区懇談会) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年8月18日(金) 18:30~19:30

場所:蜂屋交流センター

参加者(事務局を除く):会員 11 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆見直しの経緯について

参加者)

(旧)基本構想・基本計画の見直しは、前回の市長選で決まったが、市役所としてはどう思われていたか。議会や検討チーム等の一部の人達は新庁舎整備について理解しているが、住民はほとんど分かっていなかったと思うが、どう分析されたのか。

市職員)

市長選後、色々な方にヒアリングを行い調べました。その結果、(旧)基本構想や基本計画を作っていた時に、市役所から市民の方への情報提供が不足しており、市民の耳に届いていなかったことで合意を得られなかったのではないかと考えています。市民の皆さんと合意形成を行うため、新庁舎整備ロードマップを策定し、日頃から庁舎にみえる方や市民へ電話でご意見を伺い、皆さんの所へ出かけてご意見を頂いて、まとめあげていくべきということになりました。尚且つ、情報提供を毎月のように広報誌にも情報を載せていただいておりますし、新庁舎整備のポータルサイトや SNS へ情報をたくさん載せて、若い人たちに

も情報を流しながら進めていきたいと考えています。

◆今後の進め方について

参加者)

(旧)基本構想・計画の時は、一部の人達だけで決めてしまっていると感じていたが、ロードマップに示されているようなステップを踏んで、徐々に進めていくことはすごく良いことだと思う。また、議会で決定することは票数を得られれば簡単だと思うが、すべての議員が各地域の意見を反映しているわけではないと思うので、郵便投票の様なことも考えていると聞いて安心すると感じました。前とは全然違う進め方だと思ったので、このまま進めていただけるとありがたいと思います。

市職員)

(旧)基本構想や(旧)基本計画の策定時も、有識者の方や市民の代表の方に検討に入っていたいたり、委員会をやる時に、市民の皆さんも傍聴できるようオープンに行っていました。しかし、取り組みが市民の皆さんの耳に届いていなかったという事は我々の反省点です。

◆候補地について

参加者)

新庁舎の候補地について、どこにでも新庁舎を建てられるわけではないと思うが、ある程度の候補地は絞られているのではないか。

市職員)

今、候補地は全くの白紙の状態であり、どこなら良いということはありませんが、法的な制限で建てられない場所は当然候補地にはなり得ないと思っている。しかし、市が持っている土地ではなく、新たに土地を購入することも視野に入ってくれば、当然お金はかかります。それでも、市民の希望となれば、土地を購入して新庁舎を建てることになるかもしれません。

前回の検討時は、少しでもお金をかけないために市有地を中心に候補地を絞っていたが、今回白紙になった以上、市民の皆さんの意見も聞いて、候補地を決めたいと思っている。そのため、美濃加茂市全域が候補地だと思っています。また、前回の候補地を決める時には専門的な委員会の中で 4 つの候補地を決めたが、今回は 0 から見直しをしようと進めている。例えば、駅北にある市の公園は都市計画公園として縛りがあるが、本当に庁舎の建築が不可能なのか検証しているところです。都市計画図の中でどのくらいの時間をかければ法的な整備をして、建物を建てられるのか、他にこういった場所が候補地となりえるかをしっかりと調べ上げ、市の考え方について情報提供をした上で、ステップ 4、5 のワークショップを行いたいと考えている。

◆人口減少を見据えた計画について

参加者)

今後、人口が減っていく中で税収も減っています。一般企業は AI を導入して人員の削除をしています。こういった流れの中で、今から何年後の未来を見据えて庁舎を建てるかによって、庁舎のサイズ感や中のシステムは大きく変わると思います。市としては何年後の人口を見据えているのか、こういった指針をだすのでしょうか？

市職員)

少子化が問題になってきた時に、美濃加茂市も「人口ビジョン」を作っています。現状は微増の状態ですが、2035～2040 年くらいをピークに人口が下がっていくと考えています。また、高齢化率は今 23%くらいだが、これが 25, 30 となった時にどうなるかも視野に入れて、人口ビジョン等も踏まえながら、考えないといけないと思っています。

今、市役所に来る市民の 9 割が証明書や住民票の発行といったものに限られていますが、今後デジタル化が進むと、その 9 割の方は家から書類を入手できるようになり、市役所に来る必要がなくなる可能性があります。新庁舎に今ほどの窓口が必要なのかという問題がありますが、一方で多種多様な相談が増えています。昔は相談窓口でも、あまり仕切りが無いものだったが、今は仕切りをつけて、色々な相談を市役所で多く受けているため、充実した相談スペースが必要ではないかと考えています。

市民の皆様に 10 年後の未来、どういう市になったらいいですか？と考えていただいているところですが、スペースを狭くしていい部分、市民に必要な部分を総合的に考えて庁舎の大きさも決めていきたいと思っています。

◆市職員の考える市の役割について

参加者)

ロードマップのステップ1に「市民が考える市の役割と、市職員が考える市の役割の共通認識を広める」とあるが、市職員の方は市にどういう役割があると考えているか。

市職員)

美濃加茂市に限らず、市町村は 10 年ごとに総合計画を作り、目指すべき姿を作っています。美濃加茂市は最新で第 6 次総合計画を定めており、健康増進や女性、若者活躍等の6つの重要ポイントをまとめており、この総合計画を基に業務を行っています。これが資料 7 のビフォーにおける青丸部分の市役所の考える市の役割です。今回ワークショップを行い、市民の皆様に考えていただいたところはピンクの部分です。市の考える役割と市民の皆さんが考えている市の役割と一致するところが共通認識となります。ピンク色の月形の部分は、行政は 10 年の計画を作って進めているが、市の役割として今の時代はもっとこうして欲しいと市民の皆さんが考えていることとなります。市民の皆さんが考えている市の役割と市が今進めようと思っている市の役割に、こういった違いがあることを分かっていたく事が今回のステップ 1 のワークショップの目的でした。アフターの図のように共通認識を広められるよう、今後も進めていきたいと思っています。また、おでかけワークショップでもワークショップ形式を行う予定なので、ご意見をいただきながら進めていきます。

◆市役所への相談について

参加者)

先ほど市役所へ相談者が結構みえると言っていました、こういった悩みや年代の人が多いのかデータ等はあるか。

市職員)

データを取っていないので、感覚的になるが、福祉関係の相談が多いです。生活困窮や収入が減ってしまったことの相談というケースは非常に多いです。加えて、国保や年金、国保料の支払いに関する相談が

あります。保険がないと病院にかかれないこともあるので、ご相談にくる方は非常に多いです。先ほど言われたように市民課に来るお客さんは 9 割が証明書、1 割が住民票の移動くらいという感じです。

今の庁舎は 62 年前に建ちましたが、その時は子どもや高齢者を家族や地域でしっかり見ていく生活スタイルがあったと思うので、市役所の相談業務に子育て支援や高齢者の方を守っていくような相談はほとんどなかったのではないかと思います。最近、人と人との関係が希薄になってきたという事もあり、子育て支援課ができ、介護保険の制度ができたので、それを市の業務でやらないといけません。自助、公助でなく共助というところで、市に求められているものが 60 年前からは変わっているので、時代の流れも相談業務が増えている要因の 1 つかと思います。今後少子高齢化が進んでいくと、高齢者支援等の相談業務がもっと増えると考えています。

◆市が行う支援について

参加者)

私は仕事で再就職支援などをしています。色々な給付金の受給者の中に、受給後もできるだけ楽をしたいので、受給したままの人が増えているのではないかと思います。その人たちを生活困窮者としていいのか、受給の条件をもう少し厳しくして再就職を促せば、事業者が今一番困っている人材不足も解決できるのではないかと思います。

市職員)

私も昔、福祉課で生活保護等の担当をしていましたが、その頃と比べると受給者は圧倒的に増えています。本当は必要最低限の支援を行うことで、状況を改善しながら生活してもらいたいが、そうでない人もいる事は私も耳にしています。

◆市職員について

参加者)

市役所の職員の業務の幅が広がっており、忙しいのだと思うが、担当の方が変わると、やり方がガラリと変わってしまうと感じます。補助金があったとしても、情報を出すと自分の仕事が増える、という感じが伝わってくることもあり、市民の為にプラスになる情報を積極的に出して欲しいと思います。全て職員さんに頼るというわけじゃなくて、市民もタッグを組んでチャレンジしていけば良いと思います。

市職員)

大変ご迷惑をおかけしています。職員の人事異動はありますが、その時にきちんとどういった法律に基づいた制度があり、補助金を出しているのか等を引継がないと、今言われたような事が起こる可能性も出てきてしまいます。我々市職員はプロフェッショナルだという意識をしっかり持つべきだと庁内でも話しているところです。ただし、職員の数自体もかなり不足しています。国が出している資料には、人口が 5 万人から 20 万人くらいの間で 1 次 2 次 3 次の産業構造が美濃加茂市とよく似ている自治体は全国に美濃加茂市を含めて 78 自治体くらいあります。その中で美濃加茂市は職員数が下から 3 番目で、78 団体の平均値から見ても職員数は 50 人少ない状態です。その分、会計年度任用職員を雇いながら業務を行っています。先ほどお話のあった、市民の利益になることはどんどん表に出していくことも我々がやっていかなければと考えています。新庁舎も単に我々が仕事をするだけのワークスペースだけで終わらないようにしっかり考えていきたいなと思います。

◆今後の税収について

参加者)

美濃加茂市が消滅都市でないのは外国人の方が多いからという認識です。実際戸建の数と人口をみると、人口に対して戸建数は多くないと思いますが、外国人が多いのは要因かなと思います。しかし、その方々が県外に仕事に出てしまうこともあると思うが、その場合、税収も今の試算より一気に減るのではないかな。

市職員)

外国人の人口ですが、約10%で市の中では全国でトップクラスです。リーマンショック前までは11.2%で全国1位でした。リーマンショックで一時減少しましたが、また増え続けており、今の人口増にかなり影響しています。外国人の子供たちも増えています。日本人の人口は下がっていますが、他の自治体に比べると美濃加茂はほぼ横ばいです。ただし、昼夜間人口は以前と比べて大きく変わりました。かつては昼間の人口が多かったのですが、名古屋のベッドタウンや岐阜のベッドタウンになることで市外に仕事に行かれるので昼間の人口の方が少なくなります。

働く場所は外にあっても、外国人の市民であっても、日本人の市民であっても、美濃加茂市民ですので、個人住民税は美濃加茂市に入ります。外に働きに行くからと税収が下がることはあまり考えなくてもよく、人口減少や高齢化の方が税収の減少に大きな影響を与えるのではないかと考えています。

◆交通手段について

参加者)

電車で市役所にくる人は何割いますか？

市職員)

1割弱です。色々な考え方がありますが、立て直す前の県庁や関市役所は郊外に建てています。当時はかなり批判も受けたそうですが、庁舎の周りが発展したという事実も現実にあります。ただ、同じことを今もう一回できるかは分かりません。特に美濃加茂市は車社会ですが、それがずっと続くのか、もしくは、高齢の皆さんが免許返納をし始めているので、駅に近い方がいいという考え方もあります。離れてでも車で行ければいいのか、あい愛バスを拡充するのか、様々な事も合わせて皆さんと相談していきたいと思います。

参加者)

北部からすると太田地区はすごく遠いが、北部から新庁舎へ行くために電車は使わない。

市職員)

将来は多分こうなるという予測を皆さんと一緒にしていかなければならないと思っています。市民が10年後20年後どういった生活をしたいのか、車に乗らなくてもどこにでも行ける街にしたいのか、車で移動できればいいのか、自動運転が普及するので車でよいという話かもしれません。市民の考え方や気持ちをしっかりと汲み取っていきなさいと思っています。

参加者)

バスを見ていると乗っている人が少ないので、乗る人がいない場所を走らせるより、バスを少なくしながら、本当に必要な所にタクシーチケットを配布する等、方法を考えてみたらどうか。どうしても車がないと病院にいけない人のために、やりかたを考えてみてはどうか。ただ走っているだけのバスは無駄のような気がします。

市職員)

オンデマンドという考え方があって、タクシーのようにドア to ドアが一番いいという方もお見えになるし、健康の為にバス停まで歩きたいという方もお見えになります。ただ、やはり買い物して帰りに重い荷物を持って歩くのは大変だという方もいらっしゃると思います。例えば、年間 5 億、10 億かけてもいいと皆さんが判断されれば、タクシーチケット等も可能でしょうし、できるだけ抑えるのであれば、一番効率的な所はどこなんだという事を考えなければいけません。今全国の自治体でも、こういった方法がいいか検討されています。美濃加茂市は路線時間やバス停の場所等、見直しをかけながら、大きなバスが必要な所、小さいバスで問題ない所等、今色々工夫しているので、これから市民の方の免許返納等、変化も含めながら、どう見直しをしていくかを常に考えていきたいと思っています。

◆複合施設化について

参加者)

市役所がどこになろうがシティホテルが併設されるのか？

市職員)

前回の計画ではシティホテルは竣工後 30 年以上経っていたので、取壊しのお話をさせていただいて、市役所に併設する案としていました。今回新庁舎計画が白紙に戻ったので、シティホテルの取り壊しも白紙になりました。今の状態を保ちつつ使用する可能性もありますが、違う用途に使う可能性もあります。皆さんのご自宅も修繕を屋根や壁などにしますよね。商業ビルもすごい費用がかかるものなので、費用をかけていくべきなのか、または民間に建ててもらって、市はそこを借りようという方がいいのか。しっかり検討していきたいと思っています。庁舎と少し切り離しながらも考えていかないといけないと思っています。

参加者)

コンベンションホールはどうか。

市職員)

コンベンションホールはこの辺の地域にはありません。今まで美濃加茂市がホールを必要とする場合周辺の自治体に借りたりしてきましたが、コロナの影響でホールの数が落ち込んでしまった事もあり、前回の基本計画では、コンベンションホールを庁舎の中に持ちましょうという計画でした。しかし、今回計画が白紙になったので、今後コンベンションホールはあのまま市商業ビル、シティホテルとして残していくべきなのか、庁舎の中に作るべきなのか、考えていく必要があります。庁舎の中に作れば、当然庁舎の建設費用も上がります。何億円というレベルで上がるので、それでも必要とされるのかどうか、皆さんと色々話をしないといけないと思っています。

市職員)

皆さん 5 万 7 千人全員の意見を聞いても、1 つの答えにはならないと思います。最後は市議会議員が市議会で決めるんだと考える方もいますが、議員の方たちへ行政の執行部側が提案を上程して初めてそれをいいか悪いか判断されます。したがって、我々行政はどこがいいか、しっかり見極める責任がありま

す。その為に、皆さんから意見をたくさん聞いているので、たくさん意見が出てきた中で、法律的に難しい案や実現するには 20 年かかってしまう案、お金がかかりすぎてしまう案等を整理しながら候補地を例えば 3 ヶ所に絞り、メリットやデメリットをしっかりと示して、最後には住民投票やアンケート等で、住民の皆さんが決めて、それを議会に上程するというように我々がやっていこうと思っています。我々も努力しますのでご理解いただけたらと思います。

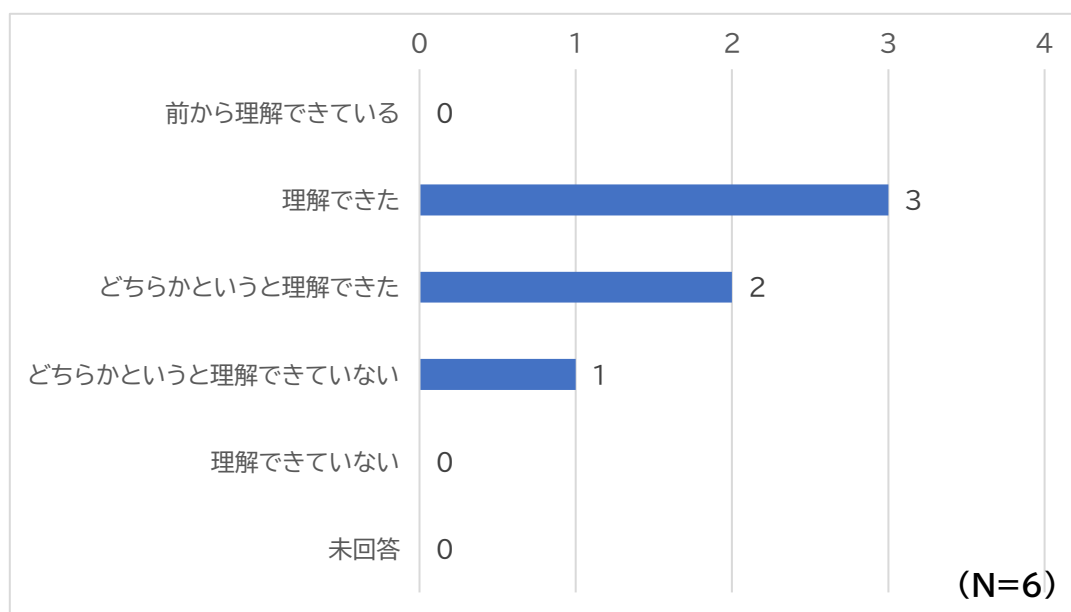
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 6名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」が続いた。「どちらかという理解できていない」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
前から理解できている	0
理解できた	3
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できていない	1
理解できていない	0
未回答	0
合計	6

図 1. 新庁舎整備の理解について

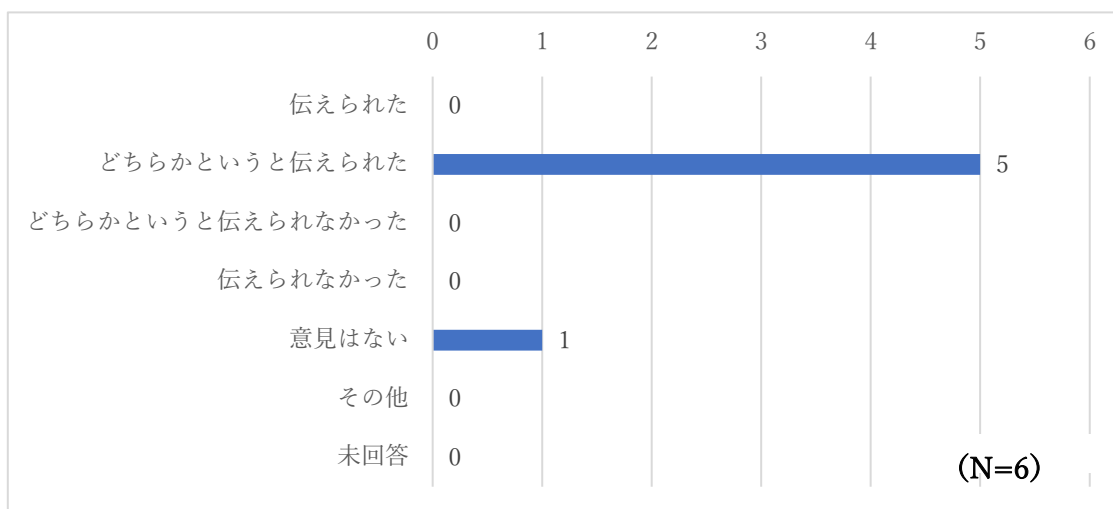


問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「どちらかという伝えられた」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=6】
伝えられた	0
どちらかという伝えられた	5
どちらかという伝えられなかった	0
伝えられなかった	0
意見はない	1
その他	0
合計	6

図2. 新庁舎への意見について

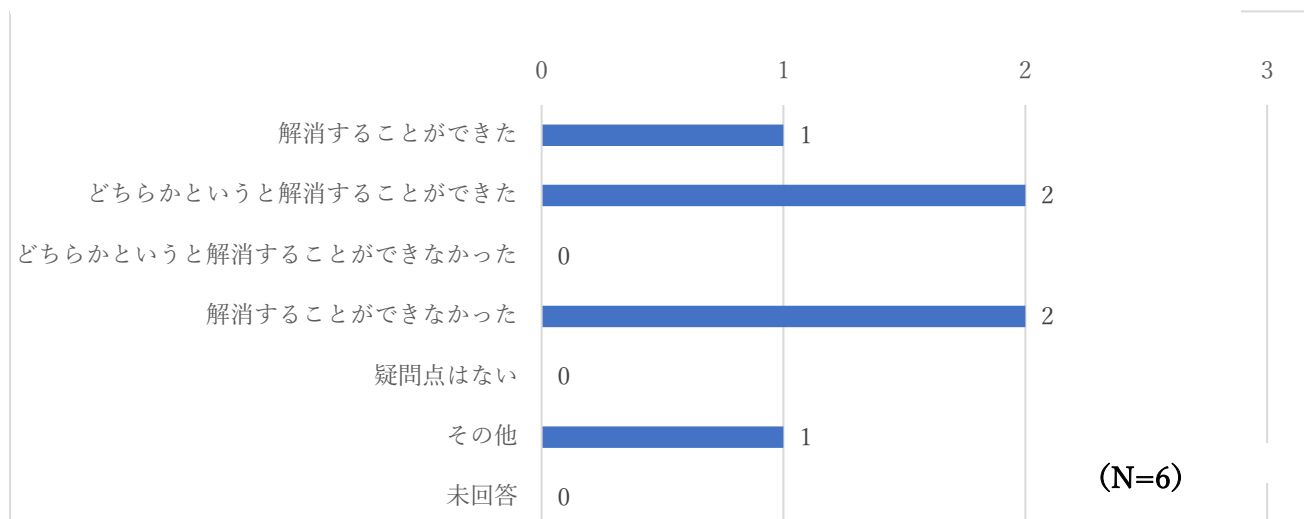


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」、「解消することができなかった」が最も多く、次いで「解消することができた」が続いた。

	回答者数【N=6】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	2
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	2
疑問点はない	0
その他	1
合計	6

図 3. 疑問点の解消について

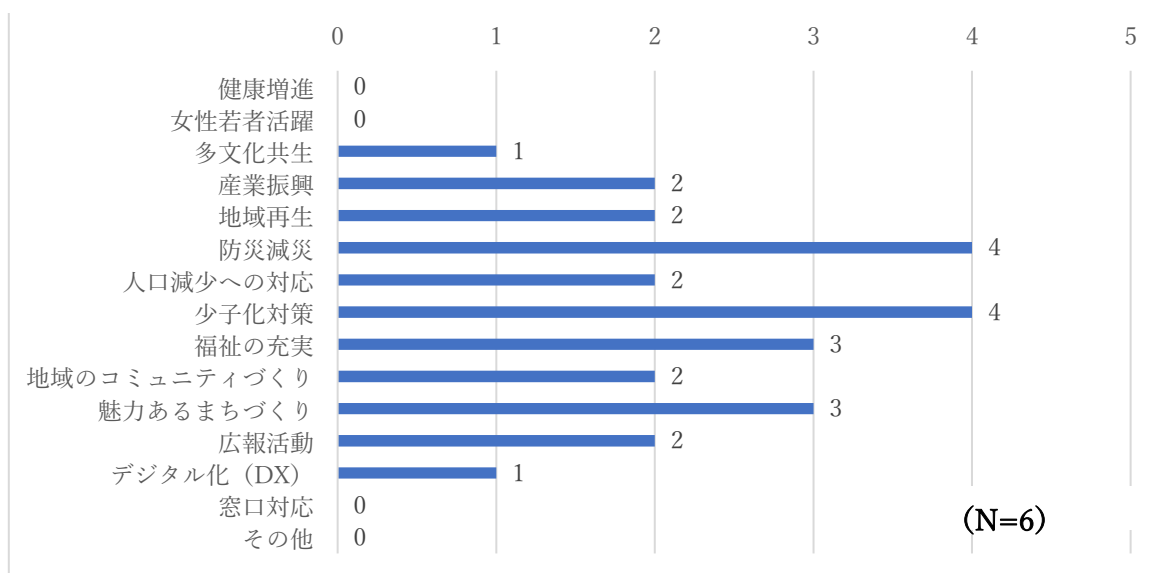


問4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？(複数回答)

「防災減災」、「少子化対策」が最も多く、次いで「福祉の充実」、「魅力あるまちづくり」が続いた。

	回答者数【N=6】
健康増進	0
女性若者活躍	0
多文化共生	1
産業振興	2
地域再生	2
防災減災	4
人口減少への対応	2
少子化対策	4
福祉の充実	3
地域のコミュニティづくり	2
魅力あるまちづくり	3
広報活動	2
デジタル化(DX)	1
窓口対応	0
その他	0
合計	26

図 4. 「市の役割」について



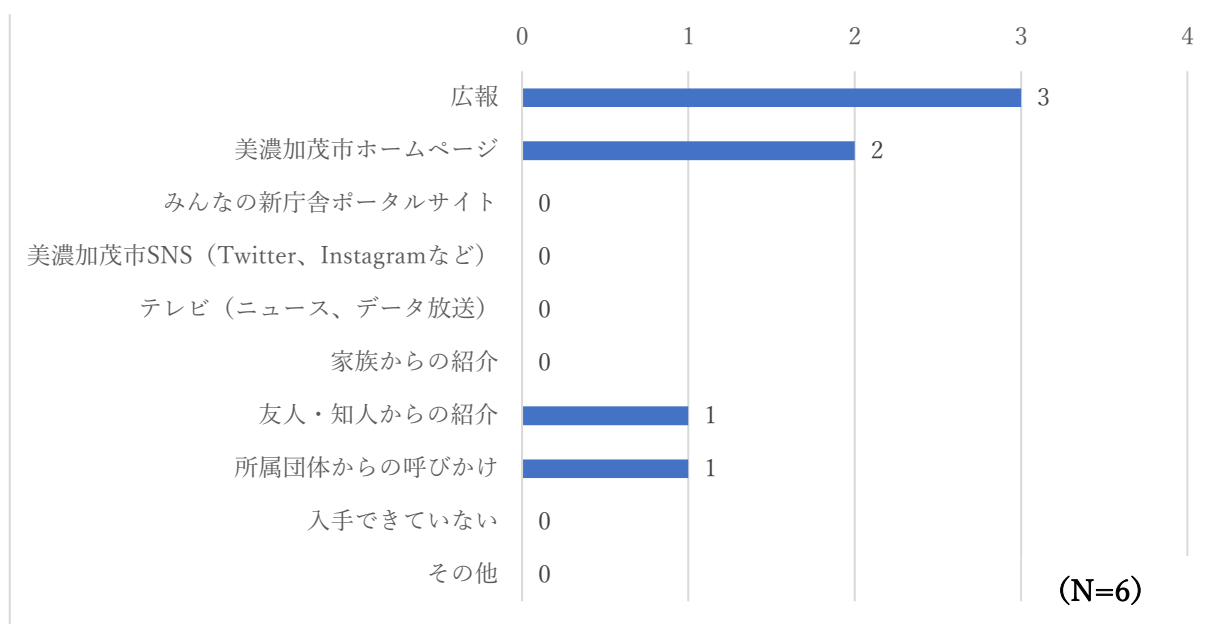
※複数回答有

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」が続いた。「友人・知人からの紹介」、
「所属団体からの呼びかけ」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
広報	3
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	7

図 5. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



※複数回答有

問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

◇自由意見

- ・利用される年代、用件の多い方を優先していただく
- ・決定する場合、住民投票をぜひしていただきたい。

おでかけワークショップ(山之上まちづくり協議会) ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP1「市の役割の見える化」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 8 月 21 日(月) 19:30~21:00

場所:山之上交流センター

参加者(事務局を除く):23人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題:市民が考える「10年後の市の役割」

5. 質疑応答
6. おわりに

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課



2. 結果の概要

(1)全体の傾向

グループに分かれ、10年後の市の姿を思い描き、市の担う役割について考えていただきました。

全体の傾向としては、次世代の美濃加茂市を担う人材を増やすこと、子育て世代や若い世代の負担を減らし活力のある市とすることが求められていました。その方法として、子育てのしやすい環境を整えることや、企業誘致により雇用を増やし、人口を増やすことがあげられました。一方で、高齢者の移動手段を確保し、欲しいといった、今後さらに増えるであろう課題もみられました。

また、新しい庁舎に対してのご意見としては、AI、IT化の促進、市民が安心できる施設であることが求められていました。

(2)ワークショップ結果の概要

【魅力のある市をつくる】

- ・若い世代の負担が少なく、魅力的な街づくりをする。
- ・農地法的に誘致は難しいが、スポーツ施設やジム、プールを作してほしい。

【人口増加】

- ・産業誘致を増やし、人口を増加してほしい。
- ・若者をとりこみ、市民を元気にし、人口を増加して活力のある市にしたい。

【子育てのしやすい環境】

- ・子育てがしやすい環境にしてほしい。
- ・少子化対策をし、安心して子育てのできる町にしてほしい。

【高齢化対策】

- ・高齢化に伴い、足腰不自由者が増え、あい愛バスの乗り場まで行けない人がいるので、タクシーや補助、又はバス停以外でも、停車してほしい。
- ・高齢者の移動手段問題を市が助けてくれる町になってほしい。

【産業誘致】

- ・まともな企業を誘致し雇用を生み、人口を増やして財政を豊かにする。
- ・企業誘致が必要である。
- ・市民税が安くなる為の工業誘致をし、市民への助成ができ、健全な財政でもうけられる市になってほしい。

【環境にやさしい町】

- ・環境にやさしい町にほしい。(ごみゼロ、不農作地活用、森林伐採)

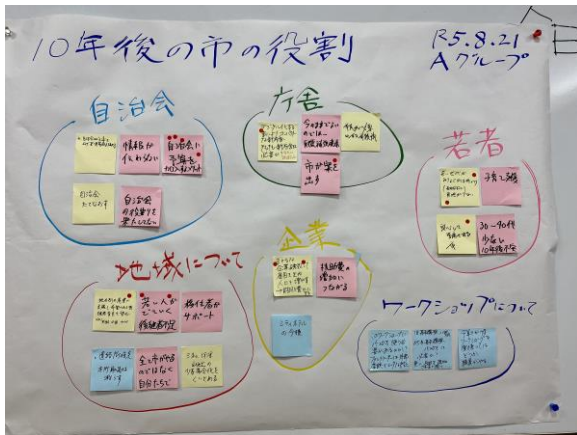
【その他】

- ・自治会に予算を出して、加入するメリットを作る。
- ・若い人がでていき、後継者不足の産業を支援する。
- ・AI、IT 化を進めてほしい。
- ・先をみて活力のある職員育成を市内部でしてほしい。

(3)各グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
自治会	自治会加入率を上げ連帯感を強める	情報が伝わらない	
		自治会に予算を加入するメリット	4
	自治会たてなおす	自治体の役割を果たしていない	
地域	地区別の産業に支援し、希望のある後継者育成を望む。(例)果樹、田園、その他		1
		若い人が出ていく後継者不足	2
		移住者がサポート	
	三和、伊深、山之上の少子高齢化をくいとめる		
		全て市がやるのではなく自分たちで	
庁舎	デジタル化することによりコンパクトな新庁舎、そもそも新庁舎は必要か？市民は誰も困らない		1
	市民が必要とする市役所		
		今のままでよいのでは…耐震補強の意味	
企業	まともな企業を誘致して雇用を生み人口を増やす→財政を豊かにする	市が案を出す	1
		扶助費の増加につながる	2
		シティホテルの今後	
若者	若い世代が魅力的な街づくり(負担が少ない)		2
		子育て支援	
	安心して生活できる市		1
ワークショップについて	このワークショップに 1520 万使う必要があるのか？ファシリテーターは外部委託でムダな経費	30～40 代少ない、10年後不安	
	旧基本構想 1100 万円、R5 年基本構想 1520 万は必要か？更に 800 万追加されると聞く		
	予算をかけずワークショップを開催してはどうか、職員がやる		

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・自治会に予算を出して、加入するメリットを作る。
- ・若い人がでていき、後継者不足の産業を支援する。
- ・企業を誘致し雇用を生み、人口を増やして財政を豊かにする。
- ・若い世代の負担が少なく、魅力的な街づくりをする。

■B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
IT 化	一本化		1
		一人一人に AI 機器	
		AI、IT 化を進める	2
子育て	子育てがしやすい環境。金銭的、仕事など		4
		子育てのしやすい	
	今の子供の働く所		
まちづくり	ゴミ収集で自治会未加入者との問題があると聞く	自治会要望	
		自治会	
	雑木の整理	市の雑草処理	
	災害に強い街づくり、地域の備品庫、連帯感	災害に強い市	1
	イベント、フェス、観光	イベント	
	財政の安定、市が儲かる、IRとは、フェス	まちおこし	
	企業誘致		5
	スポーツ施設、ジム、プールを作る	農地法的に誘致は難しい	2
	高齢化に伴い、足腰不自由者が増え、あい愛バスの乗り場まで行けない、タクシー〇、補助又はバス停以外でも、停車してほしい	交通	3

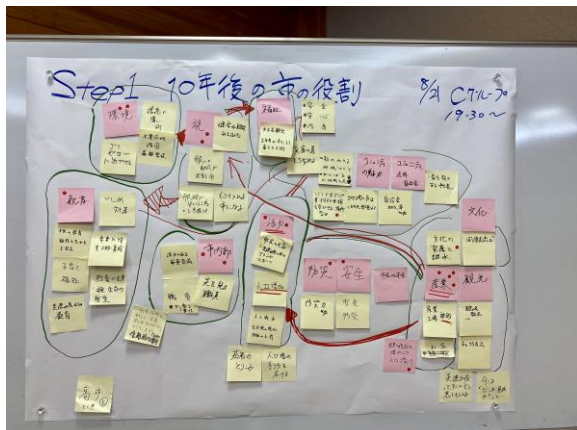
3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・AI、IT化を進める。
- ・子育てがしやすい環境にする。
- ・企業誘致が必要である。
- ・農地法的に誘致は難しいが、スポーツ施設やジム、プールを作る。
- ・高齢化に伴い、足腰不自由者が増え、あい愛バスの乗り場まで行けない人がいるので、タクシーや補助、又はバス停以外でも、停車してほしい。

■C 班

1) ワークショップの様子



2) ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
環境	環境にやさしい町		
	不農作地活用、森林伐採		
	ごみゼロに近づける		
		環境	2
教育	いじめ対策		
	子どもの教育、個性を活かせる教育		
	子育て、福祉		
	美濃加茂ならではの教育		
	未来に託す、人材、育成		
	教育の充実、生命の尊重		
		教育	1
市内部	活力のある職員育成		
	職員が育つ、育てる		
	先を見る職員		
	世界情勢を踏まえて支度。信頼感の醸成		
		市内部	2
税	健全な財政、見える化		
	市民への助成ができる市		
	市民税が安くなる為の工業誘致		
	もうけられる市になる		
		税	2
福祉	少子高齢化、お年寄りが安心して暮らせる街		
	安全、安心、活力		
	貧富の差を縮める		
		福祉	
コミュニティ	顔の見える地域づくり、頑張る人の地域応援		
	いつでもどこでも何人でも相談できる場所など		
	地域の声は(地元要望は)		
	自治会加入率 UP		
	育ち感のある社会		
			1
		コミュニティの魅力	
		コミュニティ、近所、自治会	
活力	市民の元気→美濃加茂のほこり・ブランド・スポーツ		
	人口増加		
	人口減少、住民税の増加、物価の上昇		
	若者のとりこみ		
	人口増の手うちを広げる		
		活力	2
防災・安全	防災力 UP		

	安全、防災		
		防災	1
		安全	1
		市民の安全	
文化	文化の発展と継承		1
	国際交流は？		
		文化	
産業	産業、工業誘致		
	お金		
		産業	4
		産業の誘致を増やして人口増へ	1
観光	美濃加茂→観光		
	市の特産品		
	美濃加茂ってすごいぞと思ってもらえる		
	今は「どこが見どころか？」と…		
		観光	

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・環境にやさしい町にしてほしい。(ごみゼロ、不農作地活用、森林伐採)
- ・先をみて、活力のある職員育成を市内部でしてほしい。
- ・市民への助成ができる健全な財政の市になってほしい。
- ・若者をとりこみ、市民を元気にし、人口を増加して活力のある市にしたい。
- ・産業や工業を誘致してほしい。

■D 班

1) ワークショップの様子



2) ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	つけたし意見	大事だと思うところ
移動手段		移動手段	3
	10 年後の山之上は、市は高齢者を助けてくれる町になると良い。医者に行くにも行けない人が多くなる。買い物に行くにも行けなくなる		
		昔は長男が家を継ぐ、今は違う、家はどうなる	
		移動手段の問題	
		タクシーチケット昔あったのに今はない、あると便利	
		近くにスーパーもない	
健康づくり		南坂→みんな仲が良い、あい愛バスよく使える、病院行く	
		健康づくり	1
	市内に住んでいられる		
	高齢者に優しい町、健康づくり		
		健康づくり	
		元気に山之上で暮らしたい	
空家家問題		介護の問題	
		介護予防、ウォーキング	
コミュニティ		空家家問題	3
	空家家の対応、地域への加入等		
交流センター	人口減が進む→ 今と同じように(レベルで)地域コミュニケーションあり、交通バス便利、安心して暮らせる 市→地区の現状を知ること、出前サービス他		
		行政から小さなコミュニティへの出前サービス(お出かけ WS)	
高齢化対策		地域の拠点を充実してほしい (各交流センター)	
		交流センター大切	
子育てしやすい町	高齢者に優しい町		
		経済的な不安もある	
		子育てしやすい町	7
	少子化対策、子ども達が楽しい町、集まる町		
	子育てしやすい町、安心して子育てできる		
山之上へ愛着		お母さんが安心して子育てできる環境が大切	
		子どもと向き合う時間を大切に	
		山之上へ愛着	1
		地元への愛着を作っていく	

		金谷子ども 50→3 人になった	
		まち協が頑張っている→市も応援して欲しい	
		若者がでていってしまう、魅力がない？	

3)意見の概要

以下の内容について、大事だと思うところとして票が集まった。

- ・高齢者の移動手段問題を市が助けてくれる町になって欲しい。
- ・空き家問題の対応をしてほしい。
- ・安心して子育てのできる、子育てしやすい町にしてほしい。

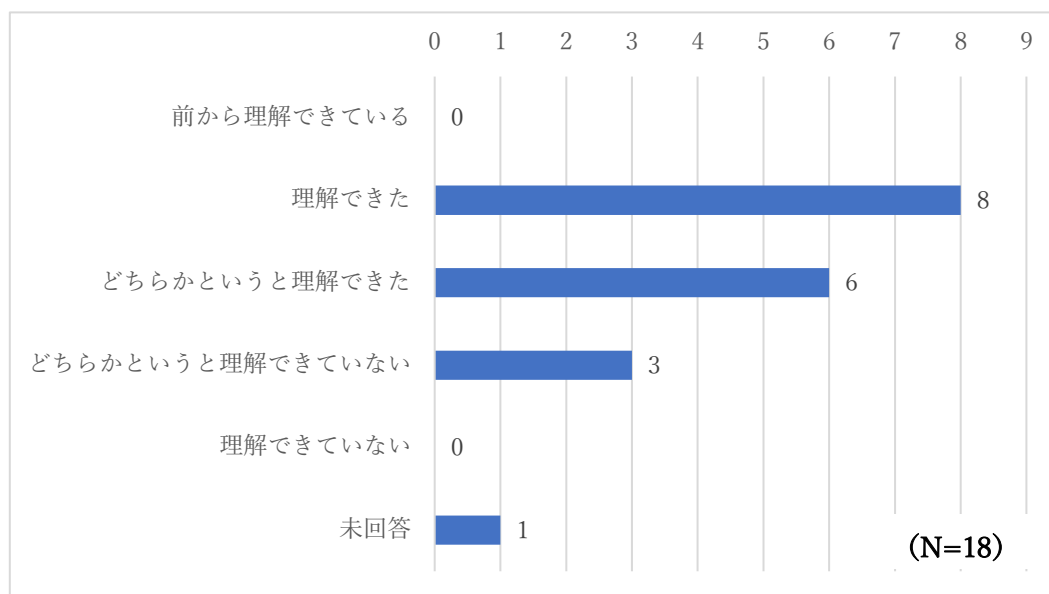
(4)アンケート結果の概要 ※回答者数 18名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、「どちらかという理解できた」が続いた。

	回答者数【N=18】
前から理解できている	0
理解できた	8
どちらかという理解できた	6
どちらかという理解できていない	3
理解できていない	0
未回答	1
合計	18

図 1 新庁舎ロードマップの理解度

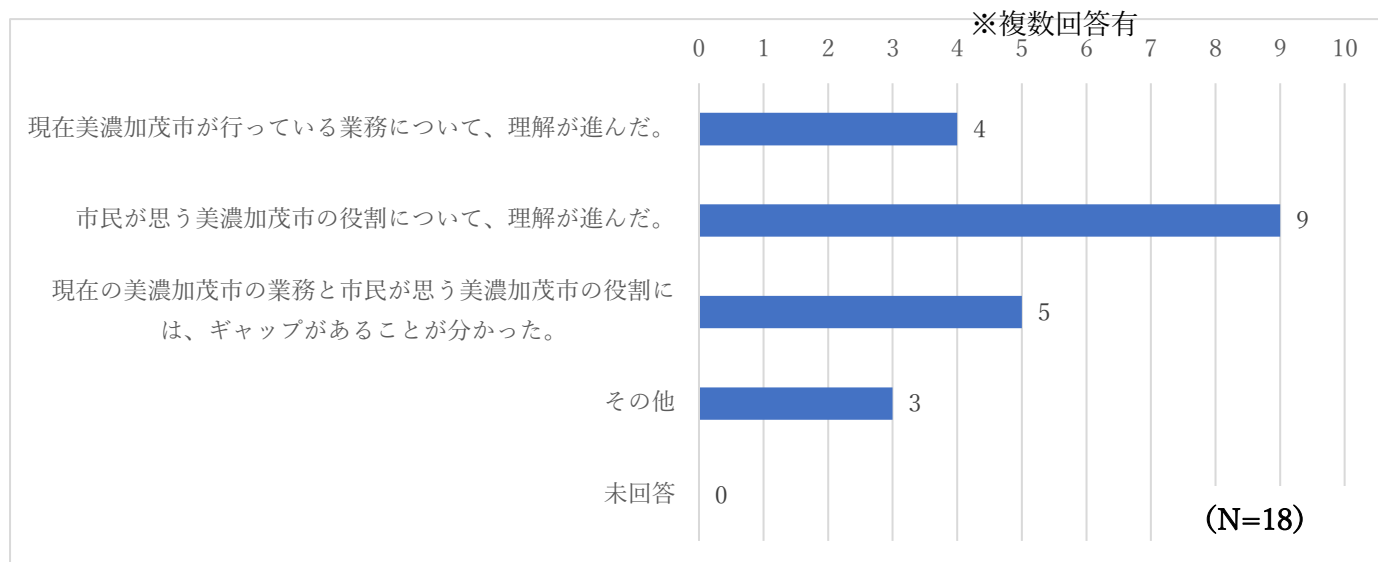


問2. ワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。」が最も多く、「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。」「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。」が続いた。

	回答者数【N=18】
現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。	4
市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。	9
現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。	5
その他	3
未回答	0
合計	21

図 2 「市の役割」について



◇自由意見

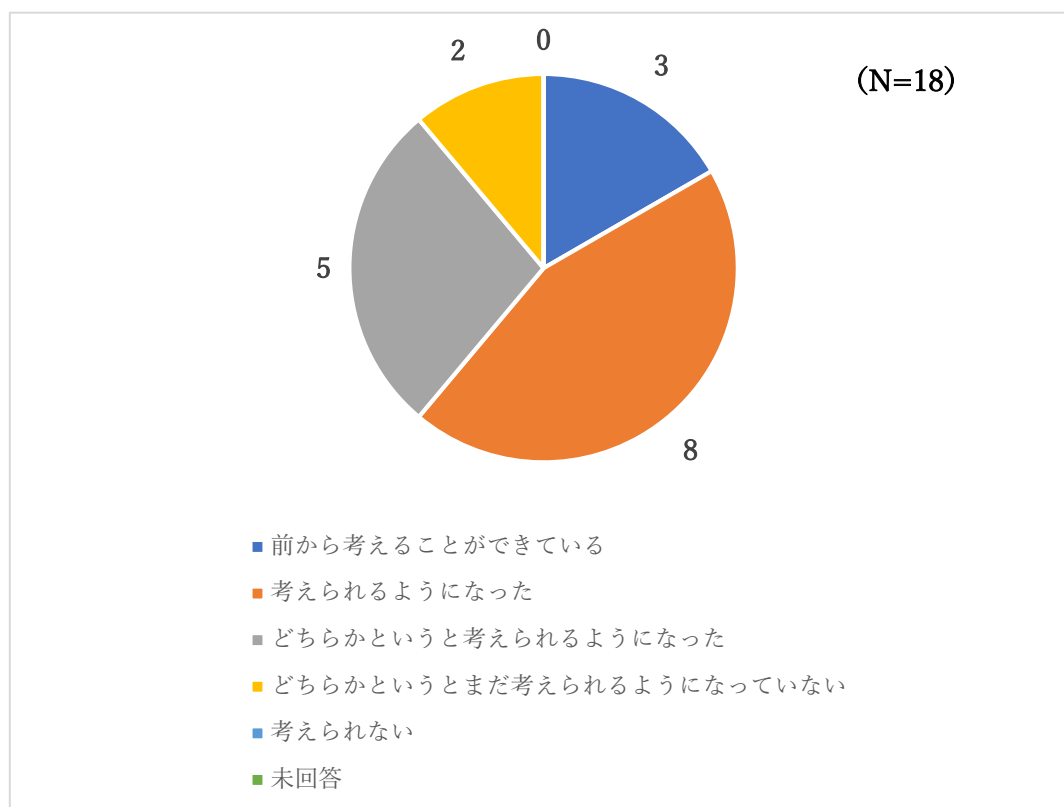
- ・昔の市の人と今の人は考え方が違うと思う
- ・コロナを終えて改めて庁舎の役割、分散化を考える

問3. 10 年後の市の役割を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、「どちらかというと考えられるようになった」が続いた。「前から考えることができる」を合わせると、89%が肯定的な回答となった。

	回答者数【N=18】
前から考えることができる	3
考えられるようになった	8
どちらかというと考えられるようになった	5
どちらかというともまだ考えられるようになっていない	2
考えられない	0
未回答	0
合計	18

図 3 10 年後の市の役割について



問4. 本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

◇自由意見

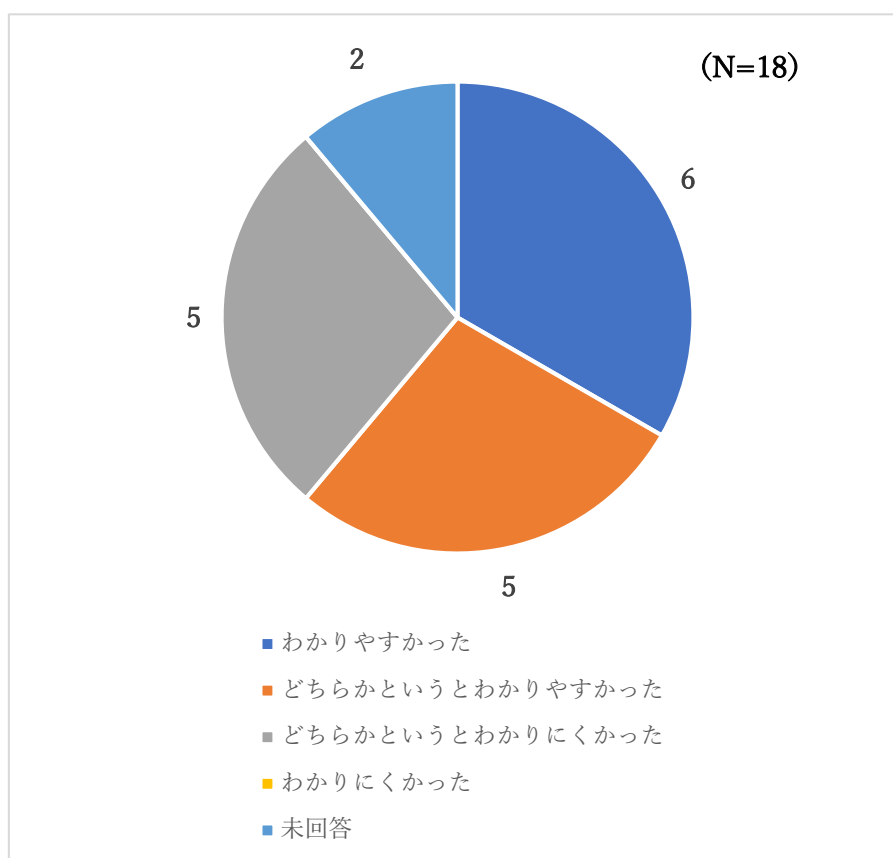
- ・高齢化、少子化、空き家問題
- ・財政の問題
- ・X 町(地域)別 連絡所の機能拡大
- ・「市の役割」までお話しできていないような

問5. 本日のワークショップの説明について

「わかりやすかった」「どちらかというわかりやすかった」を合わせて半数以上であったが、「どちらかというわかりにくかった」が約3割となった。

	回答者数【N=18】
わかりやすかった	6
どちらかというわかりやすかった	5
どちらかというわかりにくかった	5
わかりにくかった	0
未回答	2
合計	18

図 4 10年後の市の役割について



○わかりにくい、さらに知りたいと思ったこと

◇自由意見

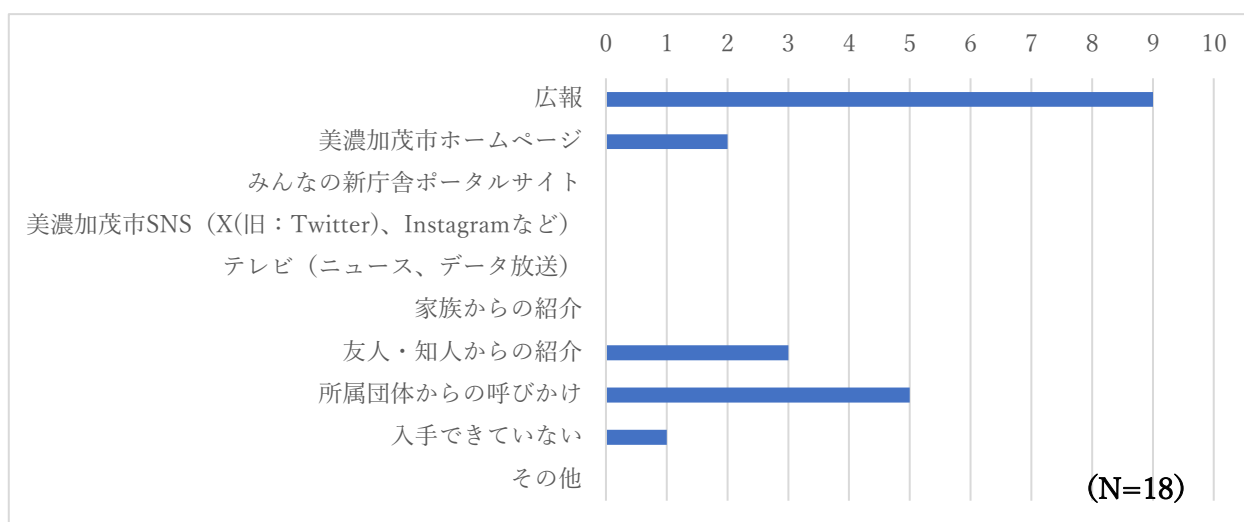
- ・一般市民が具体的に関係することがわからなかった。
- ・市の役割の10年先のガイドライン

問6. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで、「その他」「美濃加茂市ホームページ」が続いた。その他の意見として、「美濃加茂メール」「市のグリーンキーパー」があった。

	回答者数【N=18】
広報	9
美濃加茂市ホームページ	2
美濃加茂市 SNS (Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	3
その他	5
入手できていない	1
未回答	0
合計	20

図 5 10年後の市の役割について ※複数回答有



問7. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

◇自由意見

- ・小さな市民のための庁舎
- ・新庁舎を作る必要がありますか？
- ・ワークショップでの意見を大切にしながら決めてほしい
- ・次ステップに期待
- ・そもそも基本構想に今回のような予算をかける必要があるのか？

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所太田Ⅰ・Ⅱ、下古井合同地区懇談会) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年8月24日(木) 18:30~19:30

場所:商工会議所3階会議室

参加者(主催者・事務局を除く):会員 35人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆検討に関する経費について

参加者)

理念や考え方だけでなく、検討にあたり発生する公金がどのようになっているかについても市民は敏感になっているので、数字的な裏付けをきちんと示してほしい。

市職員)

旧基本構想および旧基本計画の両方を合わせた委託費としては 3,023 万円を使用していました。人件費は別となります。今後、こう言った情報発信についてもどのように出していくのかしっかり検討して、市民の皆様にもご理解いただきたいと考えています。

◆進め方について

参加者)

旧計画の時も、色々な会議やワークショップを行っていた中で、計画が白紙になった経緯や今までどの

ように検証されてきたのかがわからない。旧計画から今までの検討にかかった経費を考えると、それこそ税金の無駄使いではないかと思います。個人的には候補地がどこか等よりも見直しの経緯について、納得のいく説明をしていただきたい。

市職員)

平成28年度から令和3年度途中までの6年弱の期間をかけて策定した、旧基本構想・旧基本計画案が白紙となりましたが、当時、市民の皆様から頂いたご意見は今も残っており、そういった意見も参考にしながら再策定を行っていく考えです。また、検証について、令和4年度に1年間をかけて、庁内で構成した2つのプロジェクトチームでしっかりと検証させて頂きました。その結果、こういった検討の進め方をしているか、ロードマップとしてまとめ、市民の皆さんと共有して進めていこうとなりました。

また、①前は限られた人数からの市民意見であったので、もっとたくさんの市民の皆さんの意見を聞く必要がある②専用のポータルサイトや回覧板等、いろいろなツールを使いながら市民の皆さんと情報共有をして進めることに努めてまいりたいと考えています。

参加者)

ロードマップにおける市民アンケートの役割が大きいですが、前回のアンケートで4000人に対して回収率が45.2%の半分にも届いていない。これを何回もやったところで意味があるのか。

参加者)

民主主義をはき違えてらっしゃらないかと思う。なんで計画を0からにしたのか、今まで策定委員とやってきたことは無駄だったのかと感じます。また、市の職員が仕事する上でやりやすい場所を作りたいという考えも以前の説明会からもありましたが、なぜ0からのスタートなのか。また選挙があれば、検討中として先延ばしにして、職員を付き合わせるほど、市民の関心はないと思う。

参加者)

美濃加茂に住んで子どもを育てていて、前市長時代の新庁舎の説明等も聞いてきたが、予算や水害対策などの議論もされてきていて説明不足と感ずることはありませんでした。関心があるから情報を得ていたということもありますが、3000万の委託費もかけて策定した旧計画を白紙にした理由や誰がどう決めたのかを知りたいと思います。また、水害の心配も身近にあるので、いつになったら計画が進むのか教えてほしい。市民の声をというが、市民はプロではないので、市としてはどうしたいのか筋道を提示してもらわないと、丸投げされているようで困る。

市職員)

旧計画が白紙になった経緯としては、市長選後の第1回定例会で市長が発言された内容に基づいて白紙になりました。実際に、旧基本構想・旧基本計画についてもたくさんの市民の皆さんのご意見を頂いて策定を行いましたが、その後の市民アンケートにおいて、4候補地の中で1つの候補地に決定をしてから説明会を開催した事などについて、進め方に疑問があるといった意見がありました。

◆市役所の役割について

参加者)

文化センターや中体の施設は市民が使う場であるが、市役所は職員の職場なので、きちんと内容を整理して職員が働きやすい場としてほしい。アンケートでもわかっているが、市民の約7割が年に1回程度しか市役所に来ておらず、年に数回と回答した人も合わせると9割以上となる。あくまでも市職員の職場で、サービスとしての窓口に市民が来るということを整理してほしい。

また、市役所ができることによって、賑わいができるかについては4000人のアンケートから考えると市役所の利用回数は少ないが、一方で市役所の設置により周辺の賑わいをもたらすと考える市民もいる。行政として、市役所のロケーションによって賑わいの創出をするようなイメージがあるかどうかお聞きしたい。

市職員)

庁舎は職員が働く場所ということで、昨年度も市民アンケートと並行して職員へのアンケートも取っており、職員が考える新庁舎像もしっかりと受け止めて進めていく必要があると考えている。

賑わいの創出については旧基本構想のコンセプトの中にも入っていました。しかし、昨年度4000人の市民アンケートを行った中で、順位としてはそんなに高くない結果となっています。したがって、こういったコンセプトについても9月下旬に行う、ロードマップ STEP2・3のワークショップの中で賑わいについて、市民の皆さんの意見を確認していきたいと考えています。

◆議会との関係について

参加者)

新庁舎に関して、議会との関係はどうなっていますか。

市職員)

議会にも「新庁舎建設特別委員会」が組まれていて、市役所側から情報を提供させて頂いたり、議員の皆様からご意見を頂くということを続けています。特に、昨年度の見直しに関する検証やロードマップを作成する段階で今後の進め方について全部説明させて頂いて、ここまでよく頑張ってくれたという議員さんもみえますし、市民の関心が向かないことについて厳しいご意見も頂いているところであります。そういった中で、市長はアンケート回答率 45.2%の回答されない方をどう振り向かせるかを考えてほしいといわれています。年齢層によって、広報誌で見る方もいれば SNS で見る方もいるので、こういった情報提供が一番いいかを我々も考えて、色々な情報提供をしながら、中学生や高校生といった未来の美濃加茂市を担っていただく子にも声をかけて頂いています。また、その子たちが家庭で話すことで無関心だった人たちにも振り向いてもらうこともできないかと、今、必死になっています。ただし、どれだけ市民の方と話しても、土地の取得費やレッドゾーンで難しい等、市民の方々からのご意見だけでは 1 か所に絞ることはできないと思っています。そういった市民の皆さんからは見えづらいところをしっかりと行政が見極めて、複数の候補地から市民の皆さんに選んでいただく、ということを行政の責任としてやっていかざるを得ないと思っています。そこで、複数候補地をどこにするのかを決めていく情報として、皆さんと意見交換をしていきたいと考えています。

参加者)

市民の声とあるが、市民の声を代表するために議員、議会があるのではないか。

市議会議員)

議員になった当初に、現庁舎について、大きな地震が来た時に建物は壊れないが、天井が落ちてきたりとか、職員の命は守れないと説明を受けています。庁舎は職員が働く場ということや場所や災害、金銭的なメリット・デメリットも考慮して、旧計画では方向性を決めておりました。今回、市民の皆様への説明不足を理由に白紙にされましたが、最終的に議決をするのは議員だと思しますので、アンケートの結果や直接、皆様の意見や市職員の意見を聞いて、自分たちで判断していきたいと思います。

◆検討期間中の災害対策について

参加者)

スピード感があまりにないのではないかな。長く検討するほど経費もどんどん膨らんでいる。可児市が古くなった商業施設に図書館を増設するというプランを見て、なんて頭が柔らかいのだろうとびっくりしました。現庁舎はお尻に火がついているくらい古い建物で、明日地震があったら市役所が使えないとなったら困るにもかわからず、何年もかかるスケジュールで市民の意見を聞いているが、もし有事の際、現庁舎が使用できなくなった場合の市役所の代替を考えていたりするのか。

市職員)

現庁舎は 62 年が経過した建物で、県下 21 市の中で最も古い建物になっております。耐震工事は行っているのですが、震度 6 強がきても、いきなり倒壊はしないと思っております。ただ、熊本地震のように、震度 6 が来て、その後にもた余震で震度 6 が来るような、我々の想像した以上のものが来たら、耐えられるかは、かなり疑問符がつくと思いますし、建物、いわゆる箱物は耐えたとしても、設備が使えなくなる恐れがあり、災害拠点として機能することは難しいと思っています。そのため、文化の森 2 階の情報学習室で、代替ができるように、設備を整えさせていただきました。自家発電装置も付けておりますので、いざ、現庁舎が使えなくなった時には災害拠点とする準備は進めさせていただいています。ただ、先ほどお話しされたように、あまりにも時間がかかるのではないかなというご意見について、私も同感ですので、少しでも早くやっていきたいと思っております。市長の考え方と市民の考え方がすり合ったところで、いかに早くできるか、事務局としては常に最短のスケジュールで動いておりますので、ご理解いただきたいと思います。

◆市民の関心について

参加者)

なぜ新庁舎について関心・興味のない方がたくさんいるか、どう認識されていますか。

市職員)

アンケートの中でも、市役所に年に 1 回しか来ない、あるいは市役所って行ったことがないという人が結構お見えになっていて、そういったところが無関心・興味がないというところに繋がっているのだと思います。

参加者)

人は目に見えないと魅力を感じることができないと思うので、決定案や固まった案でなくても良いので、こういったものを考えているだとか、まだまだ使える空き家を活用するだとか、前回の検討時に示していたように、写真などで見える化した案を市役所の入り口や放送などで見えるようにしてもらえるとワクワクすることができると思う。

市職員)

前回行っていたような、パースや写真を使った周知を今回もやっていかないといけないと思っています。

参加者)

なぜ同じことを繰り返すのかが理解ができません。

◆太田南地区の発展について

参加者)

旧計画で、太田南地区に新庁舎をつくるということで、商工会としても昔の賑わいを取り戻そう、組合を作って頑張ろうと夢や構想を描いた中で白紙となった。旧計画であった前の駅前通りのところでだめなのか。

参加者)

今までも色々な政治家の方たちが太田南地区の再発展を謳われてきたが成功してこなかった。美濃加茂市にはたくさんの地区があるが、それぞれの町に役割があると思うので、美濃加茂市として街をどうしていきたいのか方針を出してほしい。

参加者)

旧基本計画で決まっていた駅前にできらうなと思っていた人、太田の町の活性化を期待した人はたくさんいるので、白紙にしたのであれば、今後、どのようにしていくのか、コンセプトや指針を示してもらわないと関心度も下がってしまう。

◆現庁舎について

参加者)

現庁舎が岐阜県最古の庁舎なのであれば、それを売りにしてもいいのではないかな。天井が落ちるのであれば、落ちないように変えればいいのではないかな。新庁舎建設に多額のお金がかかるのであれば、岐阜県最古の市役所として現庁舎を残して売りにすることもできるのではないかな。

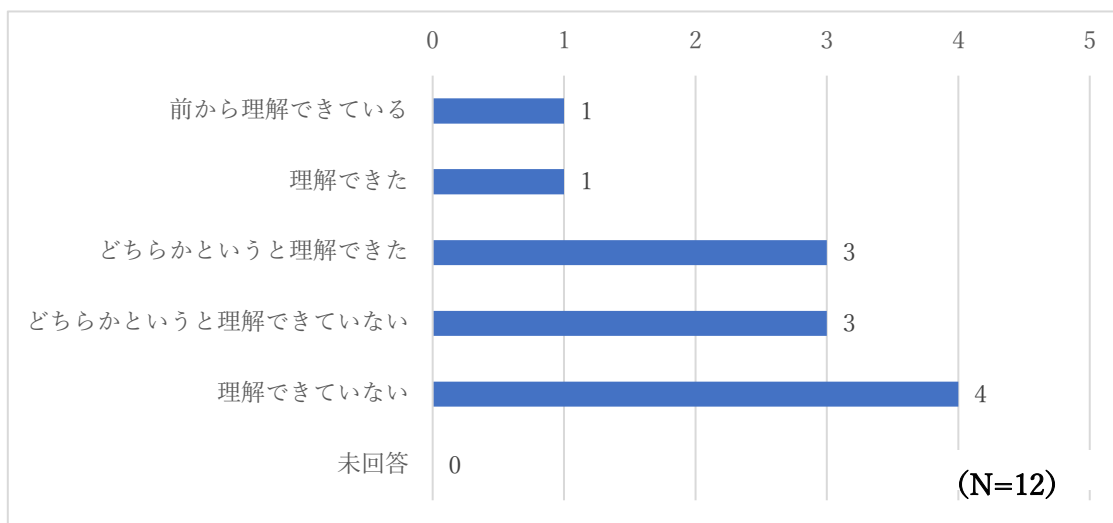
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 12名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できていない」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」、「どちらかという理解できていない」が続いた。

	回答者数【N=12】
前から理解できている	1
理解できた	1
どちらかという理解できた	3
どちらかという理解できていない	3
理解できていない	4
未回答	0
合計	12

図 1. 新庁舎整備の理解について

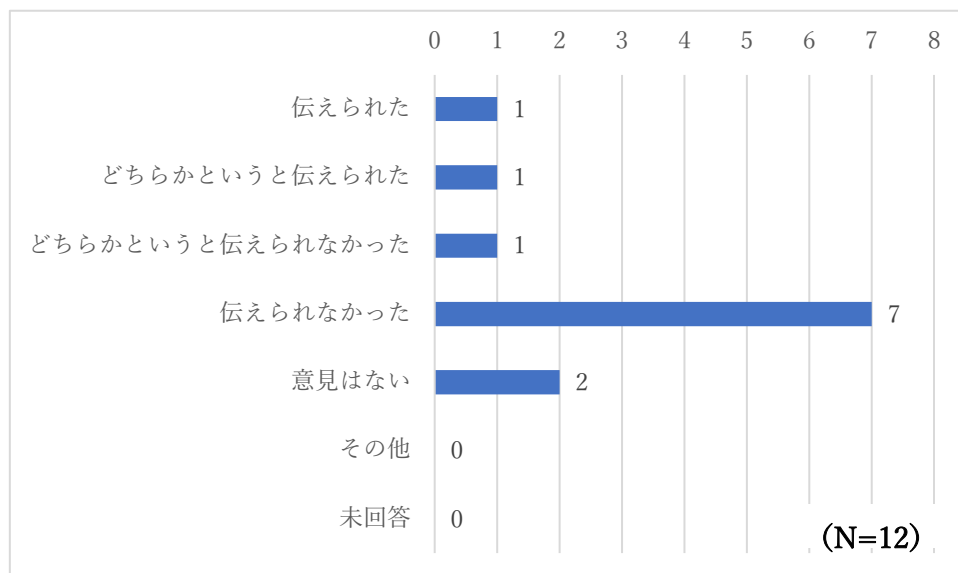


問 2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられなかった」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=12】
伝えられた	1
どちらかという伝えられた	1
どちらかという伝えられなかった	1
伝えられなかった	7
意見はない	2
その他	0
未回答	0
合計	12

図 2. ワークショップでの意見について

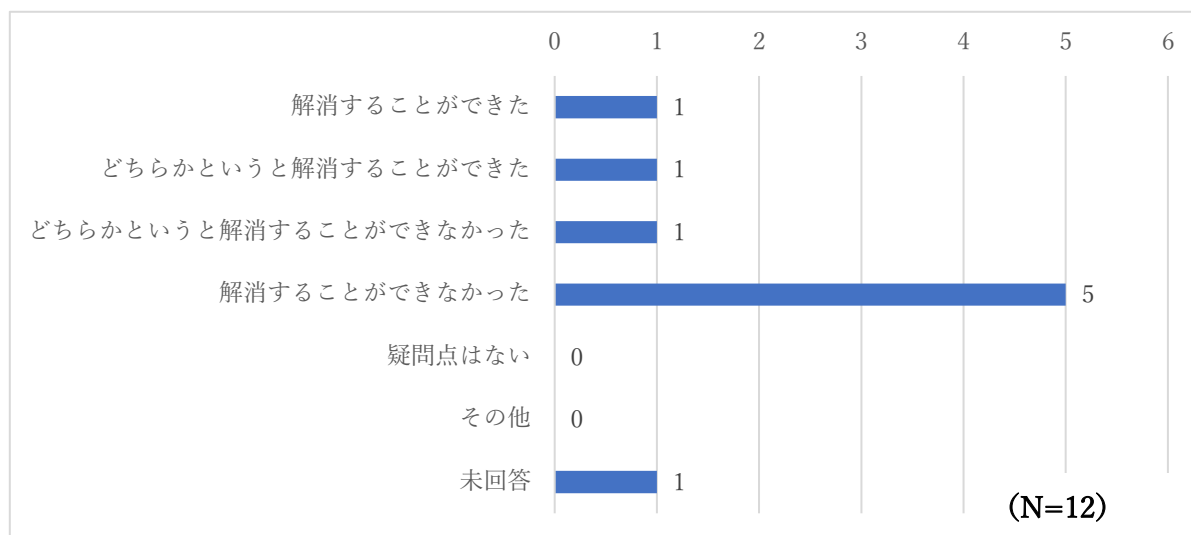


問 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「解消することができなかった」が最も多く、次いで「解消することができた」、「どちらかというと解消することができた」、「どちらかというと解消することができなかった」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=12】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	1
どちらかというと解消することができなかった	2
解消することができなかった	7
疑問点はない	0
その他	0
未回答	1
合計	12

図 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？



○問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。(自由記入)

◇自由意見

- ・市長の白紙撤回の理由
- ・何故白紙に戻して0からになったのか。

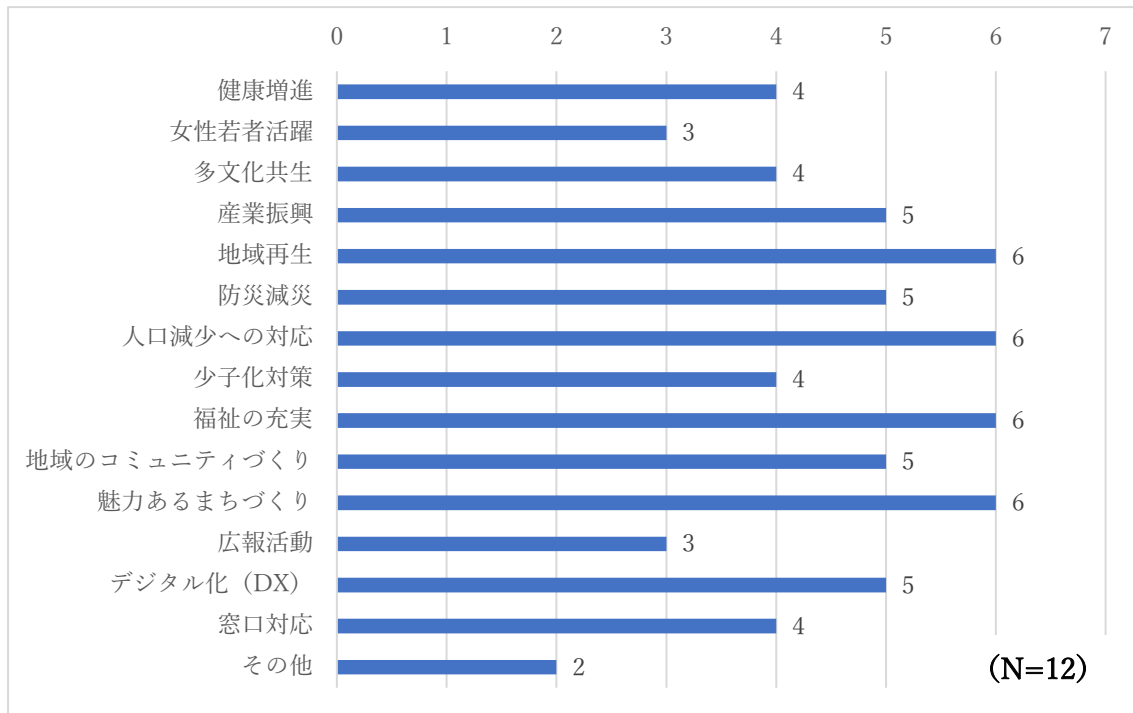
問 4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？(複数回答)

「地域再生」、「人口減少への対応」、「福祉の充実」「魅力あるまちづくり」が最も多く、次いで「産業振興」、「防災減災」、「地域のコミュニティづくり」、「デジタル化(DX)」が続いた。その他の意見で、全ての項目が思い浮かぶという意見もあった。

	回答者数【N=12】
健康増進	4
女性若者活躍	3
多文化共生	4
産業振興	5
地域再生	6
防災減災	5
人口減少への対応	6
少子化対策	4
福祉の充実	6
地域のコミュニティづくり	5
魅力あるまちづくり	6
広報活動	3
デジタル化(DX)	5
窓口対応	4
その他	2
合計	68

※複数回答有

図4. 「市の役割」について



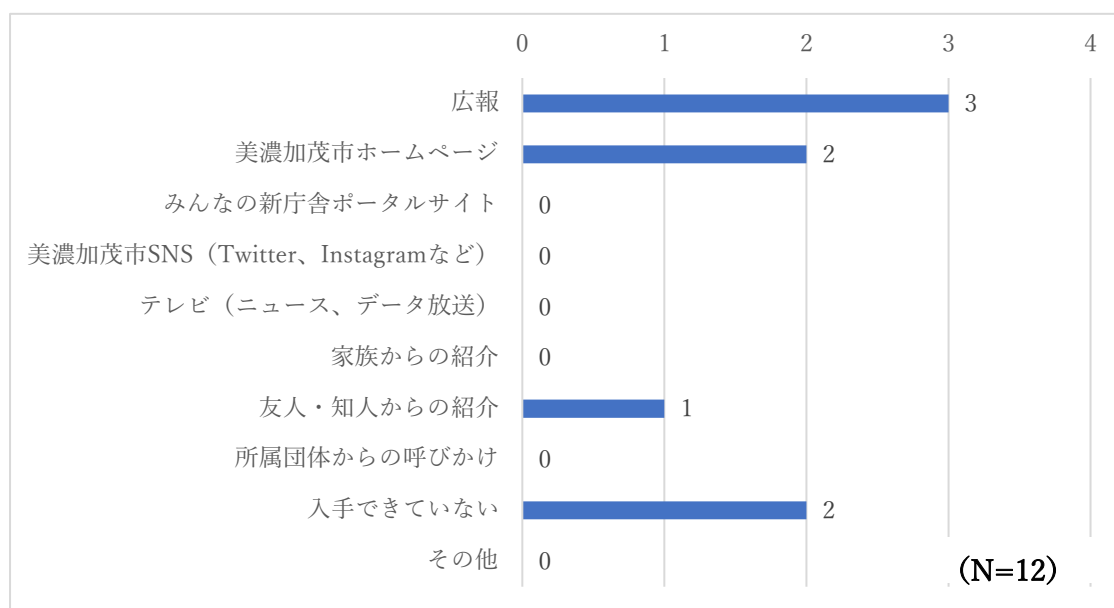
問 5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」、「入手できていない」が続いた。「友人・知人からの紹介」という意見もあった。

	回答者数【N=12】
広報	3
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	1
所属団体からの呼びかけ	0
入手できていない	2
その他	0
合計	8

図 5. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について

※複数回答有



問 6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記入)

◇自由意見

- ・庁舎移転と街の賑わいは別物です。市議会議員の話も耐震の事を挙げていたが、何処に移そうが同じ事なので解っていらっやらない。時間の先延ばしは止めお尻の日にちを決めて事にあたっていただきたい。
- ・とにかく早く作って欲しい！！アンケートワークショップやりすぎ。
- ・「市民みんなで検討しているよ」感の見え見えのアリバイ作りはもういい加減やめて、スピード感もってやれよ！
- ・新庁舎整備委託料についてワークショップ初回に伝えるべき！！
- ・スピード感がない

おでかけワークショップ(一般社団法人 中濃法人会 美濃加茂支部) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年8月25日(金) 15:00~16:00

場所:商工会議所

参加者(事務局を除く):会員 15人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆災害について

参加者)

岐阜県には美濃加茂以外に市がありますが、60 年以上経過した庁舎でまだやっている所は他にもあるのか。震度 6 のような地震が起きた時にどれくらいの世帯が崩れてしまうのか。市民の意見を聞くのも大事ですが、言いたい放題いう人がいるので揉めるのであって、ある時には決断が必要になってきます。市長、市役所建設部の慣れているプロにこのマスタープランを任せてもいいのではないかと思います。

市職員)

岐阜県内の中では、一番古い建物になっていることは間違いありません。やはり建て替えをしている各務原市や土岐市など、実は同じ場所に建て替えるというのは案外早く進みます。場所を変えとなると少し時間がかかるところもあります。今後、美濃加茂市も皆さんのお話をさせて頂く中で例えば今の場所にもう一度建てるという話や、あるいは違う所へ建て替えるかということもあるかもしれない。それによってスピード感も少しずつ変わってくるかと思っています。

新庁舎が水に浸かったとして 1、2 階が浸かって 3 階以上がしっかりと機能していて、災害の拠点となればいいのかという意見もあるので、そういった事もしっかりと踏まえながら、お話ししていきたいと思います。

市民の皆さんから話を聞けば聞くほど、色んな話が出てきます。最後は皆さんの一つの意見になることは、多分簡単にはいかないと思いますが、行政としてもまちづくりのプロフェッショナルとして我々が最後は、時間がかかりすぎる、お金がかかりすぎる、土砂災害の危険の可能性が高いなどを見極めて、しっかり責任を持ってここにするという事を議会に上程していく責任は我々にあると考えております。

参加者)

私は、関市に住んでいます。関の市役所、旧市役所は山の斜面に建って、駐車場も遠かったですし、今の立地は市民の方から水害が危ないとか、ちょっと不便だと言う意見もあります。

市職員)

美濃加茂市の場合、今の場所だと不便だという話、駐車場が狭い部分については、少しお話いただいています。場所的な事に対しての不満はないです。ただ、100 年や 1000 年に 1 回の災害で浸かる可能性は十分にあるという事は 1 つの問題点として挙げられています。

また、9 月号の広報誌をしっかりと見ていただいていると思うのでありがたいですが、実を言うと 40 年前に美濃加茂市は 9.28 災害の非常に大きな災害に遭っています。木曽川の水が十六銀行辺りまで浸かりました、あの時下水などがなかったもので、相当な下水も溢れましたし、各家庭の畳も腐って、非常に大変な事になった事が市民の方の心の中に残っているところがあり、浸水がある所は嫌だという意見が非常に強いのは、美濃加茂の特徴であると思っています。

だからといって今のところに建ててはいけないという理由もないです。例えば 1、2 階は立体駐車場にして 3 階以上を災害拠点、対策本部にすることもできます。そこをどうしていかうかという所を皆さんと詰めていきたいなと思います。

参加者)

水害の話が出ましたが、浸かっている時間を考えれば、そこまで気にすることではないのかと思います。本当にたくさんの意見を聞いてコンセプトをまとめるのは、非常に大変な作業だと思います。ですが、コンセプトを決めてそれに見合った庁舎を作っていただくのも大事だと思います。これから人口はそんなに増えることがないと思うので、その辺りも考えていただいた規模の調査を作って頂ければと思います。

市職員)

人口の話ですが、皆さんも地方創生という言葉を目にした方あるかと思います。少子化、高齢化が進み、人口減少して消滅可能性都市と言われた町もあります。美濃加茂はどこに入るかというと、実は微増ですが、人口がまだ増えている町でもあります。

そうすると外国人が増えているから、人口が増えているのだという方も非常に多くみえますが、日本人の人口もほぼ横ばいです。これもちょっと全国的には珍しい状況の町だからといってこれから人口が 6 万、7 万人と増えていくかということそれはさすがに無理だと思っています。地方創生として美濃加茂市も人口ビジョンを作りました。その時に美濃加茂市の人口はどこがピークで下がっていくかということ、2035 年から 2040 年くらいがピークになり、そこから下がっていく。この下がり幅を少しでも下げようと努力を

しましうとなりましたが、今おっしゃられたように人口が減っていき、当然税収も減っていくので、その時にあった庁舎という事も視野にいれながらぜひ考えていきたいと思ひます。

◆プロセスについて

参加者)

説明をお聞きして、非常に完成形を求めているように思ひます。色んなプランがあつて、そのプランの1つが出てくるとそれに付帯する色んな事項があります。

民主主義というのは基本的にみんなができないから専門家に任せるといふことで、何を我々が求めているかといふと、完璧な市役所を求めているのではなく、毎日の行政を滞りなくやっていたただけがいいと思ひています。もう少し柔らかくやっていたけるとわかりやすいです。

市職員)

全体、プロセスをお話させていただきました。8 ページの中でこれまでのプロセスと新しいプロセスの事を説明させていただいたのですが、決して、過去のこのプロセスが悪かったかと言われるとそうではなく、全国でやっている流れと同じ流れ方をやっています。そこに対して問題はなかったと思ひていますが、ただその情報が市民に伝わっていなかったから、市民の皆さんから「いや、俺たち聞いてないよ。そんな話だったの?」という事で反対される方もおみえになったので、そこは我々もしっかり反省しなければならぬと思ひました。今回新しいプロセスで最初から市民の皆さんと話していこうと、プロの有識者をいれるのではなく、市民意見をまとめていこうという方向性になりました。我々も手探り状態で、全国でもこういった形で市役所、庁舎を作っていくケースは稀なので、もしかしたらこの方向性を変えなきゃいけないことも視野に入れていることをご理解していただきたいと思ひます。

参加者)

市の職員は行政のプロなので、大前提の条件から漏れるような候補地が出て困らないよう、「こういう条件の中から考えてくださいね」とある程度提示しておけば、そのスケジュールはもっと前倒しにならないですか。

市職員)

スケジュールを少しでも前倒ししたいところは、我々も事務局も同じ考え方です。少しでも早くとは思ひています。その為はどういった手法がいいかという部分について、その前提条件を先に出したりすることがいいのか。中にはそれを出すと市が誘導してしまうという批判も、前回たくさんありましたので、それらをどう見極めて、どのタイミングで出していくのか我々も今必死になって考えて進めています。これからステップ3 をやっていく中でどういった段階、あるいは4、5の中でどう出していくのかその辺も我々も見極めていただいていますので、ご理解いただきたいと思ひます。

◆SNS・媒体について

参加者)

SNS をという話があり、皆さんへ情報が行くとは思ひますが、美濃加茂以外の人が見ることができ、何かと問題を言うてくる場合もあるのではないかと思ひます。市の事は市で片付けていかないと思ひます。たくさん情報をもらっても、私達の町はやっぱり私達の町だといふ風に進めていかないと思ひまし

た。一遍に情報を市民に知ってもらおうというのは、ここでうたってしまうと逆にデメリットがあるものではないかなと感じました。

市職員)

SNS は本当に色んな方が見ていて、全国、世界のすべての方がみて、美濃加茂に関係ない方からもご意見がきっと出てくると思います。

実は昨年(2019)の7月～8月にかけて市民4000人の方にアンケートをとりました。その時「どういった媒体を使って情報を得られますか？」という質問をさせていただきました。一番高かったのは広報誌です。広報誌で情報を得たいという人が非常に高かったです。ただそれを年齢層に分けてみますと、10.20.30代はやはりSNSが情報を得やすいと出ています。だからYahooニュースとかで取り上げてもらう形でもいいですけど、やはりインフルエンサーとして誰かに情報発信をしていただく。年配の方たちは割と新庁舎等に興味があるのですが、若い年齢の方たちがそういったことにあまり興味がないので、しっかり情報発信をして振り向いていただくことも大切だと思います。

当然リスクも踏まえた上で考えていく必要があるのですが、いただいた情報を鵜呑みにするのではなくて、しっかりと整理をした上でやっていく必要はあると思いますが、ありとあらゆる形での媒体を使って情報発信をしていきたいと考えております。

◆上位計画について

参加者)

立地適正化、コンパクトシティを盛んに言っていましたが、それはまだ行政の色んな都市デザインをする考え方の中に残っていますか。例えば庁舎はの中で都市拠点に入ってきますよね。誘導区域内にその都市拠点というものを建設しないといけないということであれば、今回の手法をみるとアンケート等が主体になっていますが、最初の前提で網をかけないと、全くそのコンセプトから外れた候補地が出てこないかなと思います。

市職員)

立地適正化計画については、当然生きています。ただどんな計画でも何年かに1回は見直さなければならぬので、今後今の時代にあったものに変えていく可能性はあります。

今言われたように、この計画とまた違った答えが出てきたらどうするのかということもあると思います。複数の候補地のアンケートを行う前に、市としても前提条件を出していかなければならないと思います。例えば極端な話ですが、土砂災害のレッドゾーンと言われるところを1つに選ぶわけにいかないわけです。そういった事も踏まえながら、立地適正化計画や都市計画マスタープラン、美濃加茂の最上位計画である第6次総合計画にあったところが一体どこなのかという事も踏まえた上で、最終的には整備地も絞っていく作業は必要になると思います。

◆見直し方法について

参加者)

2ヶ月前に転勤してきたばかりですが、一個人の意見として、基本構想、基本計画が全て白紙で構想の4候補地が白紙になったと記載がありますが、その理由が市民の意見の聴取が不十分であったのであれば、元々の基本のベース構想に市民の意見を整合させて、市の方からこういう案はどうですか？とやった

方が時間的にも短くなると思いますし、予算的にも新しく 1 からスタートするよりもかからないと思いますが、その辺はいかがですか。

市職員)

旧基本構想あるいは基本計画を策定するとき、市民の方たちとワークショップをずっとやっていました。その時の候補地が、実を言うと 8 ヶ所の候補地を市民の方から出していただいた。それを策定委員会の方で 4 つに絞り込み、その後、未来のまちづくり委員会で有識者たちが入って、4 つから 1 つに絞ってきた経緯があります。この 1 つになった事を説明会で市民の方にお話したら、やはり情報が伝わってなくて、いきなり 1 個でもってきたという話になってしまいました。しっかりと情報が市民の方に伝わってなかったと反省し、今回は最初から皆さんと一緒に考えてそれを絞り込んでいく作業になるので多少時間はかかるかなと思っています。

参加者)

きちんとした計画が出ているのを、初めて知ってびっくりしました。市にお金がいくらあって、いくらならこの調査に出せるのか、大体いくらくらいあればいいのかを考えて土地の購入を考えると、ここは無理だとかいいとかなるので、その辺りの絞り込みと、お金がどのくらいを考えてみえるのかなと思っています。

市職員)

市役所を作るのに 100 億かけてもいいよ。200 億かけてもいいよという意見もあるかもしれませんが、市民の生活をこれから支えていく行政がどれだけでも借金していいわけではないと思います。大体一般論で、他市町村が建てている庁舎が大体 50 とか 60 億という金額になります。

それが、新しく用地を取得するのか、あるいは元々持っていた土地なのかによっても変わってくると思いますし、市民の皆様から色々お話を聞いていると、ある程度賑わいとして、こういったものを入れた方がいいのではないか、市役所の職員が働く場所なので、箱物でいいじゃないか、という意見もあります。それによって大きさが変わってきます。一般論として県内のものを調べる限り、50、60 億くらいはかかるかなと思います。人件費や資材が高騰している時代にどこまで抑えられるのかというのも我々はしっかり調査していくべきかと思っています。

◆市民と市職員について

参加者)

共通認識を得るということで、市の職員の認識と市民の方の認識の共通認識を得たということになっていますが、実際に新しい庁舎で働かれる職員の方たちが自分たちの意見が反映されているか、自分たちの思いが反映されていると思う事が出来れば、今後も優秀な人材が来るのかなと思います。

市の職員の方々も合意形成やワークショップに出て、職員の代表として出られると思いますので、作ってもらう形ではなくて、自分たちも参加して新しい庁舎を作ったと言えることができると納得感があっていいのではないかと思います。具体的なそういった活動が内部で話が出ているものなのでしょうか。

市職員)

昨年、市民 4000 人にアンケートを取った際に、実は職員にもアンケートを取り、市民の考え方と職員の考え方にどれくらいのずれがあるのか、今働いてるところで何が不便で、こうしたらもっと市民の方にも

っと利用していただけるんじゃないか等、意見を聴取しました。また、仕事が終わった後、生涯学習センターで説明会や意見交換会などもしていました。市民ワークショップを交えた結果をもって、市職員とも話して、やっていきたいと思っています。

◆新庁舎の規模について

参加者)

最近の市役所や県庁は市民の人口に合わせた大きさには似合わないような建物を建てていると感じ、もっとコンパクトでいいのではないかと思います。

市職員)

市民や市の職員の数から基本的な建物の大きさは国の基準が示されています。それに照らし合わせると今の庁舎は小さいです。小さくても、なんとかなっているのは、隣の生涯学習センターで会議室は使えるからというところがあります。これから建てる所で何か他の公共施設と隣あって会議室を上手く利用していければ、良いと思います。例えば関市のように郊外に建てて周りに他の公共施設がないとなった時は、会議室を作らないと回りません。大きくしないといけない場合もあるので、その辺はこれから建てる場所や機能、そういう事を見据えながら、どの大きさにしていくか考えていく。それによって費用も大きく変わるので、そこはしっかりと見極めていきたいと思っています。

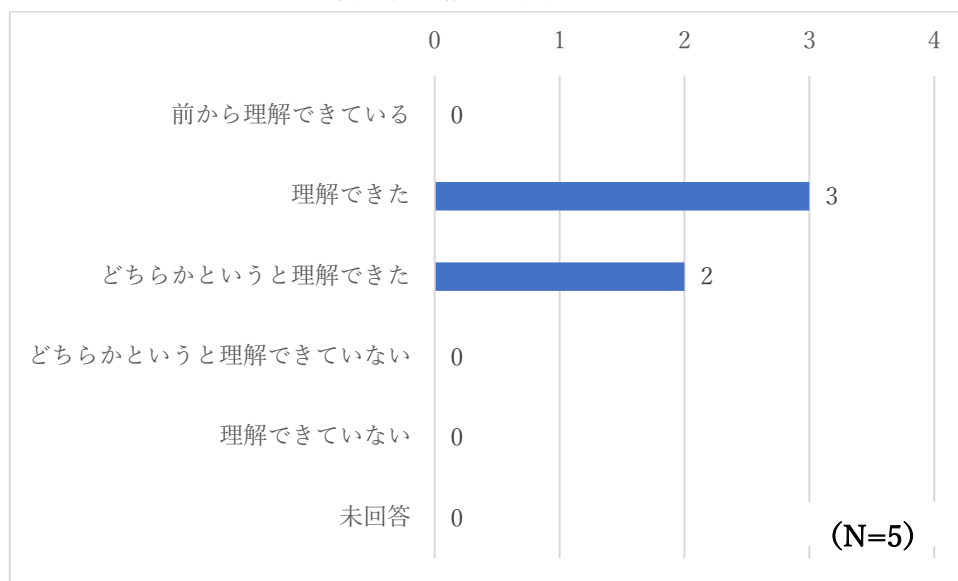
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 5名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」が続いた。

	回答者数【N=5】
前から理解できている	0
理解できた	3
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	5

図 1. 新庁舎整備の理解について

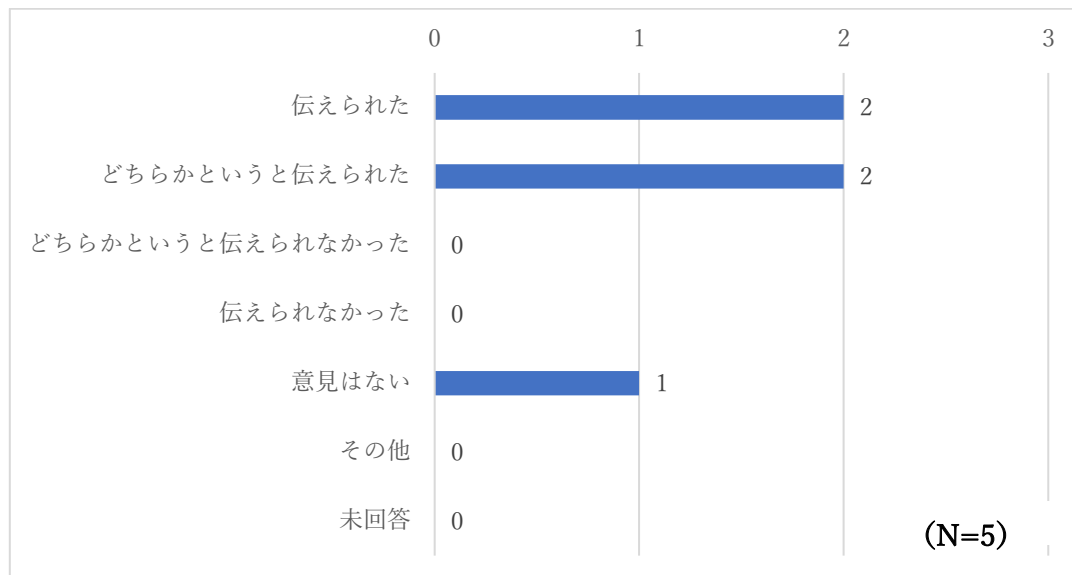


問 2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられた」、「どちらかという伝えられた」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=5】
伝えられた	2
どちらかという伝えられた	2
どちらかという伝えられなかった	0
伝えられなかった	0
意見はない	1
その他	0
未回答	0
合計	5

図 2. ワークショップでの意見について

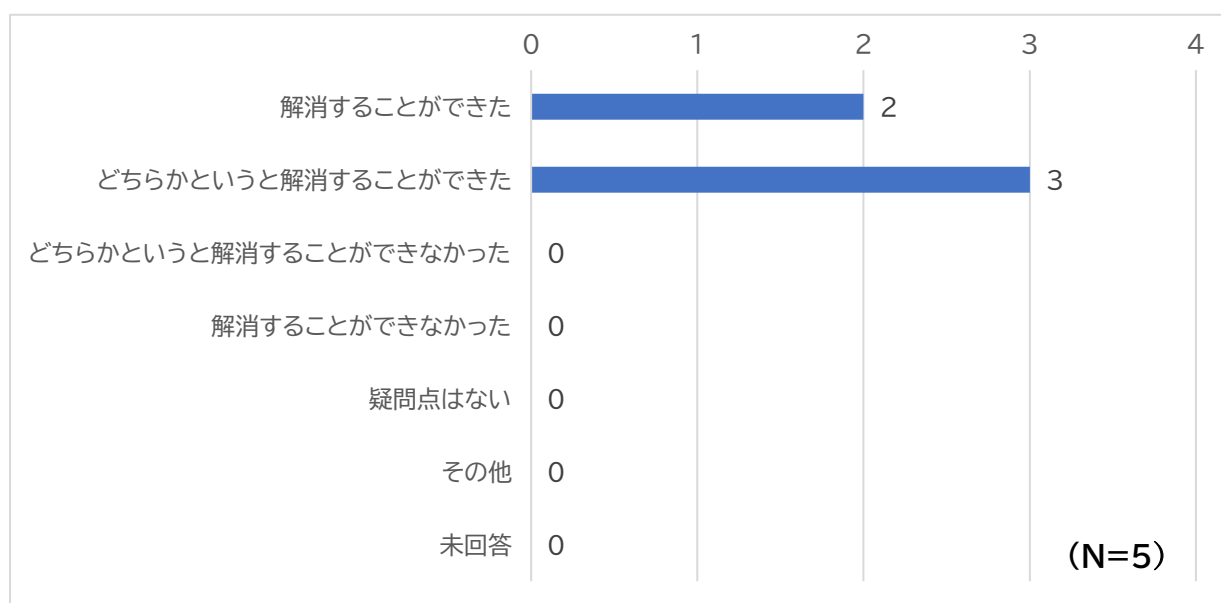


問 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」が最も多く、次いで「解消することができた」が続いた。

	回答者数【N=5】
解消することができた	2
どちらかというと解消することができた	3
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	0
疑問点はない	0
その他	0
未回答	0
合計	5

図 3. 新庁舎整備に対する疑問点解消について



○問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。

◇自由意見

・市町村合併の話の再燃はないのか、合併した場合の検討は？庁舎は合併をした場合

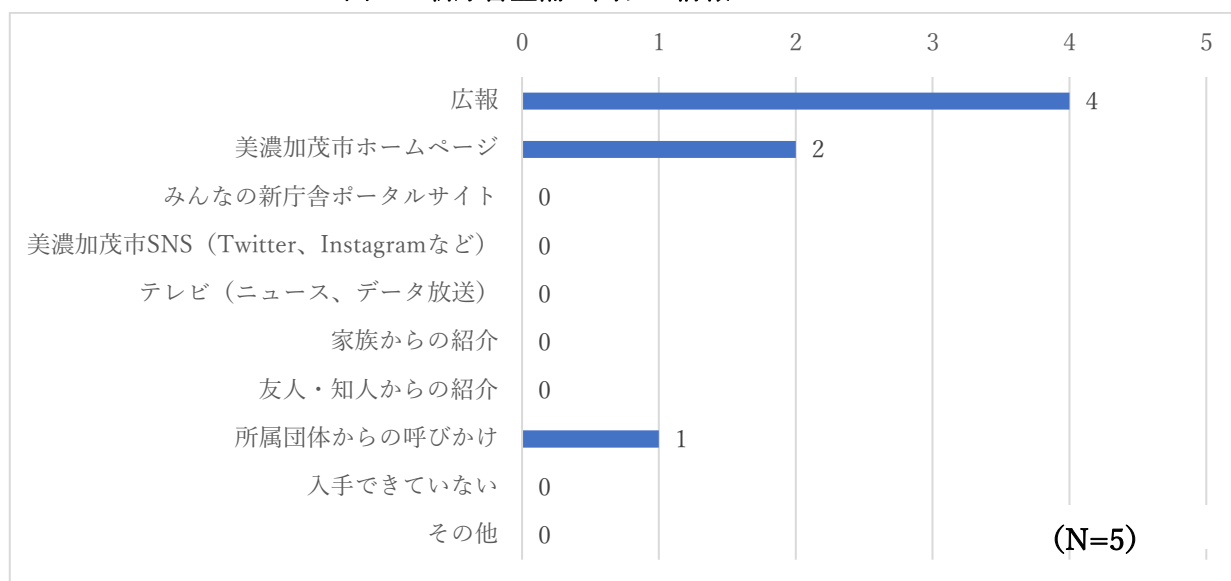
問 4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」が続いた。「所属団体からの呼びかけ」という意見もあった。

	回答者数【N=5】
広報	4
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	7

図 4. 新庁舎整備に関する情報について

※複数回答有



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

◇自由意見

- ・他の市町からも頼られる行政と地域であり続けたい！交通の要で、他の市町から羨ましがられる美濃加茂市であり続けたい
- ・建設費を安くお願いします。

おでかけワークショップ(みのかも市民会議) テーマ:市民が考える「10年後の市の役割」

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各STEPに基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは「市の役割の見える化」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年8月25日(月) 18:00~19:30

場所:リバーポートパーク美濃加茂

参加者(事務局を除く):13人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク

お題:市民が考える「10年後の市の役割」

5. 質疑応答
6. おわりに

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課



2. 結果の概要

(1)全体の傾向

各開催日において、10年後の市の姿を思い描き、市の担う役割について考えていただきました。

地域資源を生かしてほしいという意見が多く、特に自然や里山を活かして産業を発達させるという意見が多かった。また、若者の雇用環境や子育て環境を整えること等で、ほどよく住みよい住環境があること求める意見が多かった。

(2)ワークショップの結果の概要



カテゴリー	市民の方の意見	補足
市役所	何年後にはどうなるイメージ知りたい	
	これ以上すごい建物はいない	
	行政(職員)も市民	
	本当はそんなに望んでない？職員の〇〇〇〇	
	2030.2040 社会はどうか？2025 問題	
地域資源	人が魅力	名古屋からのアクセス良い
	資源があるのに活用できてない、気づいてない	自然、人、たくさんの魅力
	交通の便良い	美濃加茂の資源を活かす
	メリットが当たり前、気づいてない	
産業	山の管理→人が集まる→良い循環	
	自然と開発のバランスが課題	
	資源あるのに活用できてない	
	里山管理単体(難)何かとセットで	
	何かの事業と里山をコラボさせる	
	ダム型都市でも…白川とかから人がなくなった	
	シティサイクル、スポーツでなく産業振興として	
	人を集客する場を用意する→あとは業者が乗ってくれる	
	市が場を用意	
	PR、事業者その後につながるよう	
	美濃加茂といえばのおみやげがない	産業振興
	今後の税収は	
住環境	市にきた人にお金をおとしてもらう	
	人口動態みたい	
	人口動態のグラフも作って	
	今後増えない→加茂郡からの流出がみこめない	
	関係人口を増やす方法を考えて欲しい	
	夜間人口が多い	
	昼多夜少→昼少夜多(人口)	
	活性化できる根拠をふやし人が集まりやすく	
	平均点全部！！医療、住環境それが良い	
	美濃加茂にあるものは質が良い	
	人口密度ちょうどよい	
	地域+市役所の交流を増やす	
	子どもが育つ町	
	特色弱いけど安心できるまち	
	住みよさ 7/1800 位	
	名古屋依存しない町に	
	まわりの市町ががんばると厳しくなる	
	大卒雇用(基本)高卒厳しい	

若者の定住が課題	30 代前後が戻ってきたく
若い人が働ける会社がない	若い人が働ける場所がない
市民が仕事をつくる	雇用問題
チャレンジできる街にしてほしい	

(3)その他の意見

カテゴリー	市民の方の意見
幸せなまち	ブータンより幸せなまち
	世界のウェルビーイング City になる
流行りに流されない	時代や流行りに流されず
	流行りはすたれます
	漠然ではなくデータと科学的な視点で
モデル都市	ほぼほぼなまち
	スキマ→伸びしろ(余裕)
	スリム化
	モデル都市？
	当たり前のメリット→魅力点を強調し人が集まりやすい拠点づくりを
人とのつながり	人と人がつながりやすい町
	どんどん輪をつないでほしい
	住みよさ 7/1800 位
	人と人が気軽に声を掛け合えるまちみのかも♡
	人が良い
ほど良い	いいころかげん
	いいころ加減の極み みのかも♡
	「ほど良い」
	いいあんばい
少子高齢化	子どもが育つ町
	若者の定住
	少子高齢化が更に進む社会を念頭に置いて美濃加茂を評価すると、斜陽美濃加茂は更に進み「福祉の向上」を望めなくなる！！
連絡所	新庁舎の件を考えると〈高齢社会〉市として合併した折に定めた「連絡所」の役割が重要視される
資源活用	美濃加茂の資源活用
その他	「ハブ」&「スポーク」システムの強化
	生活環境、発展の余白)マルチリンク、パラレルリンク
	Action
	市が場を用意

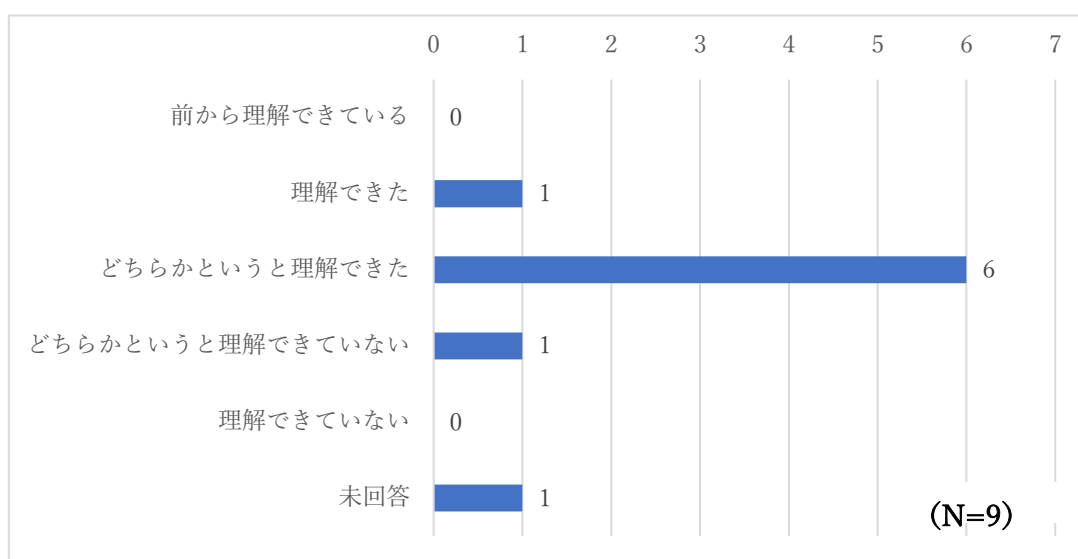
(4)アンケートの結果の概要 ※回答者数 9名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「どちらかという理解できた」が最も多く、次いで「理解できた」、「どちらかという理解できていない」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=9】
前から理解できている	0
理解できた	1
どちらかという理解できた	6
どちらかという理解できていない	1
理解できていない	0
未回答	1
合計	9

図 1. 新庁舎整備の理解について



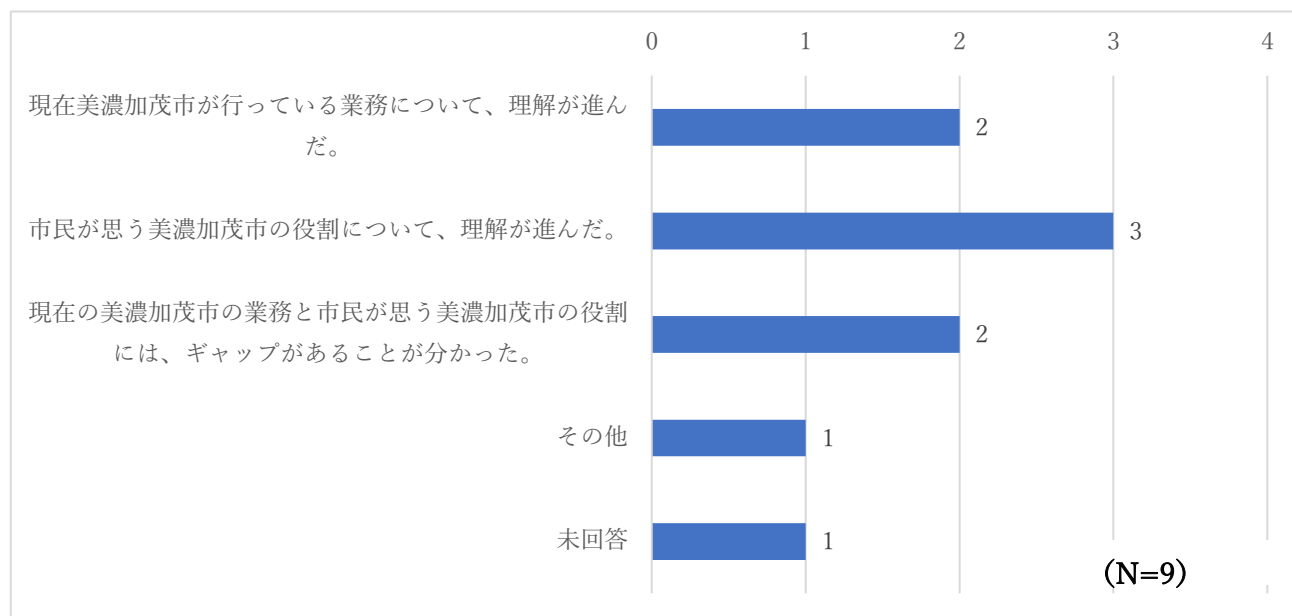
問 2. 本日のワークショップを通じて、「市の役割」についてどのように思いましたか？（複数回答）

「市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。」が最も多く、次いで「現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。」、「現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。」が続いた。

	回答者数【N=9】
現在美濃加茂市が行っている業務について、理解が進んだ。	2
市民が思う美濃加茂市の役割について、理解が進んだ。	3
現在の美濃加茂市の業務と市民が思う美濃加茂市の役割には、ギャップがあることが分かった。	2
その他	1
未回答	1
合計	9

図 2. 「市の役割」について

※複数回答有



◇自由意見

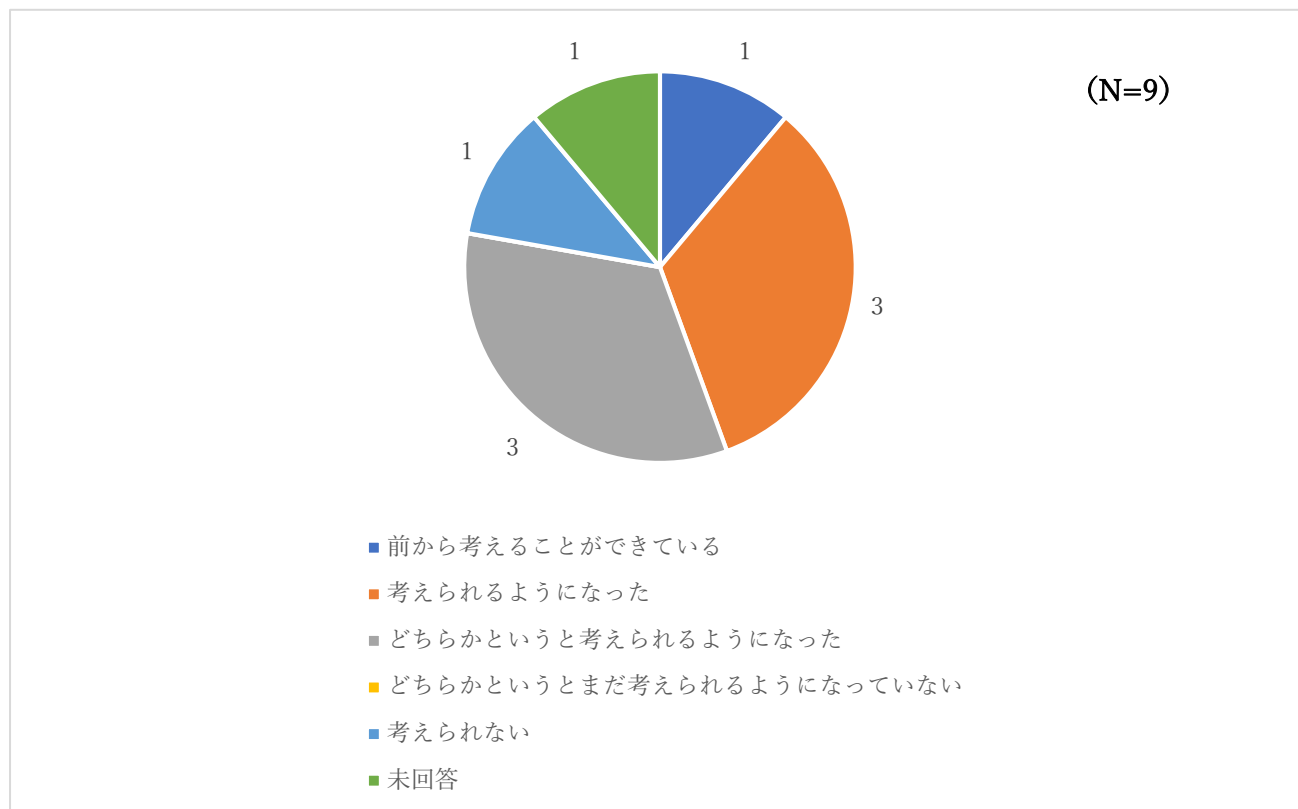
・役割というよりいいところ探し？

問 3. 10 年後の市の役割を考えることができましたか。

「考えられるようになった」、「どちらかというと考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができている」、「考えられない」、「未回答」が続いた。

	回答者数【N=9】
前から考えることができている	1
考えられるようになった	3
どちらかというと考えられるようになった	3
どちらかというはまだ考えられるようになっていない	0
考えられない	1
未回答	1
合計	9

図 3. 10 年後の市の役割について



問 4. 本日のワークショップに参加され、新たに市の役割として必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

◇自由意見

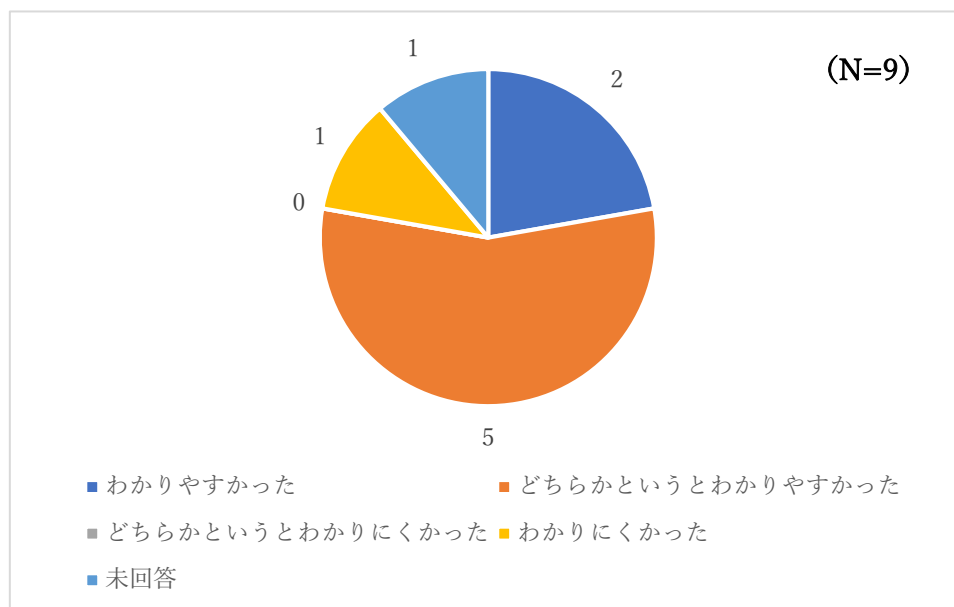
- ・市役所での取り組みを今以上に見える化してもらえるとよいと思いました。
- ・新たに、というわけではなくて、基本的な部分である、市民へ寄り添うことだと思います。それをなくして、役割を果たせないのではないのでしょうか。
- ・市庁舎から出て働く、フットワークの良い職員さん達を期待します
- ・行政としてしなければいけないことを明確にして、地域や外の人と話し合える余裕をつくる必要がある。
- ・人とのつながり強化、人が集まる拠点を作る(若者の就職も含め)

問 5. 本日のワークショップの説明について

「どちらかというとわかりやすかった」が最も多く、次いで「わかりやすかった」が続いた。
「わかりにくかった」という意見もあった。

	回答者数【N=9】
わかりやすかった	2
どちらかというとわかりやすかった	5
どちらかというとわかりにくかった	0
わかりにくかった	1
未回答	1
合計	9

図 4. ワークショップの説明について



○わかりにくい、さらに知りたいと思った内容がありましたら教えてください。(自由記入)

◇自由意見

- ・導入の部分の説明は、駆け足での説明でしたから、理解はできませんでしたが、資料を読んで理解を深めたいと思います。
- ・直接市庁舎の事でなく、その前段階のおはなしでしたね。それは良い事です
- ・市民の認識

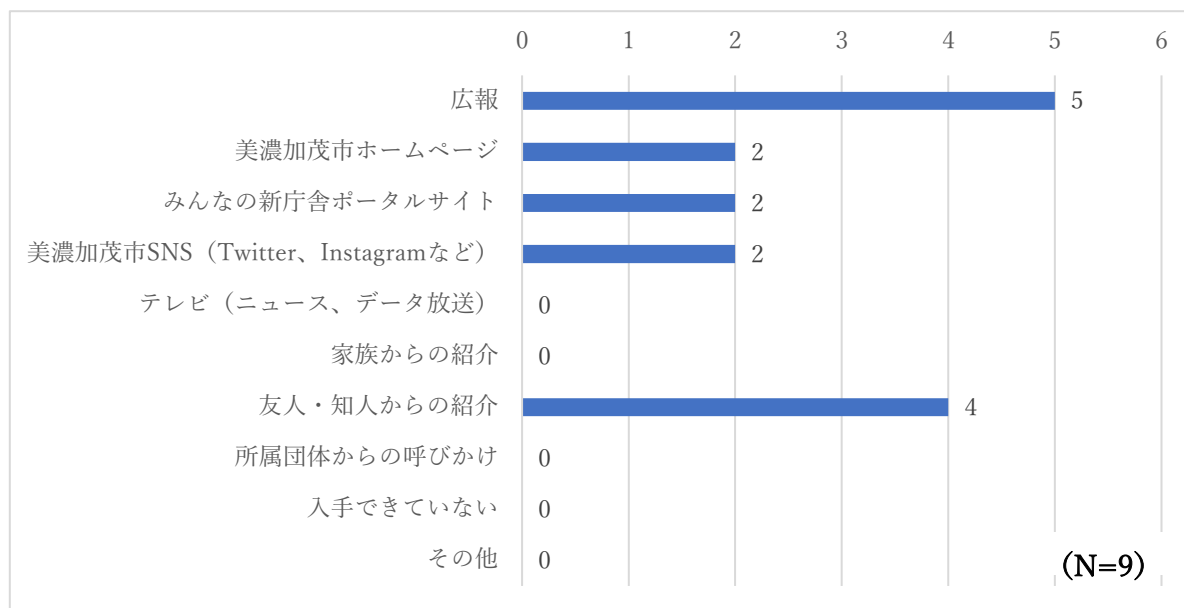
問 6. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「友人・知人からの紹介」が続いた。

	回答者数【N=9】
広報	5
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	2
美濃加茂市 SNS (Twitter、Instagram など)	2
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	4
所属団体からの呼びかけ	0
入手できていない	0
その他	0
合計	15

図 5. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について

※複数回答有



問 7. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記入)

◇自由意見

- ・方向性を早めに出していただきたいです！
- ・新庁舎の場所がどこであろうと、ハコの外観がどうであろうと、行政サービスの「質」が保証される事が本質。サービスの質が現状維持ではなく、向上させる事ができるように、現状も問題を把握して、そのソリューションを新庁舎が果たせるように、設計をお願いします。市民の利用をイメージしたカフェやイベント向けスペースなどは魅力的ですが、本当に生活に窮している市民が、また辛い思いをされている市民が、声を出したくても出せない子供たちが、美濃加茂市で少しでも幸せを感じる事ができますように。そのための「市」の働きを、改めて求めます。幸福度の高い人々の意見ばかりに偏重されませぬように、お願い申し上げます。
- ・すみません、まだ意見するほどの理解ができていません
- ・ハブ&スポークシステムが重要視された

おでかけワークショップ(まちオフィス美濃加茂) ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

日時:2023 年9月6日(月) 18:00~19:00

場所:まちオフィス美濃加茂

参加者(主催者・事務局を除く):11 人



(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆財源について

参加者)

新庁舎を建てる財源は何か。

市長)

市の税金や借金等の市の単独財源が基本となります。また、立地適正化計画内のエリアであれば、条件はありますが国からの補助がでる等、建物の内容によって補助金を加えることができます。

ただし、皆さんの税金がベースになるため、使い道を皆さんと考えていきたいと思っています。

参加者)

100 億と 60 億の費用案を比較して、60 億の案が採用された場合は、要するに余った 40 億は、他の事業に回せるのか。

市長)

新庁舎にかかるお金が圧縮されればされるだけ、他の予算に回すことは可能です。

前回計画の 60 億円という建設費が特別高かったかということではなく、市役所と一緒に他の用途も作る作戦でありました。新庁舎はコンパクトにつくり、新庁舎以外の前平公園や中央体育館等、歴史を持ったスポーツ施設や図書館等、公共施設を今後どうしていくかに予算を使うこともできます。また、箱物だけではなく、こどもたちの給食費無償化や医療費等、予算は限られる中で使い道は様々あるので、どう予算を回していくかが大前提になります。

◆現庁舎について

参加者)

今の庁舎はどうなるのか。

市長)

色々な選択肢があります。今の庁舎をリノベーションして使うことや同じ場所で立て直すこともできますが、どれ程の予算が必要となるか検討中です。

また、現庁舎は地震が起きた場合どうなるか、よくご質問を受けます。現庁舎は耐震補強が済んでいるため、地震でいきなり倒壊することはありません。しかし、熊本地震のような震度 6 以上の地震が連続で起こると、不具合が生じる可能性があります。こういった危機感がある中で、庁舎を直していくのか、作り変えるのか、作り変えるのであればどこにするか議論、整理という話が出てきています。

◆コンセプトについて

参加者)

前回計画時も広く色々な議論があったと思います。自分も参加したが、ワークショップがあり、色々な年齢層へのアンケートや有識者会議、市議会での議論もあり、決して閉鎖的であったとは思いません。今回始まった再検討に、自分たちも参加してきたいと思っているが、いずれにしても聞いてないという人は出てくると思います。圧倒的な得票率で選ばれた市長が未来を描いていく中で、どんな庁舎であるべきで、どの場所に作りたいということを明確に打ち出しても良いと思います。最終的には行政が決めるので、求める機能やコンセプトのようなものを教えて頂きたい。

市長)

ワークショップを何のためにやるかということであるが、市民一人ひとりが人任せにしないで考えていく姿をこども達に見せていかないと、未来を担うこども達も人任せにしようと思います。新庁舎という、市にとって大きな買い物をする機会を、市民の皆さんと考える機会としたいと思っています。

コンセプトについても皆さんと考えていきたいと思っているが、大事だと思っていることとしては、時代の流れにあったものをつくらないといけないと思っています。また、新庁舎ができた場所とその周りをどう発展していくかを考えなければいけないと思います。実際、全国の市役所をみると、市役所自体が賑わいを生む効果は少ないが、投資をする以上、どうすれば周りも一緒に活性化していけるかを考えたいと思っています。

◆再策定の評価について

参加者)

前回と同じようなワークショップをやったり、同じようなステップを予定しているが、どれくらい今回は頑張ったのかをできれば数字で出してほしい。

市長)

前回の計画時、どこから皆さんと意見がずれてしまったのか、庁内で検証しました。構想段階では多くの人にワークショップ等に入ってもらっていましたが、最終的な決定に至り、計画を作る段階で市民の方々が意見を言う場が急に無くなりました。市役所としては、ここまで意見を聞いたから、この先は市役所で最善を決めていこうという覚悟で計画を作っていましたが、最終的にアンケートを取った際、場所や規模や予算の話でみんなの意見が全然通ってないのではないかと反対する人が結構いました。したがって、今回はアンケートを定期的にとり、常に市民の方々がどの方向を向いているか確認をしながら進めていきます。時間は多くないですが、アンケートやワークショップの結果がどうなっているか、数値的にも公表し、常に透明性をもっていかなければいけないと思っています。

市職員)

旧基本構想・基本計画の策定時もワークショップやアンケートを行っていましたが、コロナ禍もあり、参加者は少なかった実状もあり、昨年実施した市民アンケートでも、もっとたくさんの意見を反映する必要があるという声も頂きました。今回はワークショップで複数の意見を頂いて、アンケートでどの意見が市民の皆さん全体の意見として多いのか、統計的な根拠として示せるようにしていきたいと思います。

◆投資効果について

参加者)

新庁舎を作るための、予算は損失だと言われていますが、仮に、投資だとした場合、税收の増加が効果になるかと思います。そうなった時、年間どのくらいの税收が増加すれば、投資効果があったとできるのか、評価基準などありますか。

市長)

公共施設は一般的に「コストセクター」と呼ばれ、コストしか生まないと考えられています。ただし、成功した例として、地方にプロ仕様のバレーコートの体育館をつくったところ、毎週のように大学生が合宿に来るようになり、周辺にホテルができ、消費が増えた自治体があります。結果的に体育館の投資を 10 年程で回収しようと計画していたものが、3 年程で回収できました。しかし、公共施設の中でも投資効果を生まないと考えられているのが市役所となります。今、デジタル化で市役所に行かなくて良いまちにしていこうという流れがあることを考えると、お金の回収は難しいです。あい愛バスのように、バスの料金で投資回収するだけでなく、バスがあることで消費が増え、まちとしての投資効果を生むように、複合的な投資効果を作ることが目標となります。

参加者)

前回の計画で商業ビルと市役所を合わせていましたが、一緒に商業施設を建てたとしても市は潤わないと思います。また、最近は民間の協力を得て、民間の建物を使わせてもらう動きもあると思います。名鉄の神宮前の開発では、従来の駅ビルではなく、平屋のお店を複数つくるということを計画しており、すぐく安価に建設できる事例もあります。税金をたくさん使って立派な建物を作っても、何十年後には足かせになるので、若い人たちが喜ぶとは全く考えられません。

市長)

民間の参画というのは本当に大事な話だと思います。同じビルでも民間が建てる場合と行政が建てる場合だと、行政は価格等すべてがオープンになることや、民間の付き合い等の理由で、民間の方が圧倒的に安くできることがあります。官民連携といった方法も考えていかなければいけないと思います。

また、全国的に再開発が進んでいる所を見に行くと、まちの中で一番良い場所に大きなビルを建てることはしていません。公園やこどもたちが遊べるような場所を作るなど、再開発のイメージは今どんどん変わっています。今までは高山に向かうお客さんたちが素通りしていた美濃太田駅にちょっと寄ってみようと思ってもらえるような地域・場所にもできると思うので、市民の方にも神宮の事例を見に行ってみたり、他の地域を見に行ってみる気持ちになってもらったりして、まちづくりの話をしていきたいと思っています。

◆駅前再開発について

参加者)

駅前を大きく変えていくとなると、シティホテルをどうするかという問題があると思います。暗く、築年数も経っている建物ですが、毎年少なからず維持管理費が市から出ているのは明らかだと思うので、公園等、何かここから動き出すことで、シティホテルの西側エリアも動き出すことができると思います。民間側としても、新しいまちをつくりたいと思っていますが、大多数の地権者がシティホテルについて気にしています。

市長)

議会でもシティホテルについては話をしていますが、シティホテルの維持運営に年間約 4,000 万円を支払っており、今後は建物が古くなっていくので、もっとお金がかかることになります。このエリアにとって、シティホテルの場所が大事なのはわかっているので、エリアの方々からすると、この場所に何があってほしいか、どんな感じが良いかを西・東地区のみなさんとも考えていかなければいけないとお話しました。この地域以外の市民の方々にも面白そうと思ってもらえるよう先頭に立って考えなければならないと思っているので、皆さんと意見交換をしながら考えていきたいと思っています。

参加者)

自分のバレエ教室の生徒は幼稚園が終わった後に北口の方の公園へ遊びに行っているようだが、トイレが無いのか、トイレに行くために教室に戻ってくることがあるので、公園は需要があるのかなと思いました。また、生徒の多く電車でレッスンに来るが、周辺にコンビニが無いので不便だと思います。ただ、夜の飲食店等、人が集まるようになると、レオタードを着て行き帰りする生徒の治安を考えると心配だなと思います。

市長)

おっしゃる通りで、人が集まることは良いことだと思いますが、住んでいる方々はこれ以上増えてほしくないと考える人がいて、ギャップがあったりしますよね。コロナの影響もあり、最近では自治会や地域で意見を言い合えていないことがあると思うので、ワークショップでも思ったことを言ってみるといい機会になると思っています。こういったご意見は大事だと思うので、ぜひ地域でまたやっていただいて、私たちも入らせて頂ければと思います。

◆新庁舎の立地について

参加者)

東京で働いている親戚の知り合いが美濃加茂市役所へ来たことがあるそうだが、公共交通機関からすごく遠いと言ってたそうです。都心の人からすると不便だと感じるのかもしれないと思いました。ただ、自分や地元の人からすると気にならないと思うし、あまり市役所に行かないので、どこに移転すると良いかは何が良いかわからないと思います。

◆前回計画を白紙にした影響について

参加者)

前回計画で庁舎移転が計画されていた地域の代表だったので、3年前に、そろそろ立ち退かなければいけないので、次はどこへ移動するのか、商店の方はどうするか覚悟していただきたいと話をしていたのですが、計画が白紙になりました。実際、土地や家を探したりしていた中で、突然白紙となったので、その後説明がされず2年ぐらいいが経ちました。特に契約があったわけではありませんが、庁舎移転が計画されていた、この地域の多くの人が市のやり方はどうなんだという気持ちがありました。

市長)

立ち退きの話は、表面に出てくる話ではない段階でしたので、事前にお話が進んでいたと思いますが、配慮が欠けていたのは確かだと思います。計画を見直すことについて、まだご理解を頂けない方もたくさんいらっしゃると思うので、しっかりと説明をしながら、この地域を市としてどうしていくか皆さんと今後考えていきたいと思っています。この点については、引き続きご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本当に色々ご迷惑をおかけしまして、申し訳ありません。

◆外国の方への意見聴取について

参加者)

ワークショップや、市民のアンケート等を参考にしたとありましたが、その中に、外国人の割合はどのくらいありますか。

市長)

7月下旬に開催した第1回ワークショップにはみえませんでした。昨年度行った 4000 人を対象とした市民アンケートは、外国人の方も対象に入っています。

外国人の方と一緒に住んでいるまちなので、日本人の意見だけでなく、外国人の方の意見も取り入れて、まち作りをしていくのが1番良いと思っています。美濃加茂市は製造業等が多いので、毎年、外国人の割合も増えています。課題としては、地域のコミュニティにおいて、外国の方と中々距離感があるかと思っています。この後、外国人のコミュニティの方とお話する機会があるので、こちらからもどんどんまちについての話題を投げて行こうと思っています。若い皆さんの感覚からすると、国際化は当たり前だと思うので、そういったご意見をぜひいただければと思います。

◆他市の事例について

参加者)

色々な場所に視察に行かれたと思いますが、その中で、こういうところよかったなというのがあれば、教えていただきたいです。

市長)

新庁舎の例として、撤退したデパートをそのまま借りる、撤退したドラッグストアの後に入る、民間が建てた所を間借りするという、お金をかけない良い事例等があります。

いなべ市では、アウトドア施設の横に市役所があり、平日は市役所職員のための駐車場ですが、土日はその隣にあるアウトドア施設のお客さんのための駐車場になります。美濃加茂市庁舎の駐車場は、土日使われていません。生涯学習センターの利用者が使ってはいますが、使われていないスペースをどのように、土日と平日で使い分けるか、工夫ができると思います。

再開発について、参考となる代表例が、東京駅です。昔はゴミゴミしていたそうですが、今は皇居側に出ると広場になっています。当時は駅を出て 1 番前の地価の高い場所を誰が買うのかと議論になったそうですが、あえて売らずに広場にしました。そうすると、その広場の周りが良い場所になってくるので活性化しました。こういった、一番良い場所に広場をつくって、その周りにお店やホテルを建てていくっていうような事例が良いのではないかと思います。加えて、東京駅は車が駅の前まで入れず、歩行者優先になっています。子供連れとかお年寄りとか私たちも、車を無視して歩くことができるようになっていて、土日にイベントができたり、色々な使い方ができるようになっています。あと、最近、この辺りだと、岡崎市がすごくまちづくりがうまくいっています。公園リノベーションがうまくいっていて、公園をすごく良い場所に作ったことや、橋自体を公園にしています。事例紹介になってしまいましたが、もしよかったら、岡崎とかに遊びに行ってもらおうと、まちづくりの成功例がみてわかると思います。職員さんたちもこういった研究をしているので、一緒になって見学ツアーとかも良いと思います。結構、市の職員さんは色々な場所に足を運んで、皆さんからどんな質問があっても答えられるように、すごく勉強を繰り返していますので、聞いていただければと思います。

◆その他

参加者)

ここは、まちベンチというところで、3年前くらいに皆さんと作ったスペースです。私は名古屋から週2、3回は美濃加茂に来ていますが、美濃加茂には市役所の方々も地域の方々も含め、すごく良い方がいて、まちベンチのメッセージにもあるように、本当に思いを持った方々がいらっしゃいます。日本全国に行っていますが、人の良さが飛び抜けていると思います。

一言だけ言いたいのは、こういう話はネガティブな話になりがちだと思います。もっとポジティブに、こんなことやりたいとかを話して、暗い会を無くしたいと思っています。例えば、市長ではなく、藤井浩人さん個人としてこんなことやりたいと言っていいと思います。外の人間としても美濃加茂が大好きだから、すごく思います。こんな良い人がいるのであれば、こんなまちになってもらいたいな、そうすれば毎週、毎日、来るのになと思っていますし、もっと大好きな人が美濃加茂に来てもらえるようにしてもらいたいなと思っています。

市長)

前の計画の時に最後大変だと思ったのは、反対派の人ばかり来て、行政との議論ではなく、一方的な説

明会になってしまったことです。そこに入りこんでしまうと、なかなか出られなくなりました。市長、職員として、こうしなければならないというものはありませんし、職員さんたちも、1 番市民の方が喜ぶことはこうかなと思って考えていますが、市民の方々が全然そんなの思っていないよという、ずれが出てしまいます。正直、考えることは、めんどくさいことですが、ここから逃げて後から反対することはやめた方が良いでしょう。子供の頃、親に任せているのに、親がやることに対して文句を言うと、親はいい気しないですよね。それと一緒に、僕ら自身が、僕も一市民としてこうありたいと意見は言いたいですが、立場は逃げられませんので、僕が言うのは最後でいいかなと思っています。僕の一意見よりも、5万7千人の皆さんの意見こそ、もっと口を開いて、想いを出していけるような雰囲気づくりをしていくべきだと思います。色々と暗い雰囲気になってしまったのは、反省点だと思っています。次からは意見が活発にできるようなものにしたいなと思っています。

市民の方も行政の方も、言いにくいことをもっと言って、ぶつけていけるような環境を作っていないと前には進めないで、言いたいことは言う。そしてスッキリして、今日であればまちのことを考えているので、まちのことを思って、時には相手にとって嫌な思いをさせるかもしれないけど、言うことでより良い、話し合いができてくると思います。これはこれで楽しいだけでなく混沌とするような会議もあっていいと思います。だから、市役所のこの新庁舎整備のワークショップはできるだけ参加しようと思っています。当然、その中には厳しいご意見もあると思いますが、我々、覚悟していますので、本音を話しながらも、最終的には皆さんに笑ってもらえるような会にしていきたいと思っています。

◆その他

参加者)

私は東京大学の学生ですが、出身が岐阜の池田町というところで、結構ゆかりも近いのでこの事業も好きになったのですが、美濃加茂市に1つ感じているのは、行政と市民の方の距離がすごく近いなと思っています。市役所の人とお話しながらこういうことができ、すごくいい環境だと思うので、どんどんワークショップのような会話をさせてもらえればと思っています。

駅前の再開発に興味がありますが、物を作って終わりにしたくは無いいという思いがすごくあります。駅前にコミュニティスペースを作って終わりだとか、庁舎を移転して終わりみたいなことではなくて、人がそこでどうやって活躍できるのか、どうやって生きていくのかっていうところまでもっと踏み込んで話していけたらいいと思います。こういう場は大切にしていきたいなということを準市民としてと思っています。

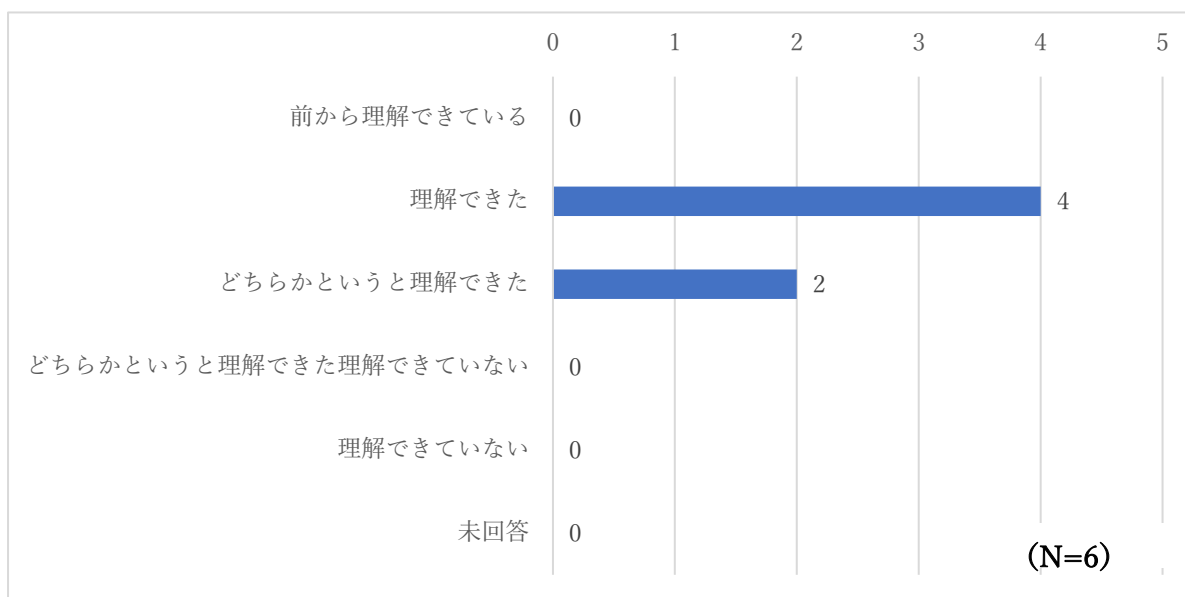
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 6名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」が続いた。

	回答者数【N=6】
前から理解できている	0
理解できた	4
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できた理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	6

図表 1 新庁舎整備の理解について



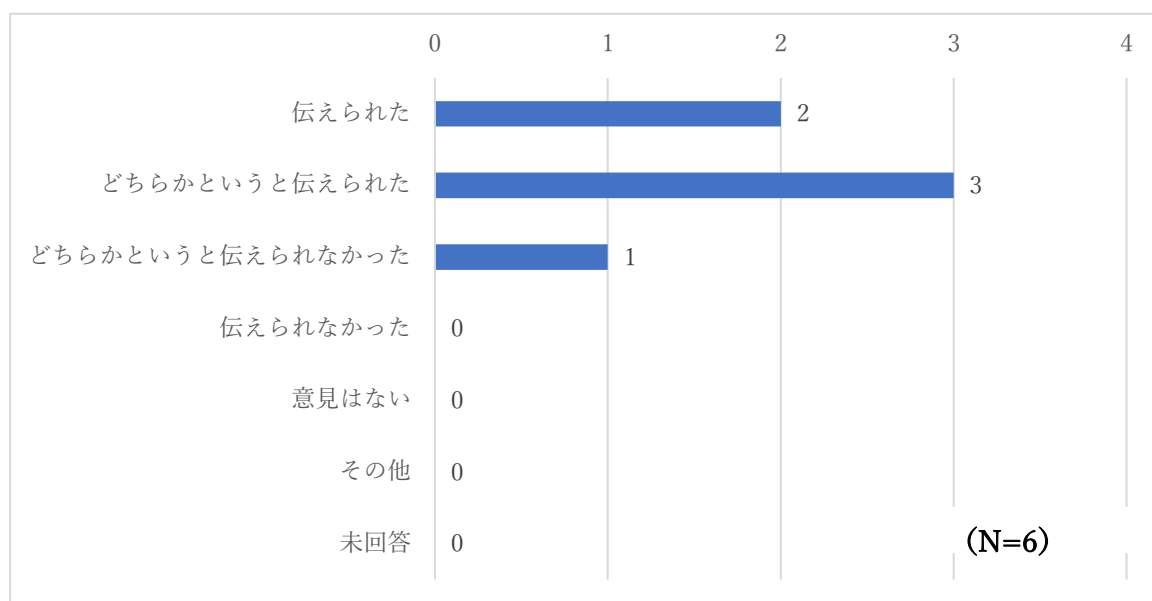
問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「どちらかという伝えられた」が最も多く、次いで「伝えられた」が続いた。

「どちらかという伝えられなかった」という意見もあった。

	回答者数【N=6】
伝えられた	2
どちらかという伝えられた	3
どちらかという伝えられなかった	1
伝えられなかった	0
意見はない	0
その他	0
未回答	0
合計	6

図表 2 新庁舎整備への意見を伝えられたか

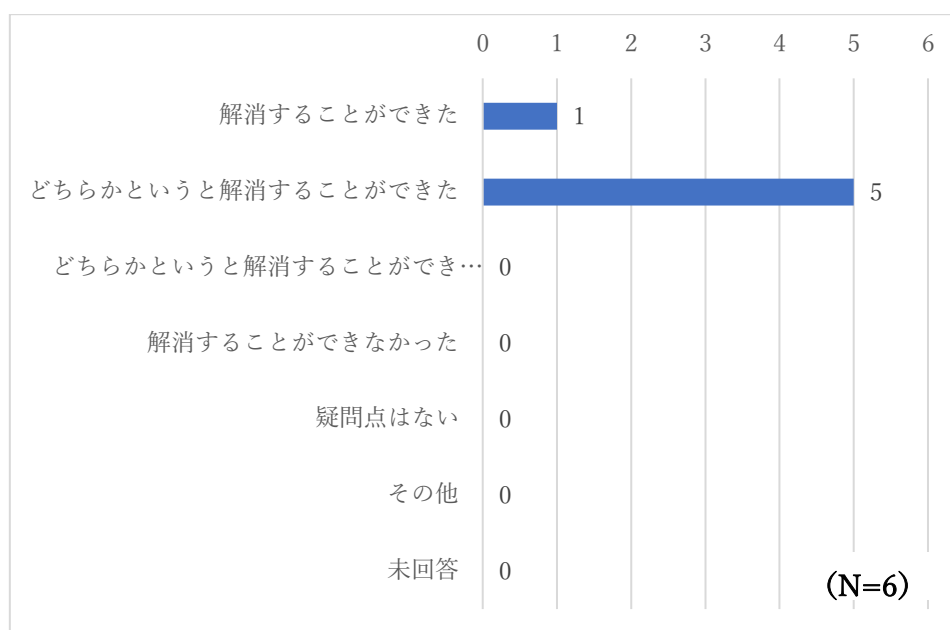


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」という意見が最も多く、次いで「解消することができた」という意見だった。

	回答者数【N=6】
解消することができた	1
どちらかというと解消することができた	5
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	0
疑問点はない	0
その他	0
未回答	0
合計	6

図表 3 疑問点の解消



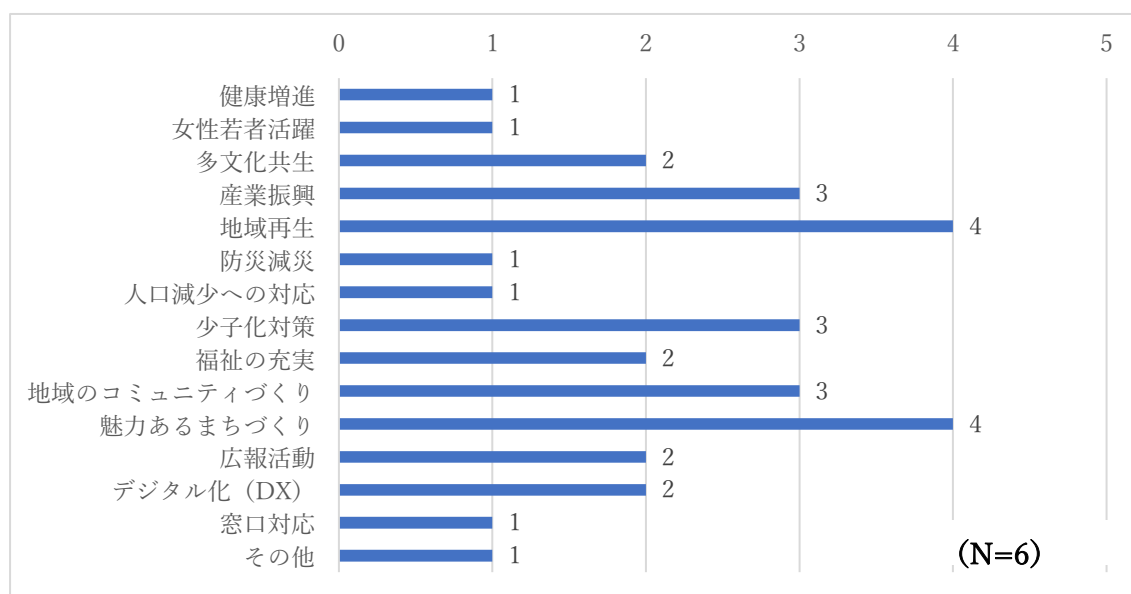
問4.「市の役割」として何が思い浮かびますか？(複数回答)

「地域再生」「魅力あるまちづくり」という意見が最も多く、次いで「産業振興」「少子化対策」「地域のコミュニティづくり」が続いた。「その他」で市民生活の安全、治安が悪い地域があるという意見もあった。

	回答者数【N=6】
健康増進	1
女性若者活躍	1
多文化共生	2
産業振興	3
地域再生	4
防災減災	1
人口減少への対応	1
少子化対策	3
福祉の充実	2
地域のコミュニティづくり	3
魅力あるまちづくり	4
広報活動	2
デジタル化(DX)	2
窓口対応	1
その他	1
合計	31

※複数回答有

図表 4 「市の役割」について



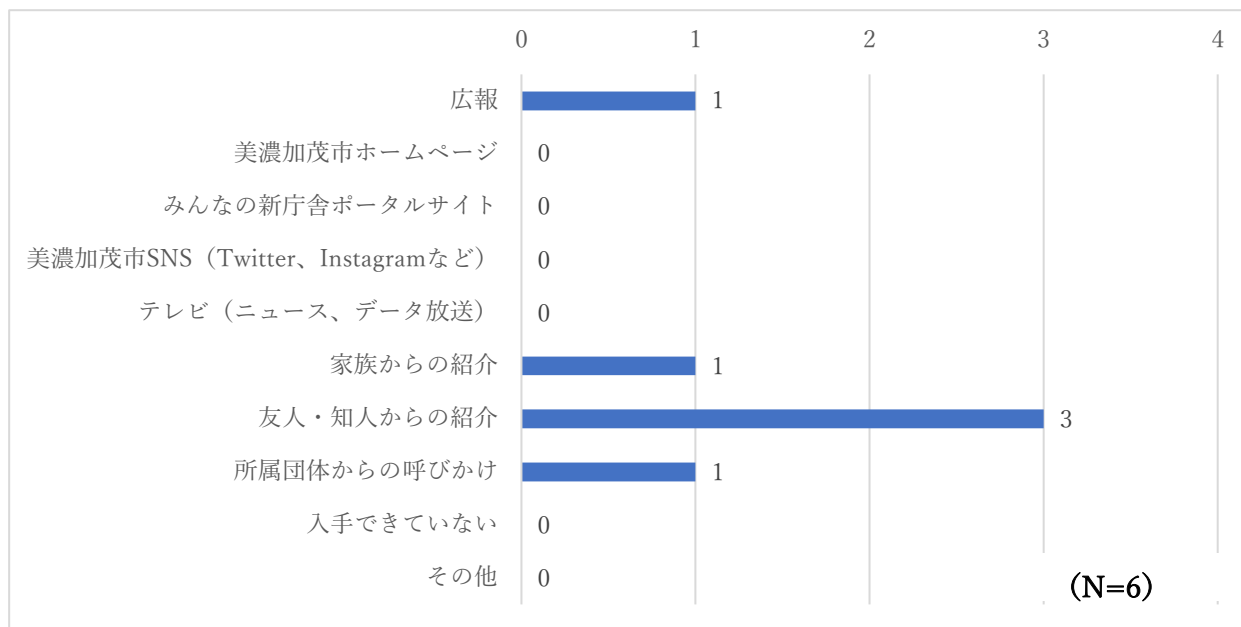
問 5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「友人・知人からの紹介」が最も多く、次いで、「広報」「家族からの紹介」「所属団体からの呼びかけ」が続いた。

	回答者数【N=6】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	3
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	6

※複数回答有

図表 5 新庁舎整備に関する情報の入手方法



問 6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- ・大きな施設は不要ではないかと思う
- ・過剰な予算をたてず、柔軟に考えで、進めてもらいたい
- ・本日はありがとうございました。今日、駅前のワークショップに参加させていただき、参加者の方々の熱量を感じました。ただ、市長の民意をという言葉ですが、私は駅前で商売をやっていますが、住まいは市内の別地域です。住んでいる地域で、「新庁舎」というワードは全く話題に上がることがないので、もっとそうした地域も巻き込んでください。

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所 女性会) ヒアリングまとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年9月 20 日(水) 15:30~17:00

場所:リバーポートパーク美濃加茂 ビジターハウス 2 階

参加者(事務局を除く):15人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆前計画白紙の経緯について

参加者)

市民ではないので、すごく私事的なことを伺います。候補地が、白紙になった等の噂を時々聞きます。そもそも、決定にあたっては住民投票がなされたという話を聞いたりしますが、住民投票がなされた過去があるのですか。

市長)

住民投票はしておりません。私が市長選で当選した時に、自分自身もこの政治的な決定に対して多くの市民の方が、前計画では納得できないのではないかと感じたため、議会にもお話をした上でアンケートを取りました。その結果、賛成は 26.8 パーセント、反対は 40.8 パーセントという差がありました。また、前計画はコロナの影響がない中での計画であったことも考慮し、世の中的に働き方も変わる中で、市役所を今後も利用する皆さんと考え直した方がいいのではないかと考えました。ある意味で政治的なことも含めて

の決定ですし議会でも逐一、確認はされているのが今の状況です。計画はあったが自ら白紙にしてもう 1 回作り直しています。

参加者)

その時のアンケートでは全市民の何パーセントから集計ができましたか。

市職員)

資料の 4 ページをご覧ください。右半分の上から 2 つ目に市民アンケートについて書いてあります。15 歳以上の市民 4000 人を対象とした結果、回収率 45.2 パーセント、1809 人の方から回答をいただきました。

参加者)

これは 2 回目ですか。1 回目は、代表者からのアンケート回答が 1000 以上であれば誤差は 3 パーセントとなっていますが、2 回アンケートを行ったということですか。

市職員)

市民アンケート自体は、昨年度の 7 月から 8 月にかけて行いました。正式に市民 4,000 人にアンケートを送ったのは、この 1 回だけです。他にも、元々の旧基本構想や旧基本計画を作成する中で、ワークショップの来場者の方やイベントへお出かけして色々な方から話を聞くアンケートを行いました。

◆基本構想策定に係る費用・委託について

参加者)

平成28年から令和 4 年の 3 月末まで、基本構想も基本計画もやっていました。市長が選挙で選ばれ、今の新庁舎計画を白紙にしましたが、3,000 万ぐらいのお金をかけてやってきた前計画の結果はどうなっていますか。前計画は白紙だからでは説明が足りないと思います。前の結果と掛かったお金の報告が 1 番必要じゃないですか。今やっていることが悪いとは言いません。でも、また同じことをやろうと思って、コンサルタントにたくさんお金払いますよね。前のミユキデザイン、玉野総合、サーベイリサーチセンターで、今、テイコクですよね。以前のワークショップでもコンサルタントが来ていました。7 月に市職員 6 人と富士通のフォロー 2 人の計 8 人で新庁舎のための組織ができました。その後、市長がワークショップをやるために若い人材 10 人を指名しました。他に素敵な人たちがいっぱいいるのに、どうしていつも丸投げで、コンサルを委託して使うのですか。コンサルで入ってくる人がいるけど、美濃加茂市を歩いたこともない、見たこともない、食事したこともない人たちがやってきて、どうして美濃加茂市のことは分かるのですか。今、市長が、任命した 6 人と富士通 2 人と市の職員 12 人、立派なスタッフがいるじゃないですか。自分の周りの立派なスタッフ、その人たちにお任せしたら、もっと素敵な美濃加茂市ができると私は思います。

市職員)

コンサルの活用については、昨年度の検証した中で、我々のやっていることが市民に届いてないことや駅前ありきである、市が完全に誘導しているといったご意見をたくさんいただきました。確かに、言われるようにいろんな職員がいますので、そこだけでやっていく方法も 1 つあります。ですが、市の職員が全てやってしまうと、また以前の方向性に引っ張っていくのではないか、という批判も必ず出てくると思いますので、美濃加茂市を知っている、知っていないというよりも、第 3 者の目で今日の皆さんの意見、考え

方をしっかりまとめていただくっていう意味でコンサルに入っていただいています。我々が誘導してはいないということを、しっかりと形作るために、今回、委託を活用しています。

市長)

今のご意見は実は庁内でも、かなり戸惑いの声が出ており、7月のワークショップのあとも、お出かけワークショップを何度か開催しています。ファシリテーションは難しい面があり、今おっしゃられたように、美濃加茂市のことを知らない人がなんでそんなことをいうのと時々言われると、私も少しおかしいなと思うこともあります。今でも担当課では、このファシリテーションのあり方について、任せきりにせず、我々としてはもっと厳しくやるべきことを依頼して、任せないといけないと思ってやっております。

実はこの間まで新庁舎整備課の正職員は2人でしたが、もう1人正職員に入っていただきました。市長が任命した12人はあくまでもワークショップの時だけの参加で、若手の意見を取り入れることや、若手にも自分のことだと思って市民の皆さんと意見交換してもらおうと思って入れました。富士通も含めて新庁舎専属ではないので、これから新庁舎整備のボリュームが大きくなるにつれ、市役所の職員を新庁舎整備へ割かないといけませんが、他の部署も人が足りていません。職員の数が足りないというのは、正直全体の課題であるので、そこに今回のコンサルの力で、プラスアルファの力をいただいている状況です。

参加者)

広報誌に出ている情報によると、新庁舎整備グループへ市の職員に加えて民間の企業(富士通)から2人がみえるとなりました。富士通の方たちは行政向きの人たちで、市にとってはいいけど私たちにとってはいいことはないのではと思います。このような世の中で、経営者も大変で市民はもっと大変だが、今までのやり方ありきでなく、違う方法でできないのでしょうか。丸投げするのはどうかと思います。

参加者)

費用についての資料はそちらだけあって、私たちがもらっている資料だけでは、話題についていけないです。

市職員)

これから内容の説明をさせていただきます。まず、白紙になった旧基本構想と旧基本計画がございます。これらが、平成28年度から令和3年度までで作ってきたもので、全てを合算して3,023万円の金額がコンサルタント会社の委託費用です。正確に言いますと、委託した金額は3,023万円ですが、それ以外にも、例えば、新庁舎の関係で出張した時の旅費や、コピー機使用料、担当の職員の給与、人件費等は別でございます。その辺りの説明がしっかりできるように、新庁舎に係る経費の合計について算出する必要があると考えております。

◆災害対策について

参加者)

老朽化して建て替えるのであれば、1番大事なことは、洪水や地震といった震災に強いこと、それと避難地として適当な広さがあること。地盤の強さは委託しなくてもわかるのではないですか。そしたら、これほど日数は掛からないのではないですか。もし何か災害があった時に、救助活動ができる場所、駐車場、避難所になる場所で、洪水に強く地震に強い場所はそんなにないと思います。それをなぜ委託しないといけないのですか。

◆新庁舎整備の進め方について

参加者)

場所を指定せずに市民に聞いても、プロでもない普通の人言ったところで、そこが最適かどうか分かりません。ある程度色々なことを調べた上で候補地を作って、ここそこならみんなが使える最適な場所ですと示すべきだと思います。適当にみんなが言ったところに決めると、そこがダメだった時にさらに時間かかるので、ある程度最適な場所を決めてから、その中で選ぶべきだと思います。そして市長が、僕はこうしたいと意見を言ってくれた方がみんなが付いていきやすいと思います。

参加者)

それを希望している方が多くて、市長になられたのかなと思います。市長に任せられると思って投票された人が多かったのかなと思います。ステップ4の新庁舎の機能決定というのも、今機能しているのであれば、新たにこういうことがしたいなど聞き出したら、きりがありません。私たちに聞かれてもと思うので、ある程度プロに決めてほしいと思います。候補地についても、私は地盤調査が仕事でないのも、ある程度この地盤が硬いですよ、大丈夫ですよっていうのを、例えば市長に思いがあるのであれば、多少、坂で行きにくいけど、ここが1番防災・地震に強いですよと説得してくれたら、家から遠いけどいいかもしれないと思えるかなと思います。アンケートだと、自分の家の近くを選んでしまうと思います。

市職員)

今おっしゃった、複数候補地の件ですが、ステップで行おうとしています。今回のロードマップのステップ5のところを見ていただきますと、複数候補地の選定と書かせていただいております。市としては、例えば、ここは農用地なので、宅地開発したら10年ぐらいかかるかもしれません。ここは地震が起きた時、土が液状化してしまう場所のため、心ざわしくないのではないか。ここは100年に1度の洪水で水がつくところです。ここでもいいと思いますか。と聞くようになるかと思います。金額は60億円ぐらいかかると言われていましたが、7,8年前から1.25倍物価が上がっています。加えて、他の公共施設でも老朽化が進んでいますので、市として新庁舎にかけられるお金の上限を提示した上で、市民の皆さんの意見を聞こうと思っています。

参加者)

そうであれば、ステップ5を最初に行うべきだと思います。

参加者)

ちなみに今、候補地は出ていないのですか。

市職員)

候補地は今出ていません。検討中です。

市長)

前の計画を振り返ると安全は大事だけど、せっかく庁舎を作るなら、庁舎を中心に経済が活性化するような庁舎にしてほしいという意見や、最近、市民同士の繋がりが減ってきたから、市民の交流の場も新庁舎に入れてほしいなど、色々なニーズがありました。それらを全部一緒にすると、費用が上がるので、優先順位をどうするかが重要になります。安全のためだけでいいよっていうご意見も多くあります。それに絞

ってしまえば、もっと安全な場所や土地の安いところもありかもしれませんが、不便で困るから、1 か所にやっぱり全部集めてほしいというご意見もあります。他には、連絡所が近くにあるのだから、連絡所でなんでもできるようにすれば、新庁舎が小さくてもいいよという意見もあります。今の市役所は、40 年前と同じだけ雨が降ってしまうと水に浸かるところにあるため、その時のために避難場所として文化の森に、パソコンなどのサーバーも含め、我々の災害対策の場所は設けています。何かあった時に対応する場所は、病院もありますし、少し高台のところで色々対応できるような訓練とかも進めています。そういったことも考えた中で、新庁舎に何を期待するのが複雑に絡んできています。

優先順位をつけるためにも、行政の役割として地域でできること、市民の皆さんが担っていただけることは何かということをこのワークショップで 1 時間半ぐらいかけて、様々な問題に気づいてもらいたいという意図で行っています。最短に行うのであれば、いきなりステップ 5 でもいいですが、そこから紐解いていかないと、前のようにいくつか問題が発生する可能性が高くなるため、ステップ 1 から組めるが良い計画と考えています。

参加者)

今の美濃加茂市民が未来にどのぐらいの人口になるかっていうことをよく考えてみると、今の器がいるかどうかということも考えないといけないと思います。また、これからデジタル化が進んでいくと、市民が市役所に行くのは生まれた時、死んだ時、出ていった時、結婚した時、離婚した時の 5 回ぐらいだと思います。そうすると、今の器がいるかどうかということと、市役所の中でどういう仕事をするかということで、器を考えるのがまず大事なことだと思います。

ワークショップでは 88 名の意見を聞いたとのことですが、5 万 5 千人の人口がいる中で、88 名の意見が真実だと思っている市役所の気持ちは分かりません。加えて、そもそも新庁舎がいるのか不思議に思います。建て替えるのであれば、平成 15 年に耐震補強をお金をかけて行いましたが、何をやったのか不思議です。今回のワークショップ以外に中学校で意見を聞いたとのことですが、全然世間のことも株価も知らない、納税もしていない子供たちに話を聞く必要があったのか不思議です。納税する人たちに話を聞いてほしいなと思います。

先日北海道に行きましたが、ある村では廃校した小学校でクラフトビールを作っていました。美濃加茂市も、例えば三和や山之上は人口が 100 人もいない場所なので、学校を統合し、スクールバスで子供たちを通わせ、廃校を市役所にしたら、随分変わるのではないかと思います。SDGs ではないが、古いものを上手に使ったすごい町と認知されるのではないかと思います。他の市町村をみても、あるものを活用しているところもあるので、新しく庁舎を作らなくてもいいのではないかなと思うので、よく考えて頂きたいです。

参加者)

市役所は仕事をする場所なので、市のあり方と市役所は全く別の場所だと思います。有事の際は、地元のコミュニティセンターで対応すればよいと思います。今 5 万 5 千人の市民と言いますが、多死社会で 3 分の 1 くらい減ると考えられますので、今の器の庁舎は本当に必要なのか疑問に思います。

市長)

市の課題に市民の方々に関心を持ってもらわないといけないと感じています。最近の問題ですと、ごみ

の収集場所を管理する人は一部で無法状態になっているような地域があって、すぐ市役所に通報する人もいれば、しっかり自治会で管理している地域がありますが、納めている税金は一緒に不平等じゃないかという声も出ています。最近では、関心を持ちたくないのも、耳にも入ってこないような非認知の方も出てきてしまっています。新庁舎には 60 億円というとても多いお金を使うわけなので、すごく大事な市民アンケートではありますが、結果だと 3 分の 1 以上の人が判断できなかったとか知らなかったと言われてしまっています。本当は、もっと 1 人 1 人の職員さんの力で、出会った人に声をかけて聞いていく機会を作らなければいけないと思っています。情報発信は、議会でも指摘してもらっています。大きな課題なのでなんとかやっていきたいと思っています。

◆建設費用について

参加者)

勉強不足で申し訳ないですが、60 億というのはどこから出て、国からいただけるお金っていうのはどういう状態になっていますか。

市職員)

市の庁舎を建てる時に、国の補助金は基本的にはありません。例えば、そこに交流センターのような部分や子育て支援施設等、市民に使われる施設が含まれると、その分に対して一部補助金が出る場合がありますが、市役所の職員が働くワークスペースを作るだけということであれば、ほぼ何もないという状況です。県産材の木材を使い、内装を木質化する場合は、県から 1 平米あたり 5000 円、上限額 3000 万の補助金ありますが、県産材を使った場合の上乗せ分に対しての補助金です。そのため、建物そのものに対しては基本的にはほぼありません。

参加者)

結局借金になるわけですね。借金が今、トントンくらいじゃないですか。

市長)

借金はありますが、全国からみても徐々に減らすことができます。

市職員)

庁舎の建設基金を平成 24 年度から少しずつ積み立てをしており、今、貯金ができていると思います。全てを、貯金して建設してしまうと、今美濃加茂市にお住まいの方だけが負担をすることになります。これを、借金をして 20 年、30 年かけて払っていくと、これから美濃加茂市に住む人たちも一緒に負担をしていくことになり、公平となります。他の自治体でも、建設費の約半分を積立金で、残りの半分以上を市債(借金)とすることが、一般的な考え方になります。

◆市職員のための新庁舎・自治会について

参加者)

市役所に行くと私もと思いますが、建物が耐震でいいけれど、現状もうもたないのではないかと感じます。例えば、家を新築にするとがんばろうという気持ちになりますが、今の庁舎で仕事をしている職員としては気持ちがあがらないのではないかと思います。いろいろな意見がありますが、新庁舎にすることも市民、職員のひとつの希望だと思います。

また、新庁舎も大事ですが、自治会の問題についても大事で、自治会の費用を払っている人と払っていない人で、バランスが取れていない部分が気になることがあります。美濃加茂市があまり力を入れていなかった自治会に力を入れると、すごく楽になることが増えると思います。

市職員)

庁舎の状況についてお話をさせていただきます。今 62 年経った庁舎で、平成 14 年、15 年に耐震工事をやっています。したがって、例えば熊本の大地震のように震度 6 弱強の地震が来た時に、建物がぐしゃっといきなり潰れることは基本的にないと思っています。ただ、熊本の時に本震と余震がありましたね。震度 6 弱が 2 回来ました。そうなった場合に建物が潰れないという保証は今のところないです。1 番問題になるのは、多分最初の地震だけでも、水道・ガス・空調はほぼ止まります。62 年経って、水道管や何かもかなり老朽化していて、ポンってずれた瞬間には多分全部止まってしまうので、市役所の仕事をあそこでやるということは非常に難しくなります。例えば、証明が欲しいと市役所にお見えになったとしても、それを出すことができなくなってしまいます。もし庁舎を建て替えない場合、現庁舎の設備を直すのに、新しい庁舎を建てるだけと同じぐらいの費用がかかるだろうと言われています。今のものを使うのか、立て替えるのか、そこは皆さんの色々なご意見を聞いて、どうしていきべきなのか考えなきゃいけないです。

新潟県の長岡市は駅の近くにありますが、元スーパーを買い取って改装して市役所としています。美濃加茂市でもそういった場所があれば可能性はあります。今日こういったご意見を皆さんからいただいたことは、非常に大きなヒントになります。一方で、過去に私が説明会等を行った際に、美濃加茂市の顔としてお城のようにしてほしいといった意見をいただいたこともあります。意見は色々ありますが、その中でどれだけの費用がかかるのか、あるいは我々が行政として皆さんに市民サービスを行っていく上でどういった方法が 1 番適切なやり方なのかを見極めるために、皆さんの意見を聞いて、最後は行政が調査を行いながら、見極めていきたいと思っています。

◆水害対策について

参加者)

少なくとも、日立市役所のようにはやってほしくないですね。東日本大震災の影響で新設されましたが、その後、洪水で浸水しました。あれは、想定外で仕方ないって言えば仕方ない。よく行政が想定外でしただけと言われるからね。でも、そういう逃げ道は作ってほしくないですね。過去に、水に浸かったとこだけは絶対に話してほしい。もう、それだけは、最低限やってほしいと思います。水害が一番怖いと思います。

市職員)

水害は、今、雨雲が来ているだとか、ある程度予測ができる部分があるので、逃げることに對する時間的な余裕はありますが、やはり建物浸かってしまうと、色々支障も出てきます。日立市役所と今回我々が考えていることと違うのは、万が一、水に浸かったとしても、1 階に電気設備等を置かずに、2 階や 3 階にそういった設備を置くことで、万が一何かがあったとしても大丈夫なようにしていきたいと考えています。日立市役所みたいにならないよう、しっかりと我々も 1 つの教訓として考えていきたいと思っています。

市職員)

先ほど、スペースの考え方もご意見いただきましたので、今の市の考え方をお話させていただきます。やはりコンパクトな市役所を目指すべきではないかということが、令和 4 年度の検証の中でも、多く出ていた意見です。令和 4 年度に取ったアンケートの結果も今日持ってきておりますけども、あまり市役所に

見える方が少ないです。年に数回程度という方が 48.7 パーセント、年に 1 回程度で 29 パーセント、利用していないという方は 14 パーセントとなるので、90 パーセント以上の方がそれぐらいのレベルということになっています。前に取ったアンケートを見てみますと、大体、市役所に来る方の 70 パーセント以上が市民課に来るお客様で、住民票と証明書の戸籍、その 3 つで 90 パーセントを超えています。今後、やはりデジタル化になっていきますと、連絡所どころか、自宅で申請ができるというような時代が来ると思います。そうすると、今まで市役所に来ていた方は来なくなると考えられます。

時代の流れで予測できることもありますし、例えば、庁舎ができた 62 年前は、おそらくお客さんは今と全然違っていると思います。例えば、今だと介護保険制度がありますが、60 年前はそんな制度はなくて、ご自宅でおじい様、おばあ様を面倒見るというのが、主流でした。でも、今は変わってきている。今、例えば子育ての関係の悩みを相談される方がものすごく増えていますが、60 年前にそれがあったかという、共働きが少なかった時代ですから、そういった相談はあまりありませんでした。時代によって、相談の内容も変わってきています。また、デリケートな内容になってくるので、やはり個室的なところも必要かもしれない。今はないですね。ただ、デジタル化で来場者の申請なんかはまた変わり、自宅でできることが増えるので、そういったことを予測しながらスペースも考えていく必要があるかなと思っています。

◆これまでの検討結果について

参加者)

今お配りいただいた資料について、毎年 900 万だとか 1800 万だとかの費用を使って一体何をして、その結果を市民に落とさないのですか。落とされているのですか。これって膨大なお金だと思います。それを使いました、でも白紙に戻して、今期 2400 万でっていう話じゃなくて、今までこれだけの結果があって、こういうコンサルを受けたよっていうのは、市民のお金だから市民に公開するべきだと思いますけど、そこはどうお考えですか。

市長)

そこはおっしゃる通りで、情報発信が足りないというのはご指摘の通りだと思います。議会では、白紙に戻すということは、今まで積み上げてきた意見とか予算を 1 回白紙に戻すことになるのではないかとご意見が当然あります。それでも、先ほどの 60 億円という投資を考えた時に、この決して小さい金額じゃない 3000 万であっても使える情報とか、使えるデータは引き続きしっかり使えます。これからの建設において 60 億を使った後に、無駄なものを作らないように、今の段階で立ち止まることは立ち止まるということで、何とか、議会の方にもご理解をいただいています。伝わっていないと言われると確かにその通りなので、この辺りをもっと市民の皆さんに、実は前の計画でこれだけ使っていたと、でも同じ失敗をするつもりはないです。というご理解は得ていかなきゃいけないと思うので、そこはご指摘をしっかり受け取りたいと思います。

参加者)

この資料を見て驚いたぐらいで、この初回の 945 万円でどういう情報をこのミユキデザインさんからもらったのか、それはやっぱり市民へ落とさないといけないと思います。市役所の中で取捨選択をされているとのことですが、捨てようと思った情報が市民の中では捨てないでおきたい情報かもしれないから、大事なお金を使った情報のどれを選んでどれを採択するかというのは、市民にも公開すべきだと、私は思

います。

市職員)

現在、旧基本構想や旧基本計画はみんなの新庁舎というポータルサイト、いわゆるホームページに全て載せてあります。

参加者)

例えば、私の仕事柄、厚生労働省のホームページなど、難しい書類を見にいりますが、いっぱい文章だけ書いてあって、読み解けないことがあります。文章を見ただけで、多分ほとんどの市民は、はいって、こう、その場から去っていく。例えば、今回いただいた、このロードマップですら、よくわからないという市民がほとんどなので、もうちょっとわかりやすく、どういうことコンサルにしてもらったのか、どんなデザインにしてもらったのか、調整してホームページにあげていただくのがお客様たちじゃないかなと思うんですけども。もらったものを載せるだけであれば誰でもできるので、そこを調整して市民の方にわかりやすく伝えるということをやっていただくのがよろしいかなと思います。

市職員)

ありがとうございます。本当に我々が 1 番今、難しいなと思っているのは、市民に情報を届けるということが非常に難しいと思っています。例えば、メールで皆さんにお知らせしたり、ホームページに載せたり、いろんな形で考えていますが、じゃあ、それで全員に届いたのか、理解していただいたのかと言われると、そうでない場合がいっぱいあるわけですね。今、SNSも使って、どんどん、媒体を広げることをやっていますが、我々職員が地元に行って、そこでみんなと会話する中でいろんな情報をお話していくってことも、とても大切だと思っています。ただ、先ほど市長も言われましたけど、本当に職員はいっぱいいる状況の中で、なかなか外へ出てきてないという反省点もあります。先ほどちょっと、デジタル化、デジタルトランスフォーメーションという話があがりましたが、そういうことをやっていくと、市の職員も時間ができて、外に出てみなさんとお話する時間ができるということも合わせて一緒に考えております。どう情報提供すべきか、試行錯誤してやっていきますので、また、素晴らしいご意見があれば、ぜひお聞かせいただいて、実現に向けて我々も頑張っていきます。

◆職員数について

参加者)

今、市の職員は足りていますか？定数がありますよね。

市職員)

定数条例がありまして、その定数は足りています。産業累計や、人口などからみた、全国の 78 類似団体の中で、美濃加茂市の職員数は下から 4 番目に少ないです。この 78 団体の平均値と比較して計算してみると、美濃加茂市職員は 50 人増やすと平均値になります。

参加者)

人が足りない、時間がないと言う話であれば、単純に増やせばいいと思います。

市職員)

例えば 1 つの年に 50 人雇ってしまうと、同年代の人ばかりになってしまいます。年数が経った時に一

気に抜けてしまう問題が起きるので、ある程度計画的に増やししながら、中途採用で 30 代、40 代の少ないところを穴埋めしています。

参加者)

例えば今年度予定外に辞める職員の方はいますか？

市職員)

今年度はまだわかりませんが、昨年度は 1 人、2 人ですが、若い方で自分のやりたいことを見つけたから退職しますという方も少なからずいました。

◆市長の役割について

参加者)

この件に関して、市民の皆さんの意見といつもいいますが、市長が 1 番トップなのでお願いしたいのは、リーダーとして引っ張ってほしいと思っています。60 年後でも 70 年後でもここでよかったと思えるような市役所になるように、リーダーとして責任をもってほしいと思います。

市長)

最初に申し上げた通り聞けば聞くほど、選択肢は増えてしまうので、職員さんからも苦しくなってきましたか？と言うことも当然あります。今日やってもらったように、色々な方の意見をまず聞く。聞かないことには、いいご意見や課題が見えてこなかったりします。今回いただいた意見は、地域や自治会のお話であったり、職員数の話にも関係してきました。ただし、時間をかけすぎるとは全くないので、ここぞという時にはしっかり方向性を示しその理由を説明したいと思うので、逃げるつもりは全くありません。

◆決定方法について

参加者)

決定方法に市民アンケートや住民投票がありますが、そうすると責任は誰がとるのですか。

市長)

最後は住民が決めることが大事だとは思っていますが、住民投票をやるにしても、あれもこれもそれものというつもりもないので、このまま進めていく中でしっかり市として、抑えていくことが出てくると思います。市民に丸投げということには絶対なりません。

◆プレミアム商品券について

参加者)

産業振興課もいらっしゃるので、一つだけ聞いてください。2 回プレミアム商品券出しましたよね。前とやり方を変えましたよね。その結果どうだったのか、何も反映していただけてないと思います。今後 3 回、4 回あるかもしれませんが、前のことが、勉強されていない。プレミアム商品券に関しても、何が良かったのか、何が悪かったのか私たちは何も聞いていない。

市長)

プレミアム商品券の件だけでなく、今日改めて感じるのは、市民のみなさんと色々な事業をやりですけど、その結果報告を議会の方でチェックはしていますが、市民の方向けに出せていなかったと感じます。

来年こうしますばかり聞いて 1 つ 1 つ、良かったことも悪かったことも含めて、関心持っていただけることは、無関心ではない。議会をクリアできてればよい時代ではないので、今後はインターネットを使いながら、情報公開をやっていきたいと思っています。

市職員)

全体の費用対効果を公開してないのは事実です。現在のものは 10 月いっぱいまでは商品の引き換え期間中です。2 回やらせていただいたところで、その反省を踏まえて、少しでも事業者さんの負担を減らしていこうという趣旨で、3 回目をやらせていただきました。それが昨年です。その結果、少しでも事業者さんへという観点で始めましたが、物価高騰とちょうど重なってしまった状況です。プレミアム商品券を利用する消費者対応と事業者対応が一緒になってしまいました。本来の目的は事業者さんの支援ということで始めた事業でしたが、生活支援も入ったため、途中で締め切りを昨年の 12 月に急遽伸ばさせていただきました。事業者さんには大変ご迷惑をおかけしてしまいました。総合的に考えて、今度こうしていきたいということはありますが、実際に予算がつくかどうかは決まっていないので、新規にやる予定は今のところ出していないです。

1 つ新たに分かった内容につきましては、12 月の期限の時に多くの申し込みがあったということで、事業者さんに補助金としてお金を振り込みました。その後、本年度の 10 月までに使える期間を伸ばしました。私も商品券を申し込んで買ったのですが、まだ持っています。お金出して買ったが、使わずに残っているという事例が結構あることが見えてきました。今の時期に商品券を事業者さんへ持ってくるお客さんもいらっしゃる、戸惑われている事業者さんもみえます。事業者としては最初にお金が入っているので、そこで完結していますが、5000 円分を出すと、その分の対価として商品を出さないといけない。でも、それはその時の仕入れの計画には反映されていないので、時期的なずれが非常にあるということが今の反省点です。

参加者)

わかりました。もうひとつ、事務費用が掛かりすぎる。それと、外の業者に丸投げしすぎだと思います。この間商業部会でも話をしましたが、バックにかかるようなお金があるので、良かったのか。税金を使っているのだから、私たちがよかったのか分からないことも色々と検証していただいて、もう 1 回、改めて何かの形で報告していただけたらと思います。

◆情報管理について

参加者)

本当にあってはならないような、行政のお役所仕事だなと感じる経験しました。去年、主人が亡くなりました。2 月に中部国際医療センターのデータを見たら、私自身だけでは介護できないぐらい悪くなるだろうと思って、介護申請をしました。ただ、面会できなかったのも、オンラインの面会でしたが、主人が亡くなって一月過ぎてから、「介護認定できませんでした、検討します。」と連絡が来ました。さらに 2 ヶ月してから要支援に認定しましたと連絡がありました。こういうことがありますか。最初の 1 回、支援にできませんでしたというのは、オンラインだから元気そうに見えただろうし、分からなかったかもしれないけど、病院から出された資料を見て、緩和ケアがなければ絶対自分では面倒を見れないということは素人の私も判断が付きまして。それにも関わらず、ちゃんと先生も出ていらっしゃるでしょうし、介護の方、皆さんプロで

すよね。それで、死亡届を出して、保険証を全部返したのに、それが亡くなって 2 ヶ月過ぎてから認定しますって、どう思いますかと。今コンピューターの時代ですよ。亡くなったって言ったらわかるはずですよ。これ言うつもりなかったですよ。だけど、職員の人数が足りないとか色々おっしゃったら、人数が足りなくてもコンピューター1 つで出るわけじゃないですか。

市長)

ちょっと私も今即答はできないですけども、本当に申し訳ない限りです。職員の人数ではなくて、個人情報管理の仕方が、介護は介護、住民票は住民票と縦割りにまだなっているところがあります。そのミスであって、本来であればチェックはできるはずなので、こちらの対応に問題です。申し訳ないです。

◆今後の進め方について

参加者)

ずっとお話を聞いていました。私の思い、意見をちょっと述べさせていただきます。美濃加茂市は70周年になります。それから、人口が 5 万 5 千人います。人口が減ってきているのに、市庁舎はそんなに大きなものを建てなくてもいいと思います。

本当に私がずっとここに住んでいて思うことは、やっぱりどこに建てても同じことです。木曽川のあたりに住んでいる人は、洪水になるからダメだとか、今の庁舎は地震が来たらダメだとか言いますが、洪水は今でも線状降水帯がいっぱいあるので、これから先だっていくらでもありますよ。そういうことよりも、まず市庁舎のことだけを考えた場合、何年か前にあったように、太田駅前を開発をして、国の補助もしてもらえとか、色々ことを聞きましたが、私は本当にあの時に、この土地に住んでいて、今しかやる時がないと思いました。でも、それはダメになっちゃったから仕方がないけど、これからは後退することなく進めてほしいから、皆さんによく知っていただいて、どうしたらいいのかということを実際に真剣に考えていただいて、今の市庁舎の場所に建て直してもいいし、よそに建ててもいいけど、何がしたいのかということを実際に皆さんに、切実に考えてほしいです。

先ほど市長が言われたように、学校のトイレが汚いとか、どこどこを直したいとか、そういうことは各家庭でもあります。直したいけどお金がないとか、建てたいけどお金がないとか、そういう切実な問題があって、市庁舎のことも皆さん考えていると思いますが、何が 1 番大切なのかということを考えていただいて、やるならやると、皆さんに賛同いただいて進めてほしいです。コンパクトでいいから、人口も減ってくるし、60 年先どうなっているかわからないけど、時代は変わってきて、市役所の仕事もリモートでできるようになって、本当に私はコンパクトで無理のない市庁舎を建てていただきたいけど、駅前でやると、災害のことを考えると、駐車場はなく車を置けないという点もあるから、そういうことも実際に考えて市庁舎作りをやっていただきたいと私は本当に切に思います。木曽川に住んでいる中山道沿いの人も、水が来たらどこよりも先につく。でも、地震が起きたら、どこの家にもくるので、本当に真剣に考えて意見交換をしていただきたいと思います。

おでかけワークショップ(みのかも市民会議) ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP2「新庁舎の役割」をテーマに実施しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 10 月 10 日(火) 18:30~20:00

場所:生涯学習センター404

参加者(事務局を除く):9 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイダンス
4. グループワーク
お題:「新庁舎の役割」
5. 質疑応答
6. おわりに

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課



2. 結果の概要

(1) ワークショップ結果の概要

「安心安全なまち」や「便利なまち」という市の役割に対する、新庁舎の役割への意見が多く出されました。特に、今ある福祉を手厚くしていくことや今後増えていくと予想される相談目的の来庁に対して対応するために、地域分散型の庁舎とすることや情報発信の強化、DX 化の推進といった意見が出されました。

また、市民サービスを充実させるために職員の働きやすい環境を整えるべきといった意見が出されました。

■新庁舎の役割の概要 ★はシールが貼られたご意見

カテゴリー	新庁舎の役割
コスト	★求める事といっても行政の役割を果たしている。新しい事ではなく予算の使い方の見直し ・コスト削減別の所にまわせる
災害時の拠点	・防災拠点として ・災害時の拠点
産業振興	・企業誘致 ・多様な企業との連携
市民利用スペース	・広い駐車場に屋根付きの通路 ・広い場所、わかりやすい表示、位置
情報発信・集約	★情報発信の強化 ・誰でもいつでも連絡できるシステム
自然を活かす	★豊かな山川を活かす ・自然の魅力を活かす ・アベマキで作る
地域の拠点	・地域の拠点 ・地域の人と行うイベントを増やす ・イベント運営の負担も、 ★人とのつながり⇒災害時に助け合える
デジタル化	・デジタル化による弊害はおこさない ★DX スマートで効率のいい行政サービス ・DX 化で職員を必要とところへ ・市役所を市民はあまり使わない ・デジタルできない人へのカバー⇒若い世代が充実している ・人手が必要な場所を手厚く
どんな人にも 対応できる	・市民の話しをいつでも聞く ★心の支え ・市民サービスの向上

カテゴリー	新庁舎の役割
	★新しい事を求めるより今ある福祉をどう連携して手厚くしていくかが大切 ・福祉の充実
働きやすい環境	・市職員が笑顔で働ける環境 ★職員の働きやすい環境 ・職員を大切に ・職員の意見も吸上げるべき ・市民はあまり使わない
分散	★資料にあるような来庁の質が変わると予測、コンパクトな庁舎としサテライト方式の充実 ・地域分散型 ★機能を分散させてからコンパクトな新庁舎 ・コンパクト、窓口は小さく ・人が集まるのは市役所でなくてもいい ・連絡所の機能拡充 ・連絡所との連携 ・連絡所でも窓口業務を
その他	・ミスの削減市民に返ってくる

(2)各グループごとの結果の概要

■A 班

1)ワークショップの様子



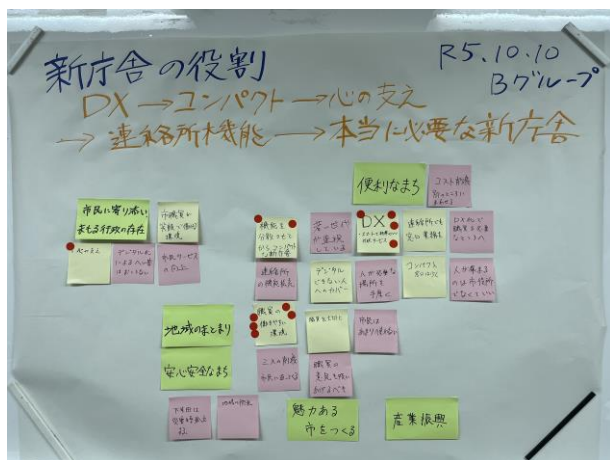
2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	補足	大事だと思うところ
市民に寄り添い、まもる行政の存在	アベマキで作る	連絡所との連携	
	市民の話をいつでも聞く	誰でもいつでも連絡できるシステム	
地域のまもり	イベント運営の負担も、、		
魅力ある市をつくる	地域の人と行うイベントを増やす		
	人とのつながり⇒災害時に助け合える		1
	豊かな山川を活かす	自然の魅力を活かす	1
産業振興	多様な企業との連携	企業誘致	
安心安全なまち		情報発信の強化	1
	求める事といっても行政の役割を果たしている。新しい事ではなく予算の使い方の見直し	福祉の充実	1
	新しい事を求めるより今ある福祉をどう連携して手厚くしていくかが大切		1
	資料にあるような来庁の質が変わると予測、コンパクトな庁舎としサテライト方式の充実	地域分散型	1
便利なまち	防災拠点として	災害時の拠点	
	広い駐車場に屋根付きの通路	広い場所、わかりやすい表示、位置	

カテゴリー	市民の方の意見	補足	大事だと思うところ
その他	スペースを提供する		
	情報を隅々まで届ける		
	市民の相談ができる		
	人が集まれる広い会場		
	広くてわかりやすい		
	カフェスペース		1
	人と人をつなげる		1
	職員さんの負担軽減。ロボット、AI 活用	窓口の一本化	2
	一ヶ所で事が済むようになると良い		
	予算がいくらなのか		

■B 班

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

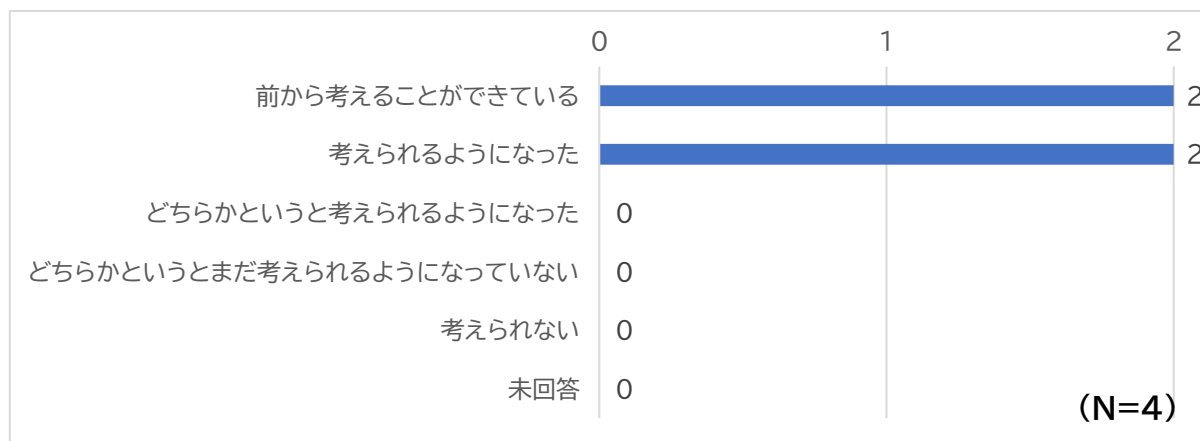
カテゴリー	市民の方の意見	補足	大事だと思うところ
市民に寄り添い、 まもる行政の存在	心の支え	デジタル化による弊害はおこさない	1
	市職員が笑顔で働ける環境	市民サービスの向上	
地域のまとまり 安心安全なまち		下米田は災害時孤立する	
		地域の拠点	
便利なまち	機能を分散させてからコンパクトな新庁舎	連絡所の機能拡充	2
	デジタルできない人へのカバー	若い世代が充実している	
安心安全なまち	DX スマートで効率のいい行政サービス	人手が必要な場所を手厚く	4
		DX 化で職員を必要とところへ	
便利なまち	連絡所でも窓口業務を		
	コンパクト、窓口は小さく	人が集まるのは市役所でなくてもいい	
	職員の働きやすい環境	ミスの削減市民に返ってくる	5
	職員を大切に	職員の意見も吸上げるべき	
		市民はあまり使わない	
		コスト削減別の所にまわせる	

(3)アンケート結果の概要 ※回答者数 4 名

問1.「新庁舎の役割」を考えることができましたか。(1 つに○)

	回答者数【N=4】
前から考えることができています	2
考えられるようになった	2
どちらかというと考えられるようになった	0
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	0
考えられない	0
未回答	0

図 1 「新庁舎の役割」について



問2. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。(コンセプトやその理由をご記入いただける場合はこちらにお願いいたします。)

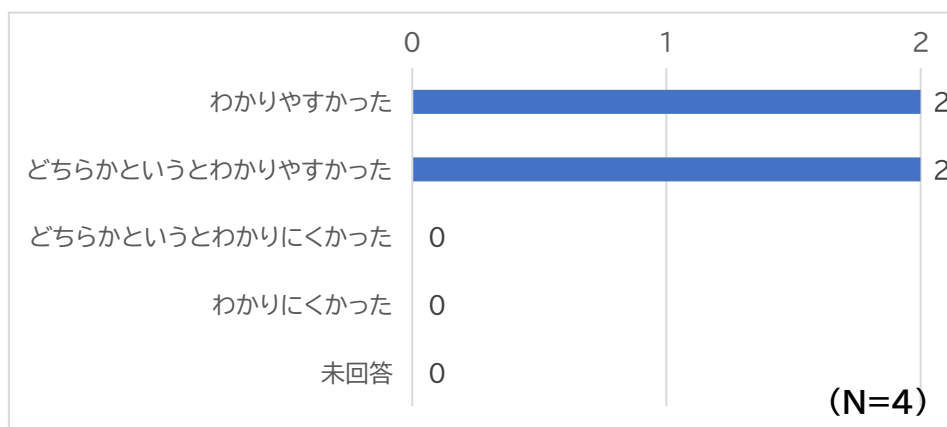
◇自由意見

- ・「コンパクトな市役所」 出先機関(連絡所)の充実。
介護保険、要介護認定・要支援認定の手続きを連絡所でも可能にする。
- ・役割は市民アンケートでほぼ出ていると思います。大切な事は予算をカットして
‘何よりも福祉の充実‘を向上させる事だと考えます。
コンセプト提案:何よりも福祉の充実
理由:庁舎に予算をかけて福祉に予算が届かないのでは困ります。
又、子ども達に負担をかけないでほしいです。

問 3. 本日のワークショップの説明・進行について(1 つに○)

	回答者数【N=4】
わかりやすかった	2
どちらかというとわかりやすかった	2
どちらかというとわかりにくかった	0
わかりにくかった	0
未回答	0

図 2 本日のワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。(今後の運営で参考とさせていただきます。)

◇自由意見

- ・その場で皆さんの意見をまとめていく進め方は、わかりやすくて良かったです。
- ・様々な考えをお持ちの方々が集まるので、運営は大変と思います。
分かりやすい言葉や話すスピードに考慮してください。
- ・よく耳にするのがこうして時間をかける事にも予算が使われている・・・。
だから急で進めろよ・・・聞こえます。私は急ぐ必要はないと考える。

問4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

	回答者数【N=4】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram、LINE など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	3
所属団体からの呼びかけ	0
その他	0
入手できていない	0
未回答	1

図 3 新庁舎整備に関する情報について



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◇自由意見

- ・小さくまとまらず、計画して欲しいです。
- ・国は昭和の大合併、平成の大合併と町村の数を減らしてきました。
- 令和の大合併に備えた市役所の規模にしてください。

おでかけワークショップ(元気東魂 P) ワークショップ・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。今回のワークショップは STEP1「市の役割」で出た「市民に寄り添い、まもる行政の存在」を主なテーマに STEP2「新庁舎の役割」について考えて頂きました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 10 月 24 日(火) 19:00~20:30

場所:生涯学習センター404

参加者(事務局を除く):5人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. ワークショップガイド
4. グループワーク
お題:「新庁舎の役割」
5. 質疑応答
6. おわりに

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課



2. 結果の概要

(1) ワークショップ結果の概要

「市民に寄り添い、まもる行政の存在」を主なテーマに新庁舎の役割について考えて頂きました。市のサービスを安心して受けられることや、相談に対して傾聴することが求められていました。また、市から市民へのサポートだけではなく、ボランティア活動等の市民主導の取組により、市民と市の職員が”お互いに”寄り添うことが大事だという意見がありました。

市政への市民参加のためにも、ワークショップ等で市民参加が可能な場を作っていくことを期待されていました。

(2)ワークショップ結果

1)ワークショップの様子



2)ワークショップの結果

カテゴリー	市民の方の意見	補足
相談の総合窓口的役割	求めている情報を教えてもらえる(分業でなく、全体的な視点で説明してもらえる)	
	困りごとワンストップ相談。とりあえずなんでも市民のために	
	なんでも相談できる⇒事業所を紹介できる	
	困っている人と助けられる人をつなぐ市役所	
	連絡所。広く浅く、やさしく	連絡所の機能の充実
安心・安全に、気軽に相談できる	安心して相談できる場	
	安全に相談できる	
	気軽に問い合わせができる	
	市と市民の垣根が低すぎても良くないと思うが、困りごとがあったら伺える、寄り添ってもらえる。	
	子連れ、託児。子どもを遊ばせながら相談できる。	
市民の活動を応援する	市民の方の意見のやりたいこと、してほしいことをしっかり聴く。	
	相談だけではなく、「市民が自分でやりたいことをやりに行ける場」であっても良い。	
	新しいアイデアを応援してもらえる(新しいつながりの提案)	
	やさしい、受け入れられる雰囲気	
	市民の活動を応援する。	

カテゴリー	市民の方の意見	補足
傾聴、よく聴く	やさしい言葉で伝えてもらえる。	
	話をよく聞く。	
	一年間、ずっとためこんでいた姑の悪口を穏やかな笑顔と傾聴で話すことが出来た。寄り添ってもらえていると感じた。	
	困ったときに、あて(頼り)になる。	
	相手の立場に立ち、相手の話をじっくりと聴くこと	若者にこのワークショップに参加してほしかったので、子どもに半ば強引にでも参加してもらおうと思ったが、子どもの立場にたったら参加したいと思わないだろうと率直に意見をくれた。子どもに寄り添っているなあと感じた。
市役所職員が十分に活躍できる (自分の仕事に臨める、 健やかである)	市役所で働く人々が輝いていてカッコイイ！その人たちに頼りたいと思い、市役所に行きたい。 美濃加茂市で働きたい、につながる。	
	相談される職員さんの健康を守る。ゆとりやスキル	
	健康食を出してくれる社食(庁舎内食堂)。市民も利用できる。	
	広報、市民サポートなど専門の職員を増員する。	特性に合わせた仕事ができる。
	まずは相談、そこから対面で話ができる。	まずは電話やオンラインなどで相談し、そこから対面でじっくりと話ができる。
	No と言える市役所	必要なことに時間が割けるようになる。
市民と市の職員がお互いに寄り添う、顔が見える。認め合える。	登山道の整備を市の職員の人と一緒に創り上げる体験ができた。ボランティア活動に顔を出してねぎらう(部課長クラスの人参加)	
	お互いに感謝の心を忘れないこと。市民ばかりが寄り添ってもうではなくお互いに。	
	寄り添ってもらえると、寄り添える。	
	市民が先を歩き(市民主導)、それをサポートするのが行政！！	
市民が参加できる場をつくる。民意を高めていく。	10代、若者が面白い、関心を持ってもらえる場をつくる	
	マイクラフトで10年後の美濃加茂市をつくるコンテスト	
	今回のワークショップが楽しかったので、お題を出してほしい(年に一度、数回行う)	テーマごとに話し合うワークショップを毎年開催する
		民意を高めていく。みんなで考えることを常態的に行っていく。

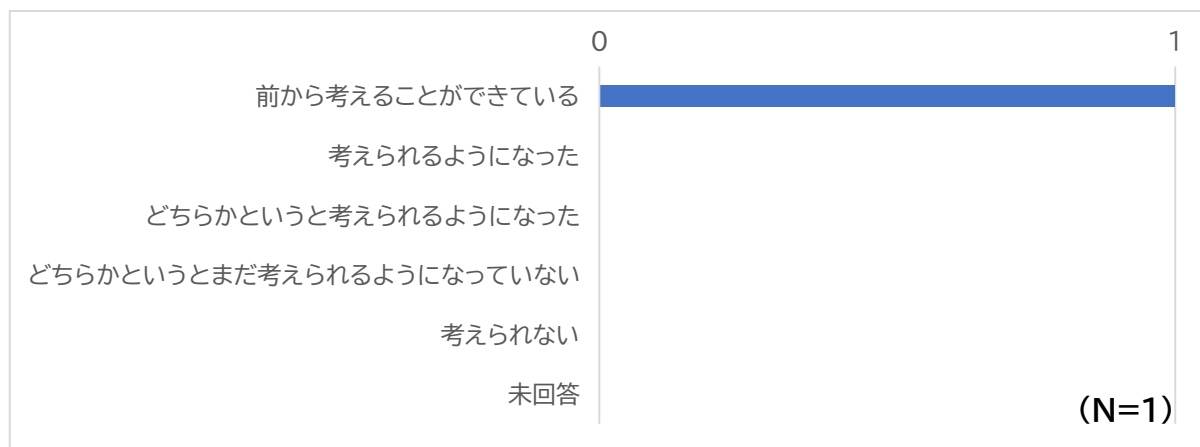
カテゴリー	市民の方の意見	補足
市民ファシリテーターを育てる	お互いがお互いを助け合える。市民ファシリテーターの育成	
	市民に自分の価値を見出せる役割や機会がある。	
新庁舎の構造	事務方の方がしっかりと働ける場所が確保されている。合わせて市民が集う場所がある。(両方が区分けされている)	
	議会の見学がしやすい場所になる。ネットだけではなく生の会議の臨場感を感じたい。	議会の環境整備をする。

(3)アンケート結果の概要 ※回答者数 1名

問1.「新庁舎の役割」を考えることができましたか。(1 つに○)

	回答者数【N=1】
前から考えることができています	1
考えられるようになった	0
どちらかというと考えられるようになった	0
どちらかというともまだ考えられるようになっていない	0
考えられない	0
未回答	0

図 1 「新庁舎の役割」について



問2. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。(コンセプトやその理由をご記入いただける場合はこちらにお願いいたします。)

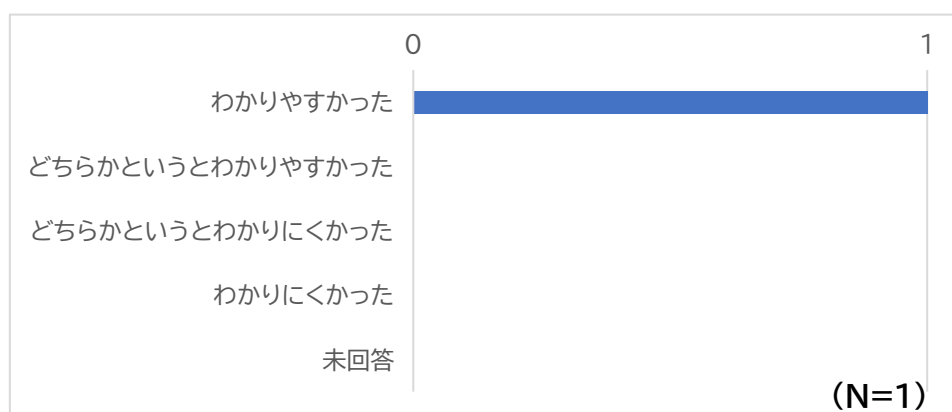
◇自由意見

- ・新庁舎は職員が働くエリアと市民が憩えるエリアを融合したシンボリックな庁舎にしていきたい

問 3. 本日のワークショップの説明・進行について(1 つに○)

	回答者数【N=1】
わかりやすかった	1
どちらかというとわかりやすかった	0
どちらかというとわかりにくかった	0
わかりにくかった	0
未回答	0

図 2 本日のワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。(今後の運営で参考とさせていただきます。)

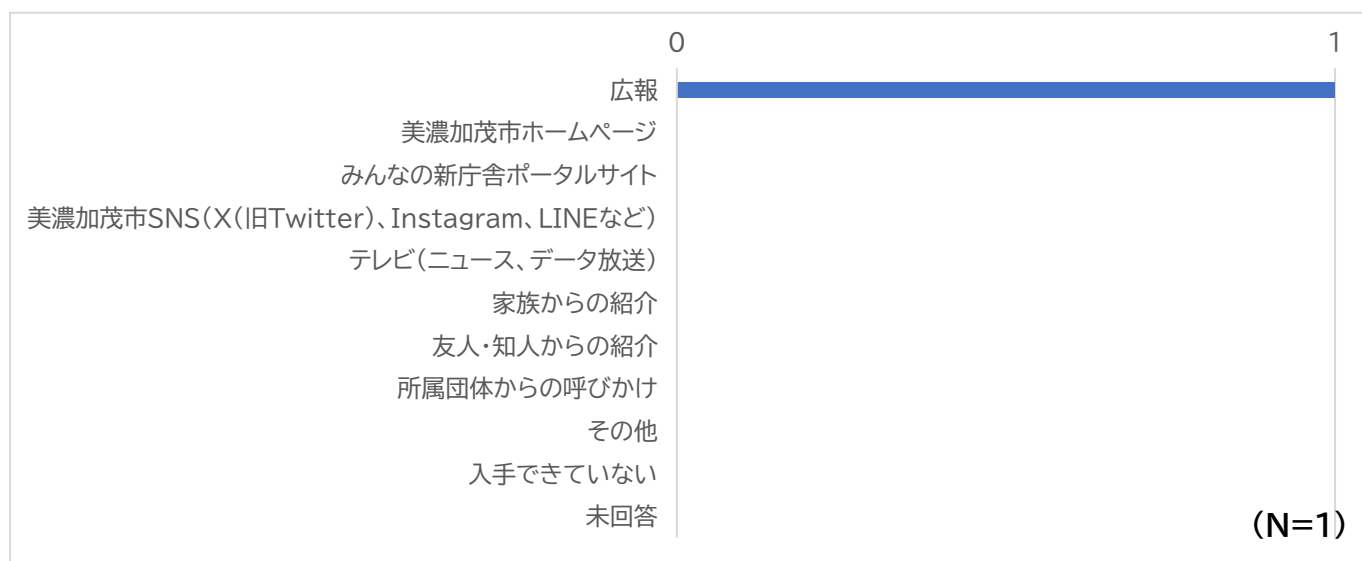
◇自由意見

・見事にまとめて頂いて素晴らしいと思いました。

問4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(あてはまるものすべてに○)

	回答者数【N=1】
広報	1
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(X(旧 Twitter)、Instagram、LINE など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	0
その他	0
入手できていない	0
未回答	0

図 3 新庁舎整備に関する情報について



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◇自由意見

・緑の公園の中にあり、ここで仕事されてて素敵だなと思えるような自慢出来る庁舎にしても
らいたい。このたびはこの様な機会を頂いてありがとうございました。フラットな感じに対応
して頂き、心に残る素敵な時間でした。

おでかけワークショップ(議員報告意見交換会(上古井))
ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 10 月 25 日(水) 19:00~20:30

場所:上古井交流センター

参加者(事務局を除く):25 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

市民)

新庁舎のことが良い感じになってきても、市長が交代してまた白紙になったら市民は一体何をしたのかということになる。市長選で相手の悪口をただ言っているようではおかしい。市長が代わるたびに白紙になっているようでは、美濃加茂市は何をやっているのかということになる。

市職員)

やってきていることを形にしたいとは職員も思っている。あとは市民と合意形成できるかというところで全力を尽くしていくので、ご理解をいただきたい。

市民)

継続はしていただけるのか。引き継ぎというか。

市職員)

ロードマップに沿ってしっかり進めていきたいと考えている。

市民)

今市長のマニフェストと言われたが、市長は市長として新庁舎をどうするかというマニフェストというのはあったのか。市長としての考えがあるのかないのか一切聞こえてこない。

市職員)

当時の選挙の時には、今まで作ってきた基本計画の見直しをするということをやってみえた。

市民)

今日まで、市長が理想とする庁舎の姿というのは一切明かされていないと思う。この前の議会で山田栄議員が市長に密約は絶対ないですねと 2、3 回確認していた。それを聞いて市長はもう頭の中にある程度庁舎のイメージがあるのではないかと思った。市民には権利と義務があるが、義務を果たさずに権利だけ主張する人は市民ではないという本を読んだことがある。前回のアンケートの回答数も少なかったし、真剣に庁舎のことを考えている市民は三割程度しかいないのではないか。市としての計画はもう決まっていて、市民を持ち上げているだけではないか。

市職員)

アンケートの回収率は 45.2%だが、市民満足度調査などのアンケートは全国的に 30%程度というのが一般的であり、かなり高かった印象がある。密約という言葉もあったが、美濃加茂の全域が候補地であり、場所は一切決まっていない。今後、市民からももちろん意見を聞くが、行政としての候補地の案というのも複数示させていただきたい。候補地に関するアンケートもしっかりとっていきたい。

市民)

藤井市長は自分の理想というのはないのか。

市職員)

理想やご自身の考えというのは聞いていない。市民の声を丁寧に聞くということで、ロードマップに沿って進めていくということをやってみえる。

市民)

前の市長の時のの方が駅前と密約していたのではないか。候補地の決定方法で議会とアンケートと住民投票があるが、議会で決めるということは、現在の議員が投票で決まっていないので無いと思う。住民投票しかない。

議員)

地方自治法により、整備地を議会で決めるということは決まっている。当然住民からの意見を得て決定する。また、前市長が密約をしていたとは思っていない。

市民)

駅前開発にするなら更地にして駐車場が必要。今の再開発の考え自体がおかしい。

議員)

今、組合と会社が再開発を進めており、今後説明があると思う。当然議員も市民へ説明していく。

市民)

ロードマップは良いと思う。美濃加茂市は交通も整っているし、人柄もよいと思うので、このまちをどうしていくのかということを考えてまちづくりをしていくと良い。渡辺直由市長の時の、まあいまちみのかもという言葉が良いと思っていた。候補地についてはそれぞれの地区の人で考えがあると思う。これから 10

年後、20 年後のまちのために、誰かに託すという意味で建設的な意見をしていった方がよい。議会の先生たちにも公平な目で見ていていただきたい。

市民)

市役所と消防署は絶対に機能停止してはならない。駅前開発は新庁舎とは別でやればよい。新庁舎は高台になければならない。また、50 年後のために、新庁舎が2つできる場所を確保することが必要。候補地は住民投票をした方がよいと思う。

市民)

第2回ワークショップが定員割れしているが、どう思われるか。

市職員)

知らない方と話し合いをすることに抵抗がある人もいるというのは事実だと思う。現在、3日間のワークショップの他におでかけワークショップも開催しており、サークル等で何回も呼ばれて行っている。

おでかけワークショップ(議員報告意見交換会(下米田))
ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 10 月 26 日(木) 19:00~20:30

場所:下米田交流センター

参加者(主催者・事務局を除く):12 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局他

事務局:美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

市民)

アンケートについて、市民が 50000 人いるのに、1500 人に聞くだけでいいのか。

市職員)

統計学的な根拠に基づいており、4000 人にアンケートを行って仮に 30%が回答したとすると 1200 人になる。1000 人を超えている場合は、その対象と 3%の誤差しかないということになる。今回 1500 人対象のアンケートを行うが、例えば 3 割となると 450 人となるが、400 人を超えると誤差が 5%と言われている。ワークショップで出た 67 人の意見を元にして 1500 人に聞けば、市民全体の傾向とそんなに変わらない数字が出てくる。

市民)

それは年齢も別々にしているのか。

市職員)

別にしている。

市職員)

基本的には各地区や年齢層を加味しながら無作為抽出でお願いするという形になる。

市民)

候補地が4か所ということで書いてあるが、場所をしっかり書いてほしい。

市職員)

基本構想の時には8か所の候補地が挙がっており、4か所に絞られた。その後、基本計画の未来のまちづくり委員会で1つになった。ただ、現在候補地は全くない。今後出てくる候補地を市民の皆さんに公開していきたい。

市民)

便利な場所が良い。市役所は年に1度くらいしか行かない。

市職員)

仰る通り市役所に来る人は少ない。今はコンビニで各種証明書が取れる。

市民)

10円で安いというものもある。

市職員)

10円なのは今年度いっぱいだが、オンライン申請のことなども含めて新庁舎のことを考えていきたい。

おでかけワークショップ(議員市政報告会) ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年11月18日(土) 19:00~20:30

場所:小山会館

参加者(事務局を除く):33人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

市民)

ロードマップには大変立派なことが書いてあるが、総務部長達は前の市長の時にもう場所を決定してしまって、絵(パース)も作って広報で配っていた。有識者の方が決めたからもう自分は関係ないと思っていらっしやるのか。その時のメンバーにあなたたちは入っていたのではないか。市民はみんな反対して、その問題で市長が交代した。市長が交代したのは、市役所を建てる場所がおかしいというのが旗印だった。市民の声が反映されていないから、今度は反映されると書いてあるが、職員も市議会議員も同じメンバーで方針をガラッと変えることができるのか。職員も半数以上が駅前がいいと言って決めてしまった。もう一度言うが、パースまで作ってしまった。それについて市議会議員は一言も謝罪をしていない。一億近く市民の税金を使って申し訳なかったと、市民の意見を吸い上げずに勝手に決めてしまったから悪かったと、だから市長さんまで交代になったと、私達が悪かったと市の広報で謝ったのか。よほど慎重にやっていたかなければ二の舞になる。まずは反省でありお詫びである。なぜこれが4年前にできなかったのかということを心に留めて再出発してほしい。

市職員)

28年度からこの事業がスタートしたが、自分は平成30年度から基本構想や基本計画に企画課長として携わっていた。市民の意見をどれほど吸い上げたかというのは、基本構想は市民とのワークショップを多く行い、8か所の候補地がまず出てきて、話し合いの中で4か所に絞り込んだ。その後、未来のまちづくり委員会で有識者や、市民の代表、団体の代表の方々に専門的な知見から1つに絞ったという経緯がある。ただ反省

しなければいけないのは、1か所に絞る時に未来のまちづくり委員会を開催することを、広報やホームページで周知はしたが、市民に届いていなかった。傍聴に来る人が非常に少なかったというのが反省点であり、絞り込む過程がブラックボックスだと感じてしまう方が多かった。周知が市民に届かなかったというところが大きな反省点である。そのため、昨年度に藤井市長より事業の検証の指示を受け、検証部会を立ち上げて検証してきた。そこで、今回は有識者会議ではなく、市民との意見交換で決めていくという方向性に大きく変更をしている。全国でも庁舎建設で有識者会議を立ち上げないというのは珍しい。自分達も雲をつかむような状況で進めさせていただいているが、皆さんの意見を拾いながら、最後は行政として、あるいは市長が責任を持って説明できるというところで議会に上程していくというところは当然責任を持ってやっていくことが必要だと思っている。その根拠として皆さんと意見交換をしていきたいと思っているので、ご理解をいただきたい。

市民)

自分は新庁舎整備推進課によく電話をしているので分かっていると思うが、今日はなるべく前向きに話をしたい。市民の声や市民アンケートというのは、非常に聞こえは良いが、では市民が決めて、建ててから何かあった時に市民も責任を伴うが、そこまで考えてみんな意見を言っているのか？と思う。市民が責任を持ってここにしたいという意見を集めるのはちょっと難しいのではないかなと思う。市長が決めたことならば仕方ない。もう一つ思うのは、市長は人気があるので、独断で理想的な美濃加茂市の庁舎を作る気は無いのかということを経理に言っておいてほしい。さすが藤井市長だと言えるような、50年後か100年後か分からないが、あれだけのものを作ったんだと言えるような庁舎を作してほしい。

市職員)

まず1つ目について、対話で意見が一つになるというのは我々も想定がし難い。色々な意見があるので、一つにまとまるということはないかもしれないが、ただそういった意見を聞かずに行政が決めてしまうということがやはりブラックボックスだと思うので、色々な意見を頂いて最後に候補地が3つとか4つになるかもしれないが、それをアンケートなり住民投票なりやるかもしれないし、そこに本当に建てられるのかという調査は我々が責任を持ってしっかりと行う。なので最後にこの場所でどうですかと議会に上程する責任は行政あるいは市長にしっかりあると思っているので、そこを何の根拠もなく出して、市民が自分たちは聞いていないと言わないように、多くの方と意見交換する必要がある。2つ目について、市長が責任を持ってという声はたくさんいただく。市長は、そうすることはできなくはないが、大勢の市民がそれで納得されるのかということと言われる。まずは行政と市民との対話だけではなく、市民と市民の意見交換をして進めていくべきということと言われる。最終的には1つに決める時が来るが、今は市民の声を聞く必要があるとご理解いただきたい。

市民)

ロードマップの9ページだが、市民アンケートは2月というふうに言われた。4000人しか取らないようだが、そうするとステップ1からステップ5まではいつ終わっているのか。例えばステップ1の市の役割の見える化だが、市の役割や新庁舎のコンセプトというのはどこかに書いてあるのか。ステップ1での結果、STEP2についての結果というのは本当は今日提示していただけるとありがたかったが、どう思われるか。

市職員)

ステップの1から6までというのを令和 5 年度で計画しており、ロードマップは令和4年度末に、こう進めていこうと計画したものになる。ステップ1のワークショップは7月に3日間かけて行ったが、本日配布したワークショップまとめというものに、どのような目的でどのように行い、どんな意見が出たのかということをもとめている。

市民)

代表的な意見を聞いているのではなく、見える化や役割の決定したものがあるのかという質問。見える化というのは、これが結果ですかということ。色んな意見が出たということではなく、結果かどうかを聞いている。

市職員)

STEP1の結果を書いている。

市民)

これは結果ではなく代表的な意見である。見える化という、最終的に決めたものがあるかどうかを聞いている。

市職員)

市の役割については、まだ結果ということにはなっていない。

市民)

そうすると、STEP1は終わっていないということか。

市職員)

市の役割の見える化については、13 ページに STEP1の詳細が記載されている。

市民)

これは決め方ではないか。いつ結果を出すのか。一つ一つ結果を出して行くべき。結果を出さずに意見をまとめただけでは、市の結論がない。

市職員)

STEP1については意見をまとめた形になっているが、その皆さんから出た意見をもとに STEP2、3を行った。STEP2、3には決定という言葉を書いているが、こちらに関しては今現在 1500 人を対象にした市民アンケートを行っており、そのアンケートを確認した上で決定していくことにしている。

市民)

なぜ 1500 人か分からないが、いつ決定するのか。

市職員)

今年度中に決定する。

市民)

今年度中ではないだろう。2月に 6 をやると言っているのだから。

市職員)

STEP2・3の結果というものをワークショップで出す。

市民)

アンケートの結果ではなくて決定を聞いている。

市職員)

コンセプトと役割は一部の人だけに聞いたものではないので、アンケートでも聞いたうえで絞り込んだ上で決定をする。アンケートはこの間締め切ったので、その意見を集約して決定する。その決定を 12 月のワークショップでお示しさせていただく。

市民)

アンケートの結果ではなく、ちゃんと決定ということをお願いしたい。

市民)

若い人の意見ということで、中学生に意見を聞いていたと思うが、結果はもう出ているか。これから美濃加茂を担っていく若い人の意見はどうなのかということを知りたい。

市職員)

加茂高校生 2 年生の 240 名に対し、これから意見を聞いていくので、まだ結果は出ていない。また、東中学校 3 年生の 280 名との対話も来週行うのでまだ結果は出ていない。

市民)

若い人に期待するのは、自分達との発想の違い、自分が思いつかないようなものがあると思うので、そういうものに期待したい。美濃加茂市長は人気があって若いので、発想を変えることもできるのではないかな。

おでかけワークショップ(美濃加茂商工会議所 青年部) ヒアリングまとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023 年 11 月 28 日(火) 17:00~18:00

場所:商工会議所3階会議室

参加者(事務局を除く):13 人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局他

- 美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆新庁舎に対する関心について

参加者)

この新庁舎の件は、行政に対して無関心な人に関心を持っていただく、きっかけ作りとしてはいいチャンスだと実感しています。今後の10年、20年後、今回の新庁舎の決定までの流れが、いろんな行政に関心を持っていただけるきっかけになると思います。ワークショップの第2回に若者が増えた経緯は、工夫をされたのかなと1つ気になりました。若者に興味を持っていただけたヒントがあれば教えていただきたいです。

市職員)

1回目と比べ全体の人数としては、2回目の方が少し減っていますが、若い世代の割合は増えております。ポスター設置のお願いを70店舗ぐらい増やし、例えばスタバなど、若者が行きそうなところに貼ったことに効果があったかなと思っております。また、instagramの広告なども検討しており、若い世代の目に届くようなことを更に増やしていきたいなと思っております。

市長)

本当に政治も含めて関心を持っていただくことは課題です。1歩踏み込んで、「あなたにも考えてほしいんですよ」という本気を、僕らはもっと行動に変えていくべきだと思っております。また、結果は12月に発表予定ですが、11月に行った市民アンケートでも10代から関心がないという回答をもらっているため、やっぱりこちらから積極的にいかなければいけないと思っております

30代の子育て世代であっても、生活とは関係ない、実感がわかないと思います。でも、将来的に関係があることをまず理解いただきたいです。

また、若い世代の方で参加してくださる方から、どうせ新庁舎は作るんでしょという意見を頂くことが多くあります。実際に作る方向であります。お金のかけ方はまだこれから自由が効きます。市役所を作ること、利益を生む施設ではないんですよ。だから、あくまで皆さんからお預かりした税金を使うことになります。建設費はおおよそ60億円、維持管理費を抑えられるような建物にした方がいいんじゃないかと。でも、年配の方の中には、せっかくなら豪華にと仰る方もいらっしゃいます。様々な意見がありますが、若い人がそこまで言うなら、確かにもうちょっと抑えてもいいかもとか、こういう機能あった方がいいのかもという論点も出てきております。

◆市としての方向性の提示について

参加者)

この新庁舎については、候補地等も含めて非常に難しい道を選択されたのではないかと感じております。皆さんの候補地についての意見を聞き、すばらしいと思いましたが、その一方で、市役所の皆さんからある程度の導きの必要があるのではと感じました。どのようにお考えか伺いたいです。

市長)

おっしゃる通り、0から考えてくださっていくのは正直難しいですね。前回計画があったので市民

の皆さんとしても、結構情報を持った状態でワークショップに来ていただいています。ワークショップをやりながらどのタイミングで市としての意見を言っていこうかと考えていましたが、専門家が話し合ったとしても落ち着くようなところにわりかし落ち着いています。ここから先、建物の形状、造り、場所が生む周辺に対する効果は行政がもっている情報であり、また、今の時代どう評価されるかってことが非常に大事だと思います。我々も国交省や内閣府、国会議員の先生にもしっかりリードしてもらい、日本で最先端の庁舎はどのようなものか、情報収集しているところです。今は生活に密着した意見を吸い上げている段階ではありますが、具体的な話をする段階になりましたら、色々と情報量が出てくると思いますので、情報を共有させていただき、議論の材料にしていきたいと考えております。

◆候補地の選定について

参加者)

前回計画時のワークショップ等に何回か出席させていただいておりますが、駅前に建てる前提で話をされているように感じていました。結局 1 回白紙になりましたが、あの時と違った候補地はあるのですか。

市長)

前提の1つとして、市が持っている土地があります。次の第 3 回ワークショップで資料を準備しているところですが、今の市役所の場所、駅前の商業ビル、プラザちゅうたい、東総合のグランド、前平公園付近など、できるだけすべてを示しています。新たに土地を取得することも視野に入れていますが、インフラ整備等お金がかかることもあります。今後、議論が進む中で場所によっては費用が高いたとか時間がかかりすぎるといったこともある可能性があります。大多数の市民の意見に対して、我々が政治的な意図でねじ曲げる必要はないので、現段階では全てが候補地であると提案した状況で第 3 回のワークショップに入っていく形になります。

参加者)

先ほど市長が市役所はお金を生む場所ではないというようなことを言ってみえましたが、前回計画時に 1 階に喫茶店やいろんな店舗を入れるという構想があったと思うんですね。またそういうような構想の話もありますか。

市長)

あります。実際、市民に行ったアンケートの中には、図書館や交流の場を併設させるといった意見もありました。図書館自体、お金を生まないですが、今ある施設 2 つを 1 つに複合にすることで行政全体のコストを下げるのもアイデアのひとつです。併設させるもので、利益が生まれるとよいとも考えております。まさに最近の手法で、民間に施設を建ててもらって、そこを間借するアイデアもあります。いろんな選択肢があるので、可能性を残した状況で、ステップ 4、5 に入っていき、皆様にぜひご参加いただけるとありがたいです。

参加者)

これからお金を払っていくような中高生から意見を吸い上げることが大事だと思います。

◆今後の進め方について

参加者)

8 月に結婚して、岐阜市民から美濃加茂市民になりました。ご存じだと思いますが、岐阜市の庁舎も新しくなりました。岐阜の市役所は複合施設になっていますが、隣に図書館メディアコスモス、駐車場にキッチンカーなど、お金を生むことは結構あると思います。市役所食堂と言って、市役所に職員以外でも入れる施設もあります。そういうものをどんどん入れてもらうといいのかなと思います。僕は結婚してから美濃加茂市役所に何回か手続きで行っていますが、それ以外で、なにか出来事がないと市役所に行くことがないと思います。今、若い子たちが行かない理由はそこだと思うんですよね。それを踏まえた上で、これからお金を生む 10 代、20 代の子たちが市役所について興味を持てるような、来たいと思えるようにしてほしいと思います。例えば、何かあったときに市役所に頼れるように、児童館のような遊べる場所があると、こどもたちも市役所に根付くと思います。また、子どもたちが行けるような場所に作ってもらえるといいかなと思います。

市長)

とても大事な論点だと思います。役所の職員が働くだけの機能に加えて、施設をつくるとすると追加の費用がかかることになります。そのため、一部の機能を削り、その費用を別の場所に使ったり、機能・予算の配分を考える必要があります。また、役所の将来の位置付けについては意見が分かれており、若い世代の一部ではバーチャルの役所で代替できるのではないかという意見もあります。他には、建物としての役所の建設にかかる費用を減らし、若者や高齢者が日々利用できるサービスにお金を投入するべきだという意見もあります。最低限で、職員さんだけがしっかりと仕事がこなせるような場所がいいんじゃないかといった意見もあるため、今後のワークショップ等に是非参加して頂ければと思います。また、こういった機会も作っていただければ私たちも積極的に情報共有させていただきますのでよろしくお願いします。

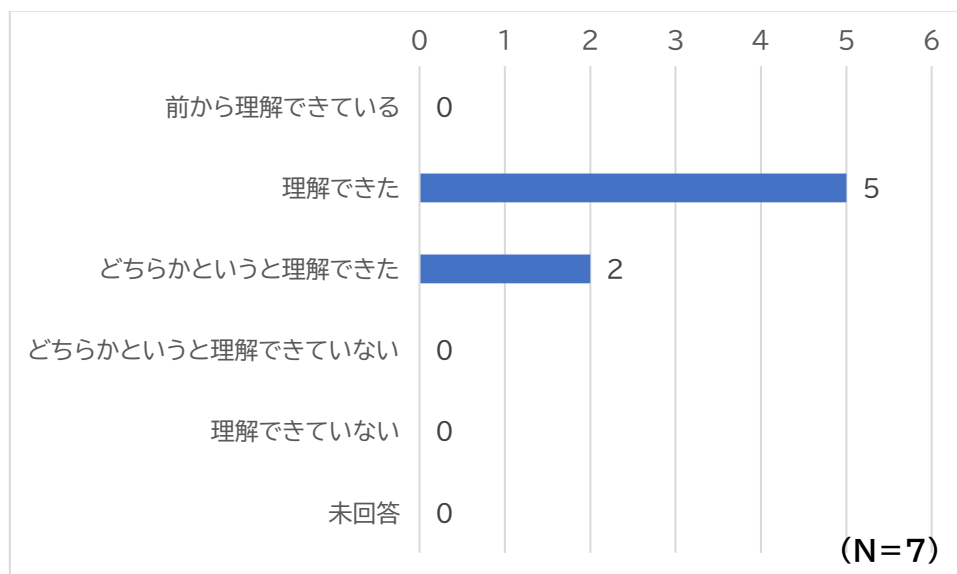
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 7名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

回答者全員が「理解できた」もしくは「どちらかという理解できた」と回答した。

	回答者数【N=7】
前から理解できている	0
理解できた	5
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	7

図表 1. 新庁舎整備の理解について

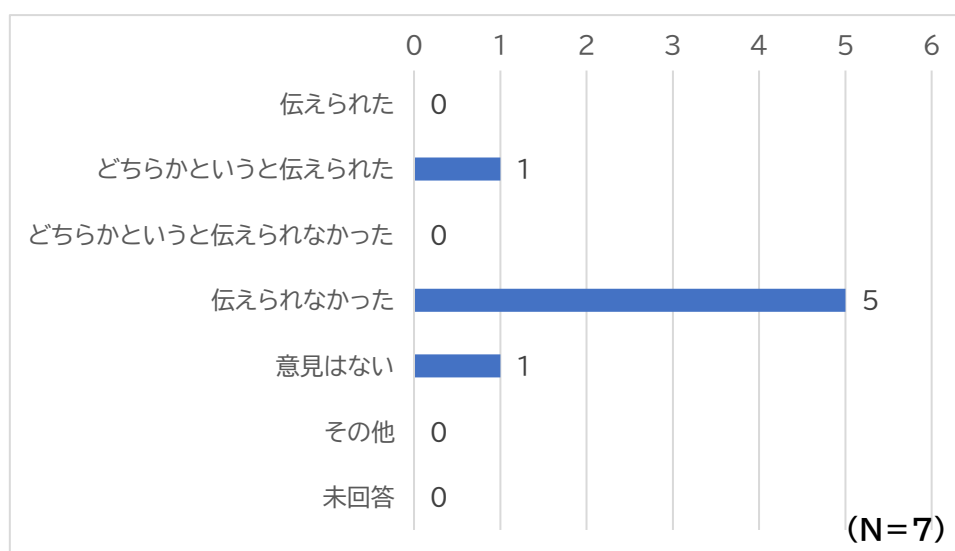


問2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられなかった」が最も多く、次いで「どちらかという伝えられた」「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=7】
伝えられた	0
どちらかという伝えられた	1
どちらかという伝えられなかった	0
伝えられなかった	5
意見はない	1
その他	0
未回答	0
合計	7

図表 2. 新庁舎整備への意見について

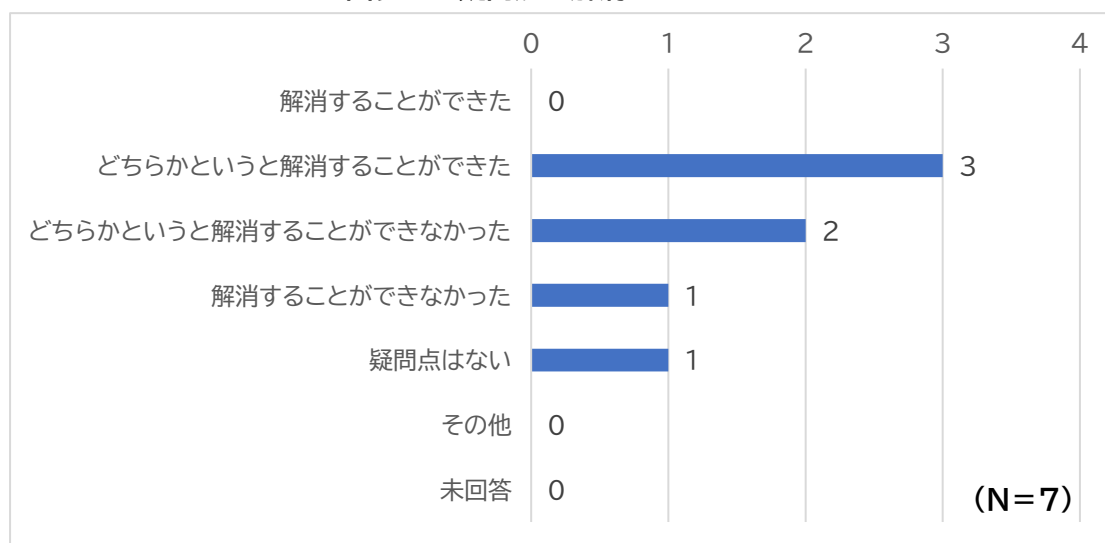


問3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」という意見が最も多く、次いで「解消することができなかった」が続いた。

	回答者数【N=7】
解消することができた	0
どちらかというと解消することができた	3
どちらかというと解消することができなかった	2
解消することができなかった	1
疑問点はない	1
その他	0
未回答	0
合計	7

図表 3. 疑問点の解消について



○問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。

◇自由意見

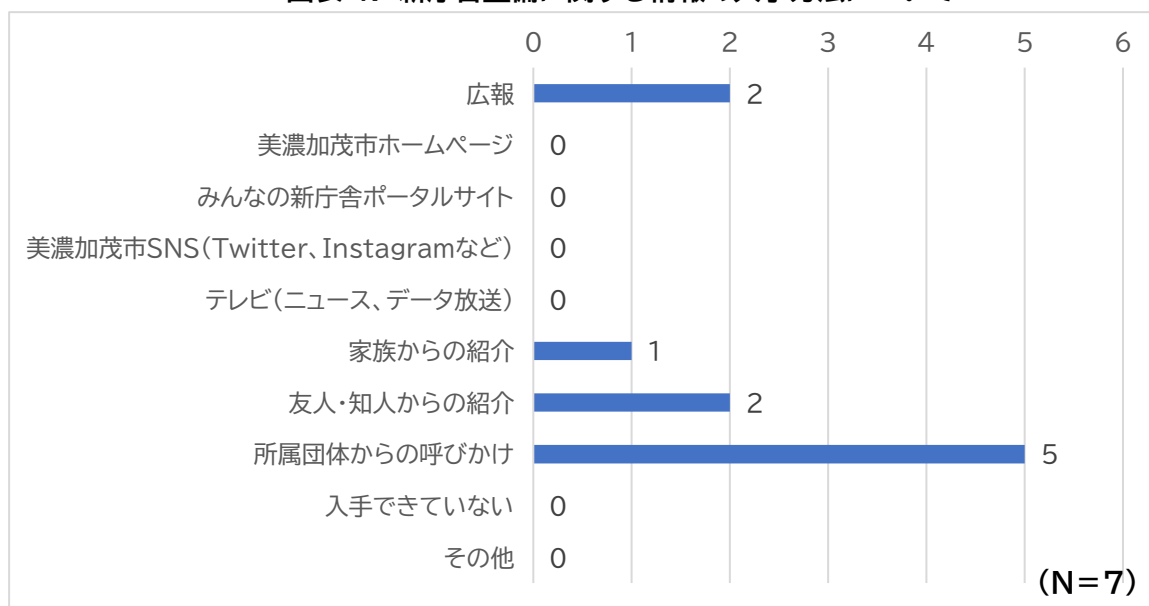
- 既存の庁舎にかかっている現状のコストと、新庁舎にかかるであろうコスト(予想金額)を周知して欲しい。
- 予算面、シティホテルの今後
- 新庁舎の場所が現在の場所と変わる場合、現在の場所の活用は決まっていますか？
- 候補予定地の地盤調査が済んでいるのか気になりました。これからの選考にしてもある程度場所の候補はあると思うので、先に場所の選定をしてからコンセプトや役割機能の議論が出来れば、イメージしやすいのではと感じました。

問 4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「所属団体からの呼びかけ」が最も多く、次いで、「広報」「友人・知人からの紹介」が続いた。

	回答者数【N=7】
広報	2
美濃加茂市ホームページ	0
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS (Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	1
友人・知人からの紹介	2
所属団体からの呼びかけ	5
入手できていない	0
その他	0
合計	10

図表 4. 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



※複数回答有

問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

◇自由意見

- この新庁舎策定の機会を、市民が財政に関心を持つ機会となって欲しいと思います。
- 古井駅周辺はどうされる予定ですか。
- 子供は希望です。建物に使う予算を子育て、子供達に使えるといいと思います。
- 利益を産む新庁舎が持続可能だと思います。
- 多目的ホールがあれば利用価値が高いと思います。
- 美濃加茂市民でどれだけの人が周知しているか？人数など知りたい

おでかけワークショップ(水曜クラブ(美濃加茂商工会議所)) ヒヤリング結果まとめ

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(主催者・事務局を除く)

日時:2024年2月14日(水) 18:00~18:40

場所:シティホテル美濃加茂

参加者(主催者・事務局を除く):16人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局他

事務局:美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップについて情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

市民)

二点質問がある。一点目はこれだけ当初の計画から延びたわけだが、それによってどのくらい費用が上がったのか。資材も非常に高騰している。この数年で計画が延びたことによって資材も高騰してきているわけだが、それによって経費がどのくらい増えているのか。二点目は、新聞で候補地の採点について、前平と駅前と旧庁舎が一番点数が高いと載っていたが、あれを公表したのは市なのか。公表したにも関わらず今全く候補地が決まっていないようだが、市民に選ばれた議員がいて、そこで行政がある程度決定して意見を聞いていくものではないか。市民アンケートという聞こえは良いが、混乱するだけであり、悪戯に期限が延びて費用が高騰していくだけというふうに思えてならない。

市職員)

一点目について、最初に計画を始めた時から現在までで、物価の高騰は1.27倍と算出しているが、新庁舎を建てるのはまだこれから先になるので、物価がどうなっていくのかは分からない。あるいはこれから整備地が決まっていくが、場所によっても大きく変わってくる。土壌改良や土地の買い増しなどの調査はこれから行うので、今20か所ある候補地を3か所から5か所くらいに絞って、来年度調査をしていく中で明らかになると考えている。ただ資材の高騰に関しては今確実に上がっており、算出の中では1.27倍ということ考えている。二点目について、アンケートを行うと様々な意見が出るというのはその通りである。市として提示した候補地は12か所だが、市民の提案により20か所まで増えた。よって、アンケートを行うことでよ

り多くの意見が出る可能性はある。来年度には最後に 1 つの整備地に決めなければいけないが、行政としては当然最終的な判断をする必要があると考えているし、議員の皆様にも位置条例を定める議決権があるので、責任を持って決めるということが最後に残ってくると考えている。

市民)

今の考え方だと、3 か所を公表したというのは不合理だと思うが、どうして公表したのか。

市職員)

12 月に第 3 回ワークショップを行った際に資料を出したが、出したのは 3 か所ではなく 12 か所。

市民)

12 か所だったかもしれないが、新聞では高得点のところは 3 か所だを書いてあった。それを公表した意図というのはどこにあるのか。

市職員)

公表した内容は、利便性、災害に関する事、市の用地に関する事という大項目が 3 つある。市有地があるかということや、土砂災害や液状化の危険性がないかを国や県の資料から評価している。市民から出てきた 8 か所の候補地についても同じように行っており、当然市民もその場所にした場合にこういった課題があるのか知る必要がある、というのは以前も言われていた。そのため、こういったものを全て拾い上げて表にした。

市民)

どうも納得がいかない。高得点が 3 か所あったのなら、今さら 20 か所にしなくても、その 3 か所で調査するべきではないか。市民調査などを経て数年かけて 3 か所が高得点であるという結論が出たのではないか。その 3 か所を新聞で公表しておいて、さらに 20 か所に増やして市民調査をするというのは、悪戯に期限を延ばして経費を高騰させているだけというふうに判断するのだが。

市職員)

候補地案の評価表があり、○や△や▲というふうに評価をつけていて、そこに点数をつけていくと一番高得点だったのが 16 点で、4 か所ある。それ以外に 15 点のところも 2 か所あり、非常に高い点数がついたのはこの 6 か所だと考えている。

市民)

新聞にそういう発表はなかったが。

市職員)

実際に今資料があるが、そこには 16 点が 4 か所、15 点が 2 か所で計 6 か所となっている。

市民)

なぜ新聞記事にはそれを出さないのか。3 か所に限定されていたが。

市職員)

新聞記者に対しても同じ資料を渡しており、それがどう公表されたのは我々では分からない部分があるが、我々としては市民全員に同じ資料を渡している。

市民)

それなら、新聞社に抗議しなければいけない。6 か所なら 6 か所と。

市職員)

自分の記憶では、その後ワークショップを 3 日間やったが、その時に市民から出た意見が偏っており、3 か所が多かったという意味ではないかと思う。配点の点数ではなく、市民からの配点が多かったのが 3 か所だったということではないか。

市民)

自分の記憶違いかもしれないが、確かに点数は書いてあった。了解したが、とにかく悪戯に期限を延ばすと、100 人に意見を聞いたら 100 通りとまではいかなくても 50 通り 60 通りになってしまう。スピードというのも非常に大切ではないかと思う。27%の物価高騰に関しては円安が進んでいるのもっと高騰すると思うが、事業をやっている我々の感覚では 4 割、電気料金に関しては 5 割は上がっている。27%というのは少し甘いのではないか。当初の 60 億が 90 億になるという換算が誰が考えても出てしまう。税金で作るわけだから、誰か 1 人の考えで延ばしても無意味かなと思う。

市職員)

我々としても少しでも早くという気持ちは持っている。元々庁舎を建て替える原因は庁舎の老朽化であり、今回も能登半島で 2 回大きな地震があり、熊本のときもそうだった。今の庁舎が大きな地震に 2 回耐えられるかというかなり大きなクエスチョンがつくので、そういったことを考えて、少しでも早く建てた方がよいというのは我々も感じている。市長、副市長とも相談しながら少しでも早く進めていきたいと思っている。

市民)

御嵩はリニアの残土を入れるということで、前の町長が推進していたがひっくり返ってしまった。美濃加茂でも、仮に今回 3 件のうちの 1 件を整備地として決めたとなると、次の市長が代わった時にまた変わるということはあるのか。それは絶対ないのか。

市職員)

非常に難しい話だが、市長を選出するのは我々職員ではなく市民。ただ現実として、滋賀県の事例だったと思うが、基礎工事を始めた段階で市長が交代して、工事をストップさせ、工事を行った会社に違約金を払ってまで止めたという話がある。市長が代われれば、そういった可能性はゼロではない。そこは絶対に変わりま

せんとは言い切れない。

市民)

しかし、それには市議会の同意が必要ではないか。

市職員)

もちろんです。

市民)

場所が決まった後の規模などで金額がかなり変わってくるのではないかなと思う。自分が聞いた時は工事費が 70 億くらいの規模の金額だったが、選定された場所によって建物の構造が変わってくると思う。その辺はまだ決まっていないと思うが、どういう計画があるのかお聞きしたい。

市職員)

建物の本体工事は 55 億～60 億を見込んでいるという話を市民にはしている。ただ、その中には地盤工事や造成工事、外構工事は含まれていない。当然整備地によって大きく変わってくるし、例えば市有地が 5000 平米あったとしてもそれで建物と駐車場が全て賄えるかといったら難しいので、用地買収も考えなければいけない。それが場所によって大きく変わってくる。実際どれだけかかるのかは今回の 4000 人を対象とした市民アンケートで 3～5 か所に絞り込んだあと、来年度予算で調査をしていきたい。その後、今年の 11 月から 12 月に行うタウンミーティングで、例え同じ建物を建てたとしても候補地ごとに費用が変わるということや、県へ申請するとこれからさらに一年かかるというような課題も出てくると思うので、そういったことも来年度調査してお示していきたい。

市民)

公表してもらえるのはありがたいが、1年延びたら経費が何十億増える、2年延びたら何十億増えるということも合算して市民に公表しなければならない。その金額がないと、市長選で争ったわけだから、ここが良かったという人はまた色んなことを言われるし、こっちが良かったという人がこっちに移ったらというような意見が必ず出てくるので、悪戯に市民の意見を聞くだけではいけない。トップが判断できればいいが。情報を開示するなら全て開示して、スピードをもってやらないとお金がいくらあっても足りない。どこかの市町村で入札が全て辞退してしまったところもあったし、そういうこともあり得る。

市職員)

スピードに関しては先程もお話したように、少しでも早くという気持ちを持っている。情報開示については、全て開示したいと考えている。白紙になった時に、原因は情報が届かなかったからだという意見もいただいているので、今言われたようなことについても積極的に出していこうと考えている。

市民)

新庁舎の基金は今いくらあるのか。

市職員)

今年度の積み立てをした状態で約 24 億円になる。

市民)

高騰の話で、丸山ダムの所長から、2000 億円でダムが完成する予定だったが、高騰分を含めると 4000 億くらいかかるという話を聞いた。工事も令和 11 年に完成する予定だったが、10 年は延びるだろうと言われており、働き方改革も含めると、コンクリート打ちが月曜～土曜だったのが月曜～木曜まで行い、金曜は洗って土日は休みということになると、突貫工事もできなくなっている。国のダムでもそういう状況ということを見ると、早くしていかなければいけない。

市民)

もう一つ言うと、候補地の中で、用地買収しなくても良いところがあるのか、100%これから用地買収しなければいけないのかということ。買収しようと思ったらなかなか話が見つからない。道路一本作るのに 10 年かかるわけだから、その辺りのことも公表していかなければいけない。ここなら 95%市有地で 5%買い足せば良いとか、ここだったら半分買わなければいけないとか、全部買わなければいけないなど。金額の話ももちろん公表しなければいけないが、用地買収はそう簡単にはいかない。

市職員)

採点表の中で市有地が何平米あるかということを書いている。また、実際に市が必要な土地というのが、駐車場であれば市民は広い駐車場を希望しており、公用車や職員駐車場も必要になるので、少なくとも 1.8 ヘクタール必要。後に同じ敷地の中で庁舎を建替えようとする、2.1 ヘクタールは必要だろうと考えている。その条件をクリアできるのは 12 か所の中に 2 か所しかない。それ以外の場所は用地買収が必要になってくると考えている。

市民)

その2か所はどこか。

市職員)

一つは山之上のサンスポーツランドで、2 万 3902 平米の敷地がある。かなり低いので埋め立ては必要になるかもしれないが、敷地としてはある。もう一つは前平公園隣の畜産研究所。今は県に貸しているが、約 6 万平米ある。ただ、かなりの造成が必要になるので、用地買収は必要ないが、造成費がかなりかかるだろうと考えている。

市民)

今の市役所のところはどうか。

市職員)

今の市役所の敷地は 7179 平米。現庁舎を見ていただければわかるが、職員のスペースも待合のスペースも狭く、プライバシーの保護もできないような窓口になっており、今のままでは小さい。7000 平米だけでは建てられない状況。

市民)

個人的には、能登の地震もあったし、東北の方で大きな地震もあったし、熊本でも地震があった。東北で地震があった時は市役所も津波でやられてしまって、市役所の機能が全く果たせない状態が 1 週間以上続いたということがあったので、そういうことがあっては困るし、かなり古い庁舎なので、早めに考えなければいけない。また、現在の山手線だが、中部国際医療センターとミツカンとヤマザキマザックの車でものすごい渋滞ができています。畜産研究所で 2.1 ヘクタールの市庁舎ができると、山手通りの混み具合から考えて、4 車線にしないとかなり難しい。山之上の方であれば市庁舎に商店街は必要ないので、渋滞を考えなくても良いと思う。

市職員)

渋滞に関することはワークショップでも何人かの市民から指摘があり、朝も夜も山手線がすごく混むとのことだった。来年度調査する中で、交通量も含めて検討していきたい。能登では庁舎が崩れたという話はあまり聞いていないが、熊本では多くあったようである。美濃加茂では災害が発生した場合、文化の森に災害拠点としての機能を持たせるように整備をしている。現庁舎が地震や水害で使えなくなった場合、文化の森で災害対策本部として使用できたり、罹災証明書を発行できる窓口なども整備をしている。ただ、あくまで代替え施設であり、本庁舎が使用できることが一番だと考えているので、少しでも早く建設することに力を入れていきたい。

市民)

来年度中に決定となっているが、いつまでに作るのかが見えてこない。市議会議員の意見も全然伝わってこないし、その辺りは市としてどう考えているのか。

市職員)

いつ新庁舎が完成するのかについて、ロードマップの 10 ページに整備地が決まってからのプロセスを載せているが、一番下に、整備地や事業手法によって異なりますということを書いている。先程も話があったように、用地買収をしなければいけなくなった時に、スムーズにいかない場合もある。あるいは用途指定を変更しなければいけない場合もある。また、事業手法として今の鉄筋コンクリートなのか、あるいはリースで建てるという手法もある。こういった手法を選ぶかによって新庁舎の完成は早くなったり遅くなったりする。三重県では民間の施設の一部に入っており、そういったことでがらっと変わる可能性はある。今の時点でいつ頃完成するのかを予測するのは難しい。

市民)

ここに作るんだったら完成はこの時期になるというのを説明の中に明記しなければならない。

市職員)

今年の3月に候補地を3か所から5か所に絞った後に、候補地の調査を行う。その後、タウンミーティングで市民に話をして決めていく時に、この場所だったらどれくらいの期間でどのくらいの費用かということが明確になっていく。20か所全てを調査するというのは時間的にも費用的にも非常に難しいので、市民の意見を聞いて絞り込んだ上で、費用や期間などが明らかになってくると考えている。

市民)

市議会の方はどうなのか。

市職員)

市議会には新庁舎建設特別委員会がある。今年度は9回行っており、情報共有という形でお伝えしている。あとはそれぞれの個人または会派で活動されているということは聞いているので、市民の皆さんと情報を共有されている方もいらっしゃるということを確認はしている。

おでかけワークショップ(美濃加茂市の未来を考える市民の会)
ヒアリング結果まとめ

日程: 令和 6 年 6 月 26 日(水)

時間: 19:00~21:00

場所: 生涯学習センター201

出席者: 31 名(事務局を除く)

事務局: 美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

(参加者)

新庁舎の候補地決定に予算を考慮しない点やアンケート用紙に建設費の記載がないことに疑問。資料には建物費だけでインフラ費用は不明だが、自分の試算ではインフラに30億円、市民一人当たり約14万5000円の負担が12年続く計算。総工費を無視して決めていいのか、市の説明不足にも不満があり、もっと詳しい情報を求めたい。

(市職員)

皆さんのご意見を聞く場を設けていただいて本当にありがたい。新庁舎整備ロードマップに沿って市民との対話を重視してずっと進めている。令和6年度には一つの候補地に絞るが、皆さんの意見を聞く場として今日は22回目となる。多くの御意見をいただいている。今日も色々な意見をいただきたい。

(市職員)

令和4年度末にロードマップを策定し、ワークショップやアンケートを重ねて市民参加のもと4つの候補地を選定した。方針は総合政策会議を経て決定して議会に報告済み。今年度は候補地の詳細調査を行い、事業費を算出する。大手町公園は代替公園が必要かを検討。現庁舎はリノベーションの可能性や仮設庁舎、駐車場の課題を整理し、プラザちゅうたいは庁舎との一体整備を検討する。今後はタウンミーティングで情報を共有し、住民投票や市民アンケートの実施を議会と協議。議決により整備地を決定し、基本計画と設計を進める。これまでの事業費は約1億1000万円、令和5年度は約2400万円、令和6年度は約6000万円を計上。基金は約24億円を積み立てている。

(参加者)

新市長になった時に、白紙に戻すということで市長になられたが、どのレベルまで白紙に戻したのか。

(市職員)

旧計画は基本構想と基本計画があったが、基本計画は全て白紙となり、基本構想の4つの候補地も全て白紙となった。ただ今まで聞いてきた市民からの意見はそのまま生かしたいという

考え。

（参加者）

言ってることとやってることが違う。市長は20年後、30年後の美濃加茂市をどうしたいのか具体的なプランを示すべき。材料費も建設費も倍になっているのに、進捗状況と言いながら突っ走って市民に責任を押し付けるように見える。市税や市民サービスへの影響についても説明が不足している。未来を見据えた適切な新庁舎の計画が必要だ。

（市職員）

まず人口について。美濃加茂市は当然人口ビジョンについての推測はやっているが、新庁舎だけではなく美濃加茂市全体で色んな事業があるので、それを含めた上で人口ビジョンがどうなっていくのかということで、2030年をピークとして人口が少しずつ下がっていくと予測している。

（参加者）

ピークは何人なのか。

（市職員）

57600人くらい。

（参加者）

2030年ももうちょっとの話だが、数百人しか増えないとなると、それからどんどん減っていくということは、今の住宅がどんどん空家になるということ。

（市職員）

その可能性もある。

（参加者）

そういった事実しか見えない。美濃加茂市というのはずっと続くわけなので、どこに焦点を当てて建てる予定なのか。

（市職員）

2030年をピークに人口が5万2千人台まで減ると計画されているが、時代の変化に合わせて見直しが必要。今年度、人口ビジョンを改めるため企画課が中心となり、国等のデータを加味して進めている。これに伴い第6次総合計画も前期・後期で5年ごとに見直しを行うタイミングになった。こうした上位計画に基づき、新庁舎整備事業の方向性も修正が必要になる部分がある。現在、見直しが始まったところで、今後の具体的な変化はまだ把握しきれていない。

（参加者）

市長のビジョンが見えず、計画には夢がない。ただ数字を並べるだけでは市民の未来は描けない。加茂野は無計画に住宅が乱立し、三和は過疎化が進む中、都市計画課も形だけで具体的な計画が見えない。このままでは美濃加茂市の未来は何も変わらない。

（市職員）

今ご説明させていただいたのは言われた通り行政の組織としてどういった計画かということの説明させていただいて、市長としてというのは、私は市長の意見を代弁するわけにはいかないので、市長としての考え方を示すというご意見があったということは我々としても市長に伝えていく。

（参加者）

市長がきちんとあなたたちに説明していないんでしょう。

（市職員）

今我々がやっているのはまず市民との対話…

（参加者）

対話をするだけで、そのために市長はこういう美濃加茂市にするからこういうことをするんだというプランが全然無いではないか。

（市職員）

考え方にもよるが、市民から色々な話を聞いた時に、市民と市民が話し合って作り上げていく、あるいは市と市民が話し合って作り上げていく方法と、市がこういう方向性に進みたいってやると一部には誘導だと思われる方もみえるというのが非常に難しいところ。今回は、今までと違うやり方ということで、市民との対話を積み上げていこうという考え方を我々は持っている。

（参加者）

市民は30年後の美濃加茂市を具体的に考える人は少なく、役所を利用する機会も減少している。これからAIやマイナンバーの普及でさらに訪れる必要がなくなる中で、瞬間的な政策では未来は描けない。50年、60年先を見据えた長期的なプランがないなら、市長は白紙に戻して新たな明確なビジョンを市民に提案するべきであり、市役所はそれに基づいてしっかり計画を進めていく必要がある。

（市職員）

その辺りも十分伝えていく。

（参加者）

それも伝えて、例えば次の市報に美濃加茂市の 30 年後はこうだっということくらいは言わせるようにしてほしい。

（市職員）

話をしておく。あと、先程事業費実績で指名という言葉があるということだったが、これは指名競争入札で業者を指名したという意味。

（参加者）

他はどこを指名したのか。

（市職員）

そこは正直自分たちの手から離れている。契約関係の担当が指名をするので、そこは把握していない。

（市職員）

指名競争入札は美濃加茂市の指名業者の登録というのがあり、その中でこの業務ならこの会社ができると登録されている。その中でアンケート調査の経験値がある会社を財政課の契約係の方で指名をしていくということになる。

（参加者）

どちらにせよこの人は美濃加茂市の将来を見据えて市役所の色んなことを考えてくれていると思うので、そういった絵くらい描いているのではないかな。例えばこういう市にしたいということをして市長がしゃべって、リサーチをして、だったらこういう機能がいるとかやるのではないかな。

（市職員）

強みは、大学の教授をお呼びして、どういったことが市民が納得できなかったのか分析する作業を一年かけてやったということ。

（参加者）

そんなことを1年かけてやって、2030年に人口が数百人しか上がらないような、大した計画ではないではないかな。

（市職員）

2030年に人口が上がるというのは別の業務。

（参加者）

人口が増えれば税負担の軽減や地域の活性化につながるため、7万人を目指すような計画をするべきだ。人口増加が重要なキーワードであり、住宅街を整備して人を呼び込むような具体

的な施策を示すべきだ。ただ市役所を作るような表面的な計画では課題解決にはならない。

（市職員）

今言われたことは、総合計画を委託する業者にとっては生命線かと思う。今回の委託でお願いしたのは、令和3年度まで進めてきたことが白紙になり、市民が理解できなかったのはどこかと検証するための委託業者なので、そこは作業が違ったのかと思う。

（参加者）

市長が総合計画を市役所の職員を集めて作らない限りは、こんなものは全然話にならないと思う。

（参加者）

他の方。どうぞ。

（参加者）

新庁舎の候補地選定は不自然で、人気投票のような方法には疑問がある。大手町公園は都市公園かつ区画整理事業であり、候補地としての可能性は無い。前平公園も現実性が低い。職員の意見を最優先すべき。最も利用する職員からアンケートを取り、無駄な調査を避けて現実的な計画に絞って進めるべき。大手町公園の「中心」という意味も具体的に説明してほしい。大手町公園を中心とする半径500mだったらシティホテルも入るが、そういう意味でいいか。

（市職員）

違います。

（参加者）

前平公園への移転は都市計画や利便性から不適切で、可能性調査は不要。適切な候補地はシティホテル跡地かプラザちゅうたいのみ。現庁舎は水害対応が可能で、新丸山ダム完成後も安全性が向上するため長く使える。大手町公園は防災上守るべきで、無駄な調査は必要ない。

（参加者）

他にございませんか。

（参加者）

初めて参加するが、すごい意見を聞かせてもらった。なぜここに市長がいないのか。なんか不思議に思っ。すぐくよい意見なので、私も市長のビジョンが見たい。そう思うと、二人のせいとかじゃなくて、市長のビジョンが見たいなと思った。

（市職員）

今日のワークショップには日程が合わず不参加だが、日程が調整できれば直接話を聞いていただく機会もある。

(参加者)

大丈夫です。来月もやってもらいます。来れば。ということで誰か他にご意見ありますか。どうぞ。

(参加者)

議会制民主主義では、執行部が計画を立て、市民が選んだ市議会が最終判断すべきだと考えている。ただ、前回の市長選では「60億円もかけて庁舎を建てる必要はない」が争点だったのに、現在は建物だけで60億円、総額も完成時期も不透明だという。市長交代で白紙に戻る可能性もある中、予算は2割増程度との説明だが、それでは甘く、いくらかかるか分からず使った分だけ支出する計画は市民として受け入れられない。議会にはこうした点を厳しくチェックし、健全な市政を行ってほしい。

(参加者)

他の方。どうぞ。

(参加者)

市は企業ではないのだから、必要のないものを作る必要はない。インフラ整備は当然進めるべきだが、市役所整備についても、市長としてどんなまちを目指すのかという明確な理念やビジョンが必要だと思う。人に優しいまちなのか、子どもに優しいまちなのかを示さなければ、職員の方が大変。その点を市長に伝えてほしい。

(参加者)

ありがとうございます。他に誰か。

(参加者)

この間まち協の会議で副市長がみえて、このことについて説明していただいた。それで4つ案を出し、メリットとデメリットをしっかりと出すと。それから経費のこともしっかりと話しますということと言われたが、これは確かか。

(市職員)

確かです。

(参加者)

先程言われたようにできるだけ経費を少なくして、他の所に目針が行くような計画にしていたきたいので、経費面はしっかりと出していただくことをお願いしたい。

(市職員)

分かりました。

(参加者)

他の方、ご意見はいかがですか。どうぞ。

(参加者)

負債を増やすことで未来に負担を残すべきではない。現庁舎の活用や連絡所の充実という選択肢を優先し、災害時の避難やオンライン対応も考慮すべき。さらに、サーバーの耐震性に固執せず、遠隔地でのバックアップ体制を整えることでコストを抑えられる。美濃加茂市全体を視野に入れた現実的な計画を再検討してほしい。

(参加者)

ありがとうございます。他の方。課長に9時とお願いしたので十分時間はある。

(参加者)

白紙の意味が不明確で、やる・やらないまで戻したのかが曖昧だ。実施前提のまま場所も予算も決まらずにワークショップやアンケートを重ねても意味がなく、却下されれば税金だけがかかり続ける。候補地決定後に調査を行うなどロードマップの順序にも疑問があり、大手町公園が出てきたのも不自然だ。造成費や耐震性など前提条件を整理しないまま場所だけ聞くアンケートは公平ではない。市長は一丁目一番地が耐震なのか水害なのかを明確にし、60億円を超えないという上限条件を示した上で進めるべきだ。

(参加者)

先程立地適正化計画の話があったが、議会でお話されたことをもう一度皆さんに分かるようにお話いただきたい。

(市職員)

立地適正化計画に限らず、総合計画や人口ビジョンなどの計画は、一度作って終わりではなく、分析と評価を行いながら時代に合わせて見直していくものである。立地適正化計画についても、必要な時期が来れば見直す必要があり、市役所の位置が変わるのであれば、誘導区域の扱いも含めて見直しを検討することになる。これは他の計画も同様で、10年、20年と固定したままにするものではない。

(参加者)

さっき分庁舎が。

(市職員)

分庁舎は、今回4つの候補地の中では、本庁舎・西館・分庁舎の3つを1つにする。ワークショップでも市民の方も1つの建物で用事を済ませたいという意見が非常に多かったので、基本的には一つに全部まとめるという方向性で考えている。

(参加者)

ということは今よりも延べ床面積が大きくならなければいけないということか。

(市職員)

建物一つとしてはそう。ただ、本館西館分庁舎を合わせると7,200㎡程度。

(参加者)

駅前は。

(市職員)

現庁舎の床面積は約7,200㎡で、総務省や国土交通省の基準で設計すると、将来整備する庁舎は現在より大きくなる。現在は待合スペースが不足し、窓口で個人情報聞こえるなど市民に不便をかけているため、待合や窓口を拡充すれば、単純に既存施設を合算したよりも延床面積が増えることは想定している。

(参加者)

予算を考えなければそうなると思うが、欲しいものとできるものは訳が違う。誰だってほしいものは一杯あるけど、我慢しながら生活しているので。

(市職員)

我々もお金をどれだけかけてもいいとは思っていない。どこまで抑えていくかというのは当然である。

(参加者)

どれだけお金がかかるか分からないということをはっきりおっしゃったので。それはお金持ち的な回答というか。恐らく完成までには倍かかる。

(参加者)

会議所から政策提言が出ていると思うが、それに関してはここには全く触れられていないが、市がどのように受け止められているのか聞きたい。

(市職員)

自分は直接公室には入っていないが、中に入っていた者やあるいは市長から直接確認をした

時には、今回の市民アンケートで意向を確認した上で4つの候補地ということで尊重をしたいということでお話をされたと聞いている。

(参加者)

政策提言の意には沿わないということか。

(市職員)

はい。今の状況の中では改めてということはない。

(参加者)

ロードマップで説明をいただいた時気になることがあったので聞きたいのだが、STEP5で新庁舎の複数候補地案を選定、これにワークショップに参加された57名の方で候補地が選定されて、それをもとに4000人のアンケートを行って1500人の回答をもって4候補地を決めたという認識で間違いないか。

(市職員)

STEP5では、市が市有地の中から12か所を候補地として選定し、その条件を説明した上でワークショップを行った。あわせて市民から8か所の提案があり、計20か所を対象に意見を整理したうえで4000人アンケートを実施し、その結果、上位4か所を候補地とした。

(参加者)

ワークショップで選んだ20か所の候補地やアンケートの意義に疑問を感じており、選定方法が間違っていた可能性があると考え。唐突に提示された4候補地も市で通らないものが含まれた点に納得できない。2300万円をかけた結果がこれでは普通の企業なら契約を継続しないはずなのに、来年6000万の予算を確保する矛盾にも不満がある。勇気を持ってSTEP1からプロセスを見直すべきだと提案したい。

(参加者)

57人の話から20か所を選び、4000人のアンケートで4か所に絞ったが、工事費55～60億円以外の具体的情報がなく、アンケート自体が不信感を抱かせる。市民サービスが低下し、地域で猫の死骸すら処分するような状況になるのではないかと懸念している。

(市職員)

市長の基本方針は、市民の意見に基づいて進めることであり、市のバックデータを活用しながら市民に考えてもらう姿勢がある。調査費がかかっている点は事実だが、一方的な説明ではなく、市民同士で知識を深めるためにワークショップや市民アンケートを実施した。アンケートは無作為に行われ、回答数が1000を超えれば全員に聞いた場合と3%の誤差しか出ないという理論に基づいている。

（参加者）

市民は市長の生の意見を求めているが、こういうワークショップに市長が不在なのは不自然だ。前市長のように市民の声に直接向き合う姿勢が必要で、忙しければ副市長が対応すべきだった。部長は市長に出席を求めるべきだったと思う。

（市職員）

そこは私の調整不足。

（参加者）

普通こういうワークショップがありますといったら、じゃあ市民の意見を聞かなければいけないと思うのが最低でも市のトップ3人の役割ではないのか。本当に仕事がやりたければトップが出てくるのが当たり前ではないか。3人集まって全部聞きますとやったら部長課長は楽だと思う。

（参加者）

市民の意見は参考にすべきだが、決定権は行政と議会が持つべきで、今は議会が軽視されていると感じる。新庁舎だけ過剰に市民参加を求めるのは不自然で、白紙撤回後も目的や一丁目一番地が市長から示されていない。耐震なのか水害なのかを明確にしないまま、条件整理もないまま候補地を並べてアンケートを取るの是不公平だ。前平公園や大手町公園は立地や安全、規模の面で不適切で、庁舎は駅周辺で再開発と一体的に進めるべきだ。市民アンケートだけで候補地を決めるやり方はやめてほしい。

（参加者）

市役所職員の方の候補地のアンケートはないのか。

（市職員）

今年行いたいと思っている。

（参加者）

市民のアンケート結果を参考にする前に、市役所職員の候補地意見を示すべきだ。プロとしての意見がないと市民も表面的な判断になりがちで、職員の専門性を反映した決定が重要だ。自分が同じ立場なら、お客さんの意見だけで場所を変えることには抵抗があると思う。

（市職員）

市職員は駐車場の利便性を重視しており、寒い日や雨の日の通勤を考えると役所に近い場所が望ましいとの意見が以前からあった。ただ、今回の候補地では敷地の広さが限られる場合もあるため、周辺施設の活用や用地買収を視野に入れつつ検討が必要。全ての条件を満たせる

わけではないが、経費を抑えつつ実現可能な範囲で進めていく。

(参加者)

場所は市役所の職員に聞いたのか。

(市職員)

聞いていない。

(参加者)

それは職員に聞くべき。市長にちゃんと言った方がいい。俺らが働く場所がお客さんに決められるのか、みたいな。それは自分が社員だったら絶対、というか株主だったら株主総会で言う。それが普通だと思うし、市役所の職員がそこに不満がなかったらだめだと思う。

(参加者)

整備地の決定だが、アンケートでは分散して困難ではないか。市が一つの候補地を決めて、市民に提示するのでいいと思うが。そうしないと決まらないと思う。

(市職員)

議会でも議論をしているが、多数決で決まる場合でも、例えば51対49になったとして、必ずしも51を選ぶべきとは限らない。特にインフラ整備の費用の問題がある時は、将来の市民のために安いほうを選ぶ必要が出てくることもある。最終的には議会で市長が上程した案を議決する形になるが、アンケート結果だけで候補地を決めるわけにはいかない。執行部や市長がしっかり決意を固めて案を出し、それを議会で議論の上で賛成多数で決定する形にしていきたい。

(参加者)

前平になったら問題点が一つある。あそこには森山用水路が通っている。雨が降ると森山用水路が溢れて被害が出る。

(市職員)

畜産試験場の前平の部分だけではなくても、現庁舎以外の候補地には新しく建物が建つことになれば、当然排水計画も全て見直す必要があり、そこにいくら費用がかかるかということも試算をしようと考えているし、試算をしたものを市民に公開していきたいと思っている。

(参加者)

お二人ともすごく苦しい立場だと思うが、今の大手町公園の話は今始めて知ったのか。

(市職員)

駅北区画整理事業は、昭和57年から平成3年まで行われたもので、土地を持っている人が提供した土地を基に進められた。例えば1000㎡で1000万円の土地がある場合、公園や道路など公共施設のために300㎡を減歩として提供してもらい、残りの700㎡を真四角で価値が保たれる形で返す仕組みだった。また、保留地として一部の土地を売却し、事業費に充てた。このように区画整理事業で集められた土地を使い、大手町公園が作られたことは認識している。

（参加者）

今建たないと言っていた。それは分かっているのか。

（市職員）

区画整理事業が今終わって清算して解散している状況で、個人的な感情は別としても、法的には公園でなくすることは不可能ではない。ただ、都市計画公園として県などとの調整、あるいは市民への説明会等で都市計画決定の変更をしていく必要があるので、かなり難しいがゼロではない。

（参加者）

減歩した土地をそんな勝手にできない。区画整合法違反。

（参加者）

都市計画決定しているから外せない。

（参加者）

本当に色んな意見が出ているから市長が出ていないのがもったいないと思うし、今日はすごく勉強になった。来月あったら絶対来ようと思う。今度は絶対に市長と副市長を連れてきてほしい。

（参加者）

先程市職員が最終的には市が上程して、議会の3分の2の賛成があったら通りますよと言った。議員がそれはおかしいと言ったら白紙に戻るのか。もしそうなら議員にもう一度我々の真意を伝えて、その時に3分の2以上の賛成がなければもう一度考え直すのか。

（市職員）

今までも、近いところだと多治見市も上程をしたが通らなかったということがあった。全国でもいくつか情報がある。ただ、白紙に戻すというやり方をしたところもあれば、元々上程したものに対して市民や市議会に何度も説明して通ったというケースもあるので、必ずしも白紙にするかというのは分からない。

（参加者）

行政と議会に市の決定権があるので、ぜひ議員の皆さんに、いい庁舎ができるように頑張っていていただいて。我々も色んな方にアクセスをして、意見を言ってもらうことが必要かなと思う。

（参加者）

時間になったのでこれで終わりにしたいと思う。来月も、ぜひ。課長は市としてはこれ以上話すことはないと言われたが、私達は話すことがたくさんある。ぜひこの機会を作っていただきたい。よろしいですか。

（市職員）

今市長の日程を持っていないが、日程の中で公務のないところに上手く合わせられればできると思う。調整させてほしい。

（参加者）

調整したら連絡をいただきたい。

（市職員）

来月になるかは分からないが、調整はしっかりしたい。

（参加者）

分かりました。今日は皆さんありがとうございました。時間がなくて発言できなかった人は申し訳ない。また次回に発言をお願いしたい。これで終わります。ありがとうございました。

おでかけワークショップ(美濃加茂市の未来を考える市民の会)
ヒアリング結果まとめ

日程:令和6年10月7日(月)

時間:19:00~21:00

場所:生涯学習センター201

出席者:30名(事務局を除く)

事務局:美濃加茂市総務部新庁舎整備推進課

(参加者)

本日の司会を務めさせていただく。まずは美濃加茂市の未来を考える市民の会の会長から挨拶をいただく。

(参加者)

これまで4回の会で意見を請願書などにまとめ、市に働きかけてきた。市長のビジョンが見えないという声があり、今日は市長にも参加してもらった。明るい未来に向けて、この意見交換を進めたい。

(参加者)

続いて、藤井市長からご挨拶をいただく。

(市長)

以前の会は、スケジュールが合わなかったことを申し訳なく思う。こういった会は美濃加茂市にとって大切だと思うので、タウンミーティングに向けて皆さんからの声を聞きたいし、市として私が何を考えているのかもしっかりお伝えしていきたい。この後、今のビジョンについてもお時間をいただいているので、ご説明をしたい。

(参加者)

続いて、会長より市民の会の活動報告をしていただく。

(参加者)

1ページ目では、新庁舎について8月23日に議長宛てに請願書を提出した内容を記載している。請願の内容は、市民、職員、有識者へのアンケートを実施し、その結果を基に新庁舎建設特別委員会候補地を選定するというものであり、9月の議会で採択された。3・4ページでは、新庁舎建設特別委員会を傍聴した際の感想をメールで送ったことが記載されている。その内容として、地質調査を含まない点、アンケート作成の期間が十分かどうか、可能性調査の予算について、地方自治法に基づいて進められるか等の質問を行い、回答を得たことが記されている。5ページ目では、請願書採択へのお礼とともに追加のお願いについて触れている。6・7

ページでは、有識者にもアンケートを行う提案について記載があり、市民だけでなく職員や有識者に対しても20候補地に関する調査を実施すべきという内容となっている。以上です。

(参加者)

当会の活動報告に対して、ご質問やご意見はあるか。

(参加者)

議員さんに伺いたいですが、今の請願書や意見書などはちゃんと議員に配布されて審議されているか。

(議員)

現物の配布はしていないが、議員と事務局間で意見交換や確認を実施した。職員アンケートについては市で既に実施されており、要望もあるため対応可能との認識である。一方、有識者アンケートについては対象者の選定が必要であり、執行部で検討されるべき事項となる。

(参加者)

議員ありがとうございます。他に誰か。

(参加者)

市長には10年前に一度お会いしたが覚えていないかもしれない。本日は市長の考えを直接伺いたい。職員アンケートの結果が市民に十分周知されていなかったように感じるが、新庁舎では職員の働く環境も重要だと思う。また、新聞記事で前市長案との選挙での対立について触れられていたが詳細が気になる。市長が最初の庁舎案の頃に駅前案を持っていたとの話が本当かどうか、さらに前市長案に戻る可能性はないのか伺いたい。

(市長)

駅南案については、昭和58年度の水害を踏まえ、場所を変えるべきという意見があったが、自分が駅前案を推進した事実はない。選挙においては、前市長と新庁舎について意見が一致せず、その結果選挙に至った。現在、候補地を4つに絞り、計画を早急に進める方針だが、駅前案には戻らない。ただし、市民や議会の意見を尊重し、進めていくことを重要視している。

(参加者)

今の内容については課長から後ほど方針の説明もあるため、その後に質疑応答の時間を設ける。続いて、市長の未来の美濃加茂市についてのビジョンについて説明をいただく。

(市長)

ビジョンについて説明する。第6次総合計画は10年のまちづくりの指針であり、簡単に変えるものではないが、今年は中間年として見直しを行っている。これまでの6分野を12分野に拡充

し、残り5年間で何を行うかを明確にした。私が重視しているのは、一人ひとりの市民が活躍できる可能性を引き出す環境づくりと、市政や地域を自分事として考え参加してもらうことの2点である。現状では、地域活力や多文化共生、若者・女性の将来像などの指標が低く、改善が必要だと考えている。人口減少が進む中でも、美濃加茂市は2050年に6万人を確保するという人口増の目標を掲げ、若者や現役世代に選ばれるまちを目指す。言葉だけでなく、より分かりやすくビジョンを伝えていきたい。

（参加者）

非常にボリュームがあったので、また今後動画などで周知されるということでよろしいか。はい。気になるなというところがあったら簡潔にご質問をいただければと思う。

（参加者）

総合計画は10年に固執せず、市長のビジョンを反映できるよう3～5年単位のサイクルに見直すべきだ。指標については策定時からの推移を明示し、新庁舎建設の財政負担も踏まえた現実的な目標設定を求めたい。また、市の産業を支える外国人住民との多文化共生を、より一層充実させてほしい。

（参加者）

ありがとうございました。市長、それに対して何か。

（市長）

総合計画の10年という期間は長く、市長の任期に合わせるなど策定サイクルの見直しの議論が庁内でもある。指標の推移表示については、過去データがある項目を中心に前向きに検討する。また、外国人住民への対応は本市の重要課題だが、今後は外国人のみならず、名古屋や関西圏からの移住促進にもより注力し、共にまちづくりができる環境を整えていきたい。

（参加者）

市長ありがとうございます。その他にビジョンについてご質問がある方は。

（参加者）

「孫子の代まで住み続けられるまち」というビジョンを、雇用創出など目に見える具体的な形で示すべきだ。また、国や県とのパイプ不足や補助金獲得への影響を懸念する声があるが、過去の事件による影響も含め、実情を伺いたい。

（市長）

国や県との連携不足や過去の事件による悪影響は一切ない。地元国会議員の協力もあり、ダム事業や高速道路の延伸といった大型事業は順調に進捗している。補助金についても、むしろ市独自の先進的な取り組みによって適切に確保できており、市政運営への支障はないと認識

している。

（参加者）

市長ありがとうございました。他に質問がある方もいらっしゃると思うが、次に行く。最後に一人一つずつくらい質問をしてほしいと思うので、考えておいてほしい。続いて、新庁舎の計画の進捗と今後の方針について、課長よりご説明いただく。

（課長）

新庁舎整備のスケジュールについて、11月末までに4つの候補地の費用や課題などの調査をまとめる。民間企業への調査や市民ワークショップの結果も踏まえ、12月にタウンミーティングを開催する。その後、議会との協議や職員アンケート結果を経て、今年度末までに整備地を最終決定する予定。

（参加者）

課長ありがとうございました。今の説明を元に何か気になることや、何かこういったことを聞きたいという方は挙手いただきたい。

（議員）

私は「美濃加茂市の未来を考える市民の会」から提出された請願を紹介した。記載されている一番から三番の事項について、確実な対応を求めたい。これらの請願に対し、市としてどのように対応するのか、見解を伺いたい。

（市長）

請願は議会で可決された重いものと受け止めている。今後は新庁舎建設特別委員会を含め、内容をどう具体化するかを議会と議論していく段階であり、そこでしっかり検討していきたい。

（議員）

よろしいですか。

（参加者）

では、再質問ということで。

（議員）

一番目については、駅南の候補地検討を求める明確な請願であり、議会でしっかり取り上げてほしい。二番目、三番目のアンケートについても市民の声として真摯に受け止め、前に進めることを重ねて求め、意見とする。

（参加者）

他に何か。

（参加者）

候補地に課題があると分かっているながら、なぜ最初に選定したのかが理解できない。市が選んだ12か所には実現性が低い場所や問題の多い場所が含まれており、ばらまき的に入れたように見える。大手町公園やプラザちゅうたい、前平公園はいずれも都市計画、敷地条件、造成費、災害リスクなどから疑問が多い。課題整理を今から行うという進め方自体が不自然で、なぜこれらを候補にしたのか説明が必要だと思う。

（市長）

市の12候補は市有地、8候補はワークショップ提案であり、市民全体の理解を広げた上でアンケートを行い、その結果を踏まえて候補を選んだ。アンケートだけで決めたのではなく、最終決定に向けて今後、造成費や代替手法、既存施設（体育館・図書館）との再編も含めた可能性調査を専門的根拠に基づいて行っている。結果は現時点では未確定であり、市民と議論しながら判断していく考えである。

（課長）

大手町公園については、以前から話をいただいております、現在岐阜県や国の機関と可能性調査を進めている。代替地の確保が条件になる可能性はあるが、都市公園に関する権限が以前は県にあったものの、今は市に降りてきているため、市としての方針をしっかりと考えた代替公園であれば問題はなく違法ではないとの回答も得ている。今後、調査をまとめ、市民にしっかりと情報をお伝えしていきたい。

（参加者）

ありがとうございました。

（議員）

市民の会から、新たな候補地調査を新庁舎建設特別委員会で選定・議論するよう要望があった。調査結果や財政状況の情報を市民に開示し、正しい判断を促すことが重要であり、議会としても透明性の確保とタウンミーティングの実施を求めている。執行部は資料作りを徹底し、市民にしっかりと説明を尽くすべきだ。

（参加者）

課長お願いします。

（課長）

現在進行中の可能性調査については、スケジュールに沿って11月中に内容をまとめ、市民に分かりやすい資料を作成し、情報提供を進める予定。12月にはタウンミーティングを開催し、

市のホームページでも情報を公表する方針。その後、市民アンケートを実施するか、議会と協議して進めるかを検討する。新庁舎整備は大規模プロジェクトであり、建設費やランニングコストを含む財政面をしっかりと示し、市民と共に決定していくことを目指している。

（参加者）

課長ありがとうございます。はい。

（参加者）

可能性調査の後にアンケートを取るか議会で協議するかは未定で、その前にタウンミーティングで市民に情報を伝える予定だが、過去に急ぎ足で進められたこともあり、今回も知らない間に決まるような形にはしてほしくない。時間が足りないなら無理に急がず、中身の濃い計画を市民と共に丁寧に進めるべきだと思う。ここでお願いしたいと思いますが、市長よろしいですか。

（市長）

今の意見はもっともだと思う。新庁舎はこれから何十年もまちの拠点となる場所なので、じっくり考えることが必要だ。ただ、何でもいから早く進めろという声もあったので、最短距離で進めるために年度内に整備地を決定する方針で議会とも調整してきたが、こうした場に出た意見や、市民の声を踏まえて整備地の決定時期について再考する必要があることは理解している。いただいた意見はしっかり受け止めたい。

（議員）

今日のタウンミーティングでは市議として発言を控えてきたが、確認したいことがある。提示された4候補地は執行部が1つに絞ることはないのか。また、4候補地全ての説明は十分にされるのか。私は40回のタウンミーティングを求めたが、今回も3～4回で終わらせようとしているのではないかと不安を感じる。この場で明確な答えをお願いしたい。

（市長）

タウンミーティングの回数については、最短距離で進めるため限られる可能性があり懸念している。ただ、可能性調査を通じて最適な候補地を市として評価し、市民の理解を深められるよう説明を尽くすべきと考えている。回数やロードマップの変更についても、議会や市民の意見をしっかりと汲みながら進めたい。

（参加者）

時間が許す限り何回もやるという回答で良かったですか。ありがとうございます。簡潔にお願いします。

（参加者）

週5日働く職員が快適に働ける環境を整えることが重要だと考えている。市民アンケートも大事だが、現場を知る職員へのアンケートもやるべき。市民の意見は多様なので、議論を通じて妥協点を探りながら進めるべき。土地面積や駐車場台数、事業費などの現実的な条件を周知し、市民との信頼を築く必要がある。総事業費を考えると、用地費や造成費に余裕はないので、その点を踏まえて計画を進めるべき。

(参加者)

この話はすでに幹部と共有済みで、4回聞いている。同じ内容をここで時間を取って話すのではなく、幹部としっかり話をしてもらえばいいと思う。せっかくここに多くの人が集まっているのだから、もっと皆さんの意見を聞きたい。

(参加者)

はい。

(参加者)

皆さん質問しにくいかもしれないが、本当に素朴な質問でも結構なので、せっかく市長をはじめ市の執行部の方がみえているので。このタイミングで聞いておきたい、もしくは私はこう思うとか、そういった意見があればぜひご発言いただければと思う。では簡潔にお願いします。

(参加者)

賛成・反対は一部で、多くの市民は関心が薄い「グレーゾーン」だと思う。行政で100%の合意は不可能で、前市長案も決して極端に悪かったとは思えない。だからこそ、市長は就任当初から「自分はこういう庁舎を作りたい」という明確なビジョンを先に示してほしかった。

(市長)

全ての政策で市民全員の賛同を得ることは不可能であり、その判断を担うのが議会と執行部だと考えている。新庁舎は場所・規模・費用いずれも市の将来に大きく影響するため、過度な投資や長期的な負担増は避けなければならない。一方で、投資する以上は市の将来像を示せる施設にすべきだとも思っている。市長としての考えを早く示すべきだったという指摘はお叱りの通り受け止めたいと思うが、やはり市民の方々にもっと自分事として関わってほしいという思いがあった。今後は可能性調査を踏まえ、具体的なビジョンを明確に示していきたい。

(参加者)

皆さん活発なご質問とご回答をありがとうございました。時間管理が行き届かず申し訳ありませんが、まだ発言されていない方に、感想や執行部への要望を一言ずつ伺い、回答は次回の「美濃加茂市の未来を考える市民の会」でまとめて行う形としたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、まだ発言されていない方からお願いします。

(参加者)

商工会議所として、6月に初めて政策提言を行い、10月4日には市長へ要望書も提出した。要望は要望する側とされる側の関係だが、提言は商工会議所の考えを広く示す重いもの。今回、市民の会がこの提言に賛同し行動していることを心強く思っており、当局にはこの動きを真摯に受け止め、実現に向けて取り組んでほしい。

(参加者)

初参加として、直接声をかけてもらい、参加して初めて分かることが多く、大変勉強になった。ホームページや動画が苦手な人には情報が届きにくく、候補地が4か所あることすら知らない市民も多い。広報や自治会に頼らず、地域に出向いて生の声で現状を説明する機会を増やしてほしい。

(参加者)

下米田在住で市役所利用も年に1、2回程度と無関心に近かったが、この会に参加して多くを知れたのは良かった。4候補地決定後に調査が始まった点は、費用が大きいならもっと早く知りたかったと感じる人も多いと思う。将来世代に大きな借金を残してほしくない。こういった厳しい意見が出るところにも市長が来てもらえると本当に嬉しい。ありがとうございました。

(参加者)

皆さんの本当に身近な方についても関心があまりないので、そういうことが皆さんに知れ渡るように周知していただきたいということを思う。あとはいつ頃完成というか利用できるようになるかなということを思っている。以上です。

(参加者)

ワークショップや会合に何度も参加してきたが、市が何を重視し、どこに建てたいのかという軸が見えない。良し悪しの話ばかりで、市としての考えが示されないから市民の関心も高まらない。市長が一定の判断を示し「ここに決めた」と打ち出すべきで、そうすれば関心の薄い層からも意見が出てくると思う。

(参加者)

前市長案は魅力的だったが、決定ありきに見えたため、一度立ち止まって考え直す場を作った藤井市長の姿勢に期待して参加した。一から意見を聞き、議論して決める過程に意味があり、その場に関われたことは良かったと思う。今後は、この会の存在や開催をより広く一般市民に知らせ、参加しやすくしてほしい。失礼しました。

(参加者)

今日はありがとうございました。今日こういう会に初めて参加させていただいたが、市の方は色々と細かい部分まで情報発信をされてみえると思うが、市のことにそこまで集中していなく

て、今日皆さんのお話を聞いてそうだったのかということが多々あったので、また今後も情報を集めて考えさせていただきたいと思う。

（参加者）

もう9時になってしまうが、お時間の許す限りお願いします。2時間お願いします。

（参加者）

今日は本当にみんなの意見を聞いてもらえて、この先この意見を参考に決めてもらえるのかなと、今後を楽しみに見ていきたいと思う。

（参加者）

これまで参加し意見も十分伝えてきたので、ここまで来たら選んだ市長・議員に判断を任せたいという気持ち。アンケートや計画で参加した実感はあり、今後は議会と専門的知見に委ねたい。若い世代は場所に強いこだわりはなく、どこでも前向きに受け止める声が多いと感じている。

（参加者）

勉強不足だったと痛感した。箱モノより人づくりが大事だと思っており、正直どこでもいいという考えだったが、知らなかったことを知れたのは大きな学びだった。今後も機会があれば参加して勉強したい。

（参加者）

初めて参加した。何も分からない。意見が言えるようにもうちょっと勉強をして、次回も参加させていただきたいと思う。

（参加者）

このような会で多様な意見を聞けるのはとても大切だと思うので、一般の方にあまり周知されていないのは残念に感じた。個人的には、庁舎はコンパクトでよく、高齢化を踏まえて連絡所など身近な窓口を充実させてほしいと思う。

（参加者）

最初は近いという理由で前平がいいと思っていたが、費用面を知って現実的に選べる候補地は限られると分かった。今後は専門家や有識者が、将来に借金を残さないよう予算も踏まえて判断すべきだと思うし、市民も家庭と同じように考える必要があると感じた。

（参加者）

無関心ではないが、全然分からなかった。なので私ももっと勉強しなければいけないと思ったし、意見が色々あるんだと思った。ただ一つ、素敵な美濃加茂市役所ができることを楽しみに

している。

（参加者）

地方自治法第 2 条には住民自治が基本とある。その言葉を念頭に置き、幹部にはしっかり対応してもらいたい。特に議会で採択された請願書については、地方自治法に基づき肝に銘じて進めてほしい。素直な感想を言えば、議会軽視、市民軽視だと感じた。市民を代表し、市民のアンケートを取ると言いつつも、実際にはそのような感想を持った。

（参加者）

最後短くて申し訳ありません。次回はお二人に関しては5分とさせていただこうと思うので、よろしくお願いします。それでは最後に会長から一言。

（参加者）

今日はありがとうございました。いろいろな意見が出て良い会だったと思う。ただ一つお願いがある。9月議会中にこの会を代表して意見書を提出したが、議員には配布されていなかったことが非常に残念だった。何のために意見書を出したのかと思ってしまう。9月18日に急いで提出したにもかかわらず、議員に届いていない状況は、せっかくの皆さんの声が反映されていないということになる。市長はこの意見書のことを知っていたのかどうか、確認したい。

（市長）

議会から意見書は来ていないので、今初めて見ました。

（参加者）

市民の声を形にしていただけると信じている。市長さん、議員さんもぜひよろしくお願いします。意見書を出し続けたい。本日はありがとうございました。次回は 11 月の議会前に集まりたいと思うので、住所を教えていただければお便りをお送りします。よろしくお願いします。ありがとうございました。

（参加者）

皆さんありがとうございました。次回は時間に収まるようにしたいと思う。慣れない司会でしたがありがとうございました。